

# 産業建設委員会

令和 7 年 12 月 11 日(木)  
10 時 00 分 ～ 時 分  
全 員 協 議 会 室

【委 員】村木委員長、西田一平副委員長、  
今田委員、大谷委員、川上委員、小川委員、笹田委員

【議長・委員外議員】

【執行部】砂川副市長

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大屋商工労働課長、  
坂田浜田駅周辺活性化推進室長、大谷産業振興課長、  
佐々木農林振興課長、岡田農林振興課普及支援担当課長、  
永見水産振興課長、木原農業委員会事務局長

(都市建設部) 倉本都市建設部長、松井建設企画課長、皆尾維持管理課長、  
佐古建築住宅課長兼空き家対策室長

(金 城 支 所) 市原金城支所長、河内産業建設課長

(弥 栄 支 所) 新開弥栄支所長、三浦産業建設課長

(三 隅 支 所) 西谷三隅支所長

(説 明 員) 執行部報告事項(1)株式会社第一ビルサービス 営業開発担当課長  
(浜田まちおこし共同事業体代表)

【事務局】小寺書記

---

## 議題

### 1 請願審査

- (1) 請願第 54 号 浜田市商店街の活性化支援を求める請願について
- (2) 請願第 55 号 JR 浜田駅周辺整備の透明性向上を求める請願について
- (3) 請願第 56 号 三桜酒造跡地の利活用に関する透明性確保を求める請願について
- (4) 請願第 57 号 農業担い手支援の強化を求める請願について
- (5) 請願第 58 号 港町周辺再開発における説明責任の強化を求める請願について
- (6) 請願第 59 号 市管理区域の草刈り・溝掃除の行政負担化を求める請願について
- (7) 請願第 60 号 生活道路の補修計画及び舗装基準の明確化を求める請願について
- (8) 請願第 61 号 市内河川の点検強化及び治水対策の充実を求める請願について
- (9) 請願第 62 号 市内公園の安全管理と維持強化を求める請願について
- (10) 請願第 63 号 空き家対策の強化を求める請願について
- (11) 請願第 64 号 市営住宅の入居基準見直しを求める請願について

### 2 議案第 79 号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

- 3 議案第 85 号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第 86 号 浜田市工場誘致条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第 90 号 指定管理者の指定について（浜田市かなぎウエスタンライディングパーク）
- 6 議案第 91 号 指定管理者の指定について（浜田市ふるさと体験村施設）
- 7 議案第 92 号 指定管理者の指定について（浜田市三隅特産品展示販売センター）
- 8 議案第 93 号 市道路線の廃止について（小国 47 号線）
- 9 同意第 9 号 浜田市農業委員会委員の任命について
- 10 執行部報告事項
  - (1) 道の駅ゆうひパーク浜田の今後について 【商工労働課】
  - (2) 浜田駅周辺活性化社会実験報告書について 【浜田駅周辺活性化推進室】
  - (3) 市内企業の工場増設について 【産業振興課】
  - (4) リフレパークきんたの里給湯ボイラー熱交換器の修繕について  
【金城支所産業建設課】
  - (5) 美又温泉美肌観光拠点施設の指定管理者公募について 【金城支所産業建設課】
  - (6) その他  
(配布物)  
・漁業別水揚げについて 【水産振興課】
- 11 所管事務調査
  - (1) 浜田駅前銀天街協同組合のアーケード設置の経緯と今後の方針について  
【商工労働課】
  - (2) 農林水産業産出額と従事者数について 【農林振興課・水産振興課】
- 12 取組課題について（委員間で協議）
- 13 その他

## 【請願 59】市内商店街活性化のための支援策強化を求める請願

件名

浜田市商店街の活性化支援を求める請願

趣旨

商店街の空き店舗増加や来客減少により、活性化が急がれています。

請願事項

1. 空き店舗の活用策を検討すること。
2. イベント開催など集客策を支援すること。
3. キャッシュレス対応の促進を支援すること。
4. 店舗改装への補助金を検討すること。
5. 商店街振興の中長期計画を作成すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 36】JR 浜田駅周辺整備の透明化を求める請願

件名

JR 浜田駅周辺整備の透明性向上を求める請願

趣旨

駅周辺整備の進行状況や費用に関する説明が不十分で、透明化が求められています。

請願事項

1. 整備計画の現状と今後の方針を市民に明確に説明すること。
2. 費用・財源・スケジュールを公開すること。
3. 市民説明会を定期的を開催すること。
4. 再開発による影響を整理して提示すること。
5. 進捗状況を随時公開すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話





## 【請願 37】三桜酒造跡地利活用の透明化を求める 請願

件名

三桜酒造跡地の利活用に関する透明性確保を求める請願

趣旨

跡地活用の検討状況が不透明で、市民の理解が得られていません。

請願事項

1. 跡地利用の案・検討状況を公開すること。
2. 費用対効果の比較資料を提示すること。
3. 市民参加型の検討会を開催すること。
4. 複数案のメリット・デメリットを比較表で示すこと。
5. 最終決定理由を市民に説明すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



9

## 【請願 40】農業担い手支援の強化を求める請願

件名

農業担い手支援の強化を求める請願

趣旨

農業従事者の高齢化と担い手不足が進んでおり、早急な支援強化が求められます。

請願事項

1. 若手農業者への支援制度を拡充すること。
2. 農地集約化支援を進めること。
3. 担い手育成の研修機会を増やすこと。
4. 農業機械購入への補助制度を検討すること。
5. 農業者の意見を政策に反映する仕組みを整えること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 38】港町周辺の再開発説明強化を求める請願

件名

港町周辺再開発における説明責任の強化を求める請願

趣旨

港町周辺再開発に関する説明が不足しており、市民理解が進んでいません。

請願事項

1. 再開発計画の目的と内容を市民に丁寧に説明すること。
2. 住民説明会を複数回開催すること。
3. 影響範囲の住民へ直接説明を行うこと。
4. 費用・財源の内訳を公開すること。
5. 事業計画の進捗を定期的に公表すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 19】草刈り・溝掃除の行政負担化を求める請願

件名

市管理区域の草刈り・溝掃除の行政負担化を求める請願

趣旨

高齢化が進む中で、市民の草刈り・溝掃除負担が限界に近づいています。

請願事項

1. 市管理区域を明確化し、市が責任を持って実施すること。
2. 危険区域については専門業者に委託すること。
3. 高齢者負担を軽減する計画を策定すること。
4. 地域住民と行政の役割分担を明確化すること。
5. 予算措置を検討すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 21】生活道路の補修・舗装計画の明確化を求める請願

件名

生活道路の補修計画および舗装基準の明確化を求める請願

趣旨

生活道路の老朽化が進み、市民生活に支障が出ています。補修・舗装計画の透明性向上を求めます。

請願事項

1. 市内生活道路の現況調査を定期的を実施すること。
2. 補修・舗装の優先順位を明確にし市民へ周知すること。
3. 危険箇所については早急に対応すること。
4. 舗装基準を市民にも理解できる形で明文化すること。
5. 年度ごとの補修・舗装予定を一覧で公開すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話



## 【請願 39】河川点検と治水対策強化を求める請願

件名

市内河川の点検強化および治水対策の充実を求める請願

趣旨

豪雨災害が増加しており、河川の安全確保が急務です。

請願事項

1. 市内の河川を定期的に点検すること。
2. 土砂堆積箇所の早期除去を行うこと。
3. 老朽化護岸の補修を計画的に進めること。
4. 住民が危険箇所を通報できる仕組みを作ること。
5. 治水対策計画を市民へ公表すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 48】市内公園の維持管理強化を求める請願

件名

市内公園の安全管理と維持強化を求める請願

趣旨

老朽化した遊具や危険箇所が見られ、公園の維持管理強化が必要です。

請願事項

1. 公園の点検頻度を増やすこと。
2. 老朽遊具を早急に修繕または更新すること。
3. 雑草・害虫対策を定期的に行うこと。
4. トイレや水道設備を整備すること。
5. 維持管理計画を市民に公表すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



## 【請願 20】空き家対策強化を求める請願

件名

空き家対策の強化を求める請願

趣旨

空き家が増加し、景観・防災・治安面で問題が生じています。

請願事項

1. 空き家の実態調査を定期的に行うこと。
2. 倒壊の恐れがある建物への指導を強化すること。
3. 所有者不明土地の対応方法を整理すること。
4. 空き家バンクの運用を改善すること。
5. 活用可能な空き家については利活用策を提示すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：





## 【請願 33】市営住宅の入居基準見直しを求める請願

件名

市営住宅の入居基準見直しを求める請願

趣旨

市営住宅の入居基準が現在の実情に合わず、柔軟な見直しが求められています。

請願事項

1. 市営住宅入居基準の全面的な見直しを行うこと。
2. 高齢者・母子家庭などの優先枠を整理すること。
3. 空室情報を公開し、入居促進を図ること。
4. 申し込み手続きを簡素化すること。
5. 適切な家賃設定を検討すること。

請願者・紹介議員：森谷公昭

住所：浜田市日脚町

電話：



# **令和7年12月浜田市議会定例会議 条例議案新旧対照表**

**（産業建設委員会）**

## 新 旧 対 照 表 の 見 方

1 最上部に一部改正する条例の名称及び条例番号を表記しています。

2 新旧対照表の表記は、次のとおりです。

- (1) 左欄の「現行」が改正前、右欄の「改正後（案）」が改正後の内容
- (2) 改正のある条のみ表記
- (3) 改正のある条の中の改正のない項及び号は「〔略〕」で表記
- (4) 変更のある箇所を下線で表記

### 〔新旧対照表例〕

浜田市●●●条例（平成●●年浜田市条例第●●号）新旧対照表 （下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>●●●●</u> とする。 2 〔略〕	（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>▲▲▲▲</u> とする。 2 〔略〕

## 目 次

議案第79号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例	…	1ページ
議案第85号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例	…	58ページ
議案第86号 浜田市工場誘致条例の一部を改正する条例	…	59ページ

浜田市手数料条例（平成17年浜田市条例第70号）新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
<p>（手数料の種類及び金額）</p> <p>第2条 手数料の種類及び金額は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(24) 〔略〕</p> <p>(25) 法第47条第5項の規定に基づく 開発登録簿1 <u>500円</u> 開発登録簿の写しの交付手数料 枚につき</p> <p>(26)～(30) 〔略〕</p> <p>(31) 建築基準法第88条第1項において準用する同法第6条第1項の規定に基づく工作物に関する確認申請又は同法第88条第1項において準用する同法第18条第2項の規定に基づく工作物に関する通知に対する審査手数料</p> <p>ア 工作物を築造する場合（イに掲げる場合を除く。） 1件につき <u>17,700円</u></p> <p>イ 確認又は通知に対する審査を受けた工作物の計画の変更をして工作物を築造する場合 1件につき <u>11,100円</u></p> <p>(32)～(44) 〔略〕</p> <p>(44)の2 建築基準法施行令（昭和25 1件につき 2万7,300</p>	<p>（手数料の種類及び金額）</p> <p>第2条 手数料の種類及び金額は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(24) 〔略〕</p> <p>(25) 法第47条第5項の規定に基づく 開発登録簿1 <u>620円</u> 開発登録簿の写しの交付手数料 枚につき</p> <p>(26)～(30) 〔略〕</p> <p>(31) 建築基準法第88条第1項において準用する同法第6条第1項の規定に基づく工作物に関する確認申請又は同法第88条第1項において準用する同法第18条第2項の規定に基づく工作物に関する通知に対する審査手数料</p> <p>ア 工作物を築造する場合（イに掲げる場合を除く。） 1件につき <u>18,800円</u></p> <p>イ 確認又は通知に対する審査を受けた工作物の計画の変更をして工作物を築造する場合 1件につき <u>11,700円</u></p> <p>(32)～(44) 〔略〕</p> <p>(44)の2 建築基準法施行令（昭和25 1件につき 2万7,300</p>

現行			改正後（案）		
年政令第338号） <b>第137条の12第6項</b> の規定に基づく建築物の敷地と道路 との関係に関する制限の適用除外と なる大規模の修繕又は大規模の模様 替の認定申請手数料			年政令第338号） <b>第137条の12第11項</b> の規定に基づく建築物の敷地と道路 との関係に関する制限の適用除外と なる大規模の修繕又は大規模の模様 替の認定申請手数料		
(44) の3 建築基準法施行令 <b>第137条の12第7項</b> の規定に基づく建築物の道路内の建築制限の適用除外となる大規模の修繕又は大規模の模様替の認定申請手数料	1件につき	2万7,300円	(44) の3 建築基準法施行令 <b>第137条の12第12項</b> の規定に基づく建築物の道路内の建築制限の適用除外となる大規模の修繕又は大規模の模様替の認定申請手数料	1件につき	2万7,300円
(45)～(47) 〔略〕			(45)～(47) 〔略〕		
(48) 長期優良住宅の普及の促進に関する法律第9条第1項及び第3項の規定により譲受人を決定した場合における同法第8条第1項の規定による建築等計画の変更の認定申請手数料	1件につき	<b>3,000円</b>	(48) 長期優良住宅の普及の促進に関する法律第9条第1項及び第3項の規定により譲受人を決定した場合における同法第8条第1項の規定による建築等計画の変更の認定申請手数料	1件につき	<b>3,170円</b>
(49) 長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定による認定計画実施者の地位の承継の承認申請手数料	1件につき	<b>3,000円</b>	(49) 長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定による認定計画実施者の地位の承継の承認申請手数料	1件につき	<b>3,170円</b>
(50)～(52) 〔略〕			(50)～(52) 〔略〕		

現行	改正後（案）
<p>(53) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成27年法律第53号）第11条第1項_____の規定による建築物エネルギー消費性能確保計画（<b>次号から第57号まで</b>及び別表第11から別表第15までにおいて「計画」という。）の建築物エネルギー消費性能適合性判定（<b>次号から第56号まで及び別表第11から別表第14まで</b>において「適合性判定」という。）手数料</p> <p>(54) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第2項_____の規定による計画の変更の適合性判定手数料</p>	<p>(53) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成27年法律第53号）第11条第1項<b>及び第12条第2項</b>の規定による建築物エネルギー消費性能確保計画（<b>次号、第57号</b>_____及び別表第11から別表第15までにおいて「計画」という。）の建築物エネルギー消費性能適合性判定（<b>次号、別表第11及び別表第12</b>_____において「適合性判定」という。）手数料</p> <p>(54) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第2項<b>及び第12条第3項</b>の規定による計画の変更の適合性判定手数料</p>
<p>(55) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第12条第2項の規定による計画の適合性判定手数料</p> <p>(56) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第12条第3項の規定による計画の変更の適合性判定手数料</p>	<p>(55) 及び(56) 削除</p>
<p>(57)～(61) 〔略〕</p>	<p>(57)～(61) 〔略〕</p>

現行	改正後（案）
<p>(62) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第2条の規定が適用される建築物で、建築基準法第6条第1項の規定に基づく確認若しくは同法第18条第2項の規定に基づく通知に対する審査を受けた建築物又は建築物省エネ法第11条第1項若しくは第12条第2項の規定に基づく建築物のエネルギー消費性能適合性判定を受けた建築物（建築物省エネ法第18条第2項若しくは第30条第8項（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）又は都市の低炭素化の促進に関する法律第10条第9項若しくは第54条第8項の規定により適合判定通知書の交付を受けたものとみなされる場合を含む。）における建築基準法第7条第1項の規定に基づく完了検査申請又は同法第18条第20項の規定に基づく完了通知</p> <p>別表第19のとおり</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>(62) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第2条の規定が適用される建築物で、建築基準法第6条第1項の規定に基づく確認若しくは同法第18条第2項の規定に基づく通知に対する審査を受けた建築物又は建築物省エネ法第11条第1項若しくは第12条第2項の規定に基づく建築物のエネルギー消費性能適合性判定を受けた建築物（建築物省エネ法第18条第2項若しくは第30条第8項（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）又は都市の低炭素化の促進に関する法律第10条第9項若しくは第54条第8項の規定により適合判定通知書の交付を受けたものとみなされる場合を含む。）における建築基準法第7条第1項の規定に基づく完了検査申請又は同法第18条第20項の規定に基づく完了通知</p> <p>別表第19のとおり</p> <p><u>（住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則（平成12年建設省令第20号）第5条第1項に規定する建設住宅性能評価（特定建築行為（建築物省エネ法第11条第1項に規</u></p>



現行			改正後（案）		
<div>_____</div> <div>_____</div> <div>_____</div> <div>_____</div> <div>_____</div> <div>_____</div> <div>_____に対する検査手数料</div>			<div><b><u>定する特定建築行為をいう。）に係る住宅が建築物エネルギー消費性能基準に適合する住宅と同等以上のエネルギー消費性能を有するものである旨の建設住宅性能評価に限る。）を受けた住宅の完了検査申請又は完了通知を除く。）</u></b>に対する検査手数料</div>		
(63)～(69)　〔略〕			(63)～(69)　〔略〕		
(手数料の減免)			(手数料の減免)		
第7条　次の各号のいずれかに該当するときは、第2条各号（第29号から第33号の2まで、 <b><u>第55号から第57号まで</u></b> 、第61号及び第62号に規定する手数料を除く。）に規定する手数料を免除する。			第7条　次の各号のいずれかに該当するときは、第2条各号（第29号から第33号の2まで、 <b><u>第57号</u></b> 、第61号及び第62号に規定する手数料を除く。）に規定する手数料を免除する。		
(1)～(4)　〔略〕			(1)～(4)　〔略〕		
2　〔略〕			2　〔略〕		
別表第1（第2条関係）			別表第1（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1　〔略〕			1　〔略〕		
(1)　〔略〕			(1)　〔略〕		
ア　開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<b><u>9,080円</u></b>	ア　開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<b><u>9,600円</u></b>

現行			改正後（案）		
イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>2万3,600円</u>	イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>2万6,000円</u>
ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>4万5,600円</u>	ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>4万9,400円</u>
エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>9万1,700円</u>	エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>9万8,900円</u>
オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>13万7,000円</u>	オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>14万8,000円</u>
カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>18万2,000円</u>	カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>19万5,000円</u>
キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>23万4,000円</u>	キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>25万円</u>
ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>31万9,000円</u>	ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>34万1,000円</u>
(2) 〔略〕			(2) 〔略〕		
ア 開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<u>1万3,600円</u>	ア 開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<u>1万6,100円</u>
イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>3万2,000円</u>	イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>3万4,000円</u>

現行			改正後（案）		
ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>6万8,600円</u>	ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>7万3,900円</u>
エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>13万円</u>	エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>14万円</u>
オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>21万1,000円</u>	オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>22万7,000円</u>
カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>28万6,000円</u>	カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>30万7,000円</u>
キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>36万円</u>	キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>39万3,000円</u>
ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>50万8,000円</u>	ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>55万円</u>
(3) 〔略〕			(3) 〔略〕		
ア 開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<u>9万1,700円</u>	ア 開発区域の面積が0.1ヘクタール未満	1 件	<u>9万8,900円</u>
イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>14万1,000円</u>	イ 開発区域の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	1 件	<u>15万4,000円</u>
ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>20万2,000円</u>	ウ 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	1 件	<u>21万8,000円</u>

現行			改正後（案）		
エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>27万7,000円</u>	エ 開発区域の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満	1 件	<u>30万円</u>
オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>41万6,000円</u>	オ 開発区域の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満	1 件	<u>45万1,000円</u>
カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>53万8,000円</u>	カ 開発区域の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満	1 件	<u>58万円</u>
キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>69万6,000円</u>	キ 開発区域の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満	1 件	<u>74万9,000円</u>
ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>92万円</u>	ク 開発区域の面積が10ヘクタール以上	1 件	<u>98万8,000円</u>
2 都市計画法第35条の2第1項の規定による開発行為の変更許可の申請  (1)・(2) 〔略〕  (3) その他の変更	1 件	次に掲げる額を合算した額。ただし、 <u>92万円</u> を限度とする。  <u>1万700円</u>	2 都市計画法第35条の2第1項の規定による開発行為の変更許可の申請  (1)・(2) 〔略〕  (3) その他の変更	1 件	次に掲げる額を合算した額。ただし、 <u>98万8,000円</u> を限度とする。  <u>1万1,800円</u>
3 都市計画法第41条第2項ただし書（同法第35条の2第4項において準用する場合を含む。）の規定による建築の許可の申請	1 件	<u>4万9,100円</u>	3 都市計画法第41条第2項ただし書（同法第35条の2第4項において準用する場合を含む。）の規定による建築の許可の申請	1 件	<u>5万3,500円</u>

現行			改正後（案）		
4 都市計画法第42条第1項ただし書の規定による建築等の許可の申請	1 件	<u>2万8,200円</u>	4 都市計画法第42条第1項ただし書の規定による建築等の許可の申請	1 件	<u>3万100円</u>
5 都市計画法第45条の規定による開発許可を受けた地位の承継の承認の申請			5 都市計画法第45条の規定による開発許可を受けた地位の承継の承認の申請		
(1) 承認の申請をする者が行おうとする開発行為が、主として自己の居住の用に供する住宅の建築の用に供する目的で行うもの	1 件	<u>1,830円</u>	(1) 承認の申請をする者が行おうとする開発行為が、主として自己の居住の用に供する住宅の建築の用に供する目的で行うもの	1 件	<u>1,960円</u>
(2) 〔略〕			(2) 〔略〕		
ア 開発区域の面積が1ヘクタール未満	1 件	<u>1,830円</u>	ア 開発区域の面積が1ヘクタール未満	1 件	<u>1,960円</u>
イ 開発区域の面積が1ヘクタール以上	1 件	<u>2,710円</u>	イ 開発区域の面積が1ヘクタール以上	1 件	<u>2,850円</u>
(3) 承認の申請をする者が行おうとする開発行為が、前2号以外のもの	1 件	<u>1万7,000円</u>	(3) 承認の申請をする者が行おうとする開発行為が、前2号以外のもの	1 件	<u>1万8,100円</u>
別表第3（第2条関係）			別表第3（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
〔略〕			〔略〕		

現行			改正後（案）		
造成宅地の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>14万1,000円</u></b>	造成宅地の面積が0.1ヘクタール以上0.3ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>15万1,000円</u></b>
造成宅地の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>20万2,000円</u></b>	造成宅地の面積が0.3ヘクタール以上0.6ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>21万8,000円</u></b>
造成宅地の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>27万5,000円</u></b>	造成宅地の面積が0.6ヘクタール以上1ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>29万4,000円</u></b>
造成宅地の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>41万5,000円</u></b>	造成宅地の面積が1ヘクタール以上3ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>44万5,000円</u></b>
造成宅地の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>54万7,000円</u></b>	造成宅地の面積が3ヘクタール以上6ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>58万5,000円</u></b>
造成宅地の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>70万1,000円</u></b>	造成宅地の面積が6ヘクタール以上10ヘクタール未満のもの	1件	<b><u>74万9,000円</u></b>
造成宅地の面積が10ヘクタール以上のもの	1件	<b><u>92万5,000円</u></b>	造成宅地の面積が10ヘクタール以上のもの	1件	<b><u>98万8,000円</u></b>

別表第4（第2条関係）

区分	単位	手数料の額
床面積の合計が100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>6,210円</u></b>
床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>8,620円</u></b>

別表第4（第2条関係）

区分	単位	手数料の額
床面積の合計が100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>6,670円</u></b>
床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>9,060円</u></b>

現行			改正後（案）		
床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え2,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>13,000円</u>	床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え2,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>14,500円</u>
〔略〕			〔略〕		
床面積の合計が10,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<u>43,000円</u>	床面積の合計が10,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<u>46,800円</u>
別表第5（第2条関係）			別表第5（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
床面積の合計が30m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>8,600円</u>	床面積の合計が30m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>9,050円</u>
床面積の合計が30m <sup>2</sup> を超え100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>15,600円</u>	床面積の合計が30m <sup>2</sup> を超え100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>16,600円</u>
床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>24,700円</u>	床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>26,500円</u>
床面積の合計が200m <sup>2</sup> を超え300m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>26,900円</u>	床面積の合計が200m <sup>2</sup> を超え300m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>28,900円</u>
床面積の合計が300m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>35,500円</u>	床面積の合計が300m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>38,100円</u>
床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え1,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>63,700円</u>	床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え1,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<u>68,600円</u>
床面積の合計が1,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<u>107,000円</u>	床面積の合計が1,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<u>115,000円</u>

現行			改正後（案）		
別表第6（第2条関係）			別表第6（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
〔略〕			〔略〕		
床面積の合計が30m <sup>2</sup> を超え100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>21,000円</u></b>	床面積の合計が30m <sup>2</sup> を超え100m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>21,900円</u></b>
床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>32,000円</u></b>	床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>33,400円</u></b>
床面積の合計が200m <sup>2</sup> を超え300m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>41,000円</u></b>	床面積の合計が200m <sup>2</sup> を超え300m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>43,700円</u></b>
床面積の合計が300m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>44,000円</u></b>	床面積の合計が300m <sup>2</sup> を超え500m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>46,800円</u></b>
床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え1,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>55,000円</u></b>	床面積の合計が500m <sup>2</sup> を超え1,000m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>59,000円</u></b>
床面積の合計が1,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<b><u>64,000円</u></b>	床面積の合計が1,000m <sup>2</sup> を超えるもの	1件	<b><u>68,400円</u></b>
別表第6の2（第2条関係）			別表第6の2（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>30,000円</u></b>	床面積の合計が100m <sup>2</sup> を超え200m <sup>2</sup> 以内のもの	1件	<b><u>33,100円</u></b>



現行			改正後（案）		
床面積の合計が200㎡を超え300㎡以内のもの	1件	<b><u>40,000円</u></b>	床面積の合計が200㎡を超え300㎡以内のもの	1件	<b><u>43,300円</u></b>
床面積の合計が300㎡を超え500㎡以内のもの	1件	<b><u>43,000円</u></b>	床面積の合計が300㎡を超え500㎡以内のもの	1件	<b><u>46,300円</u></b>
床面積の合計が500㎡を超え1,000㎡以内のもの	1件	<b><u>53,000円</u></b>	床面積の合計が500㎡を超え1,000㎡以内のもの	1件	<b><u>57,700円</u></b>
床面積の合計が1,000㎡を超えるもの	1件	<b><u>61,000円</u></b>	床面積の合計が1,000㎡を超えるもの	1件	<b><u>66,400円</u></b>
別表第6の3（第2条関係）			別表第6の3（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
床面積の合計が100㎡を超え200㎡以内のもの	1件	<b><u>29,700円</u></b>	床面積の合計が100㎡を超え200㎡以内のもの	1件	<b><u>31,800円</u></b>
床面積の合計が200㎡を超え300㎡以内のもの	1件	<b><u>38,500円</u></b>	床面積の合計が200㎡を超え300㎡以内のもの	1件	<b><u>41,400円</u></b>
床面積の合計が300㎡を超え500㎡以内のもの	1件	<b><u>39,800円</u></b>	床面積の合計が300㎡を超え500㎡以内のもの	1件	<b><u>42,800円</u></b>
床面積の合計が500㎡を超え1,000㎡以内のもの	1件	<b><u>46,600円</u></b>	床面積の合計が500㎡を超え1,000㎡以内のもの	1件	<b><u>50,100円</u></b>
床面積の合計が1,000㎡を超えるもの	1件	<b><u>47,600円</u></b>	床面積の合計が1,000㎡を超えるもの	1件	<b><u>51,200円</u></b>

現行			改正後（案）		
別表第7（第2条関係）			別表第7（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 建築等計画の認定を受けようとする住宅が新築しようとする一戸建ての住宅（人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限る。以下この表及び次表において同じ。）の場合	1件	<b>45,000円</b> （確認書又は住宅性能評価書（住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成11年法律第81号）第6条の2第5項に規定する確認書又は住宅性能評価書をいう。以下この表及び次表において「確認書等」という。）の提出がある場合にあっては、 <b>12,000円</b> ）	1 建築等計画の認定を受けようとする住宅が新築しようとする一戸建ての住宅（人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限る。以下この表及び次表において同じ。）の場合	1件	<b>47,800円</b> （確認書又は住宅性能評価書（住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成11年法律第81号）第6条の2第5項に規定する確認書又は住宅性能評価書をいう。以下この表及び次表において「確認書等」という。）の提出がある場合にあっては、 <b>12,700円</b> ）
2 建築等計画の認定を受けようとする住宅が新築しようとする共同住宅等（共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいう。以下この表及び次表において同じ。）の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b>104,000円</b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b>22,000円</b> ）を認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅（長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条第1項に規定する区分所有住宅をいう。次表において同じ。）を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（そ	2 建築等計画の認定を受けようとする住宅が新築しようとする共同住宅等（共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいう。以下この表及び次表において同じ。）の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b>112,000円</b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b>23,300円</b> ）を認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅（長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条第1項に規定する区分所有住宅をいう。次表において同じ。）を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（そ

現行			改正後（案）		
		の額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額)			の額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額)
3 建築等計画の認定を受けようとする住宅が増築し、若しくは改築しようとする一戸建ての住宅の場合又は維持保全計画の認定を受けようとする住宅が一戸建ての住宅の場合	1件	<b><u>67,000円</u></b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>18,000円</u></b> ）	3 建築等計画の認定を受けようとする住宅が増築し、若しくは改築しようとする一戸建ての住宅の場合又は維持保全計画の認定を受けようとする住宅が一戸建ての住宅の場合	1件	<b><u>71,700円</u></b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>19,100円</u></b> ）
4 建築等計画の認定を受けようとする住宅が増築し、若しくは改築しようとする共同住宅等の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）又は維持保全計画の認定を受けようとする住宅が共同住宅等の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b><u>157,000円</u></b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>33,000円</u></b> ）を認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の認定又は維持保全計画の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）	4 建築等計画の認定を受けようとする住宅が増築し、若しくは改築しようとする共同住宅等の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）又は維持保全計画の認定を受けようとする住宅が共同住宅等の場合（床面積の合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b><u>169,000円</u></b> （確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>35,000円</u></b> ）を認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の認定又は維持保全計画の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）

現行			改正後（案）		
別表第8（第2条関係）			別表第8（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 建築等計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第1項の建築等計画の認定を受けた一戸建ての住宅の場合	1件	23,000円（変更後の建築等計画に係る確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>6,000円</u></b> ）	1 建築等計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第1項の建築等計画の認定を受けた一戸建ての住宅の場合	1件	23,000円（変更後の建築等計画に係る確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>6,350円</u></b> ）
2 建築等計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第2項の建築等計画の認定を受けた共同住宅等の場合（建築等計画の変更の認定に係る住戸が属する1の建築物の当該建築等計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該建築等計画の変更に係る部分のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b><u>104,000円</u></b> （変更後の建築等計画に係る確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>22,000円</u></b> ）を変更認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の変更の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）	2 建築等計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第2項の建築等計画の認定を受けた共同住宅等の場合（建築等計画の変更の認定に係る住戸が属する1の建築物の当該建築等計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該建築等計画の変更に係る部分のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計が500m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	<b><u>112,000円</u></b> （変更後の建築等計画に係る確認書等の提出がある場合にあっては、 <b><u>23,300円</u></b> ）を変更認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の変更の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）
3 建築等計画の変更の認定	1件	<b><u>34,000円</u></b> （変更後の建築等	3 建築等計画の変更の認定	1件	<b><u>35,800円</u></b> （変更後の建築等

現行			改正後（案）		
又は維持保全計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第3項の建築等計画の認定又は維持保全計画の認定を受けた一戸建ての住宅の場合		計画又は維持保全計画（次項において「変更後の計画」という。）に係る確認書等の提出がある場合にあつては、 <b><u>9,000円</u></b> ）	又は維持保全計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第3項の建築等計画の認定又は維持保全計画の認定を受けた一戸建ての住宅の場合		計画又は維持保全計画（次項において「変更後の計画」という。）に係る確認書等の提出がある場合にあつては、 <b><u>9,550円</u></b> ）
4 建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第4項の建築等計画の認定又は維持保全計画の認定を受けた共同住宅等の場合（建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定に係る住戸が属する1の建築物の当該建築等計画又は当該維持保全計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該建築等計画又は当該維持保全計画の変更に係る部分のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計が500㎡以内のものに	1件	<b><u>157,000円</u></b> （変更後の計画に係る確認書等の提出がある場合にあつては、 <b><u>33,000円</u></b> ）を変更認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）	4 建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定を受けようとする住宅が前表第4項の建築等計画の認定又は維持保全計画の認定を受けた共同住宅等の場合（建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定に係る住戸が属する1の建築物の当該建築等計画又は当該維持保全計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該建築等計画又は当該維持保全計画の変更に係る部分のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計が500㎡以内のものに	1件	<b><u>169,000円</u></b> （変更後の計画に係る確認書等の提出がある場合にあつては、 <b><u>35,000円</u></b> ）を変更認定申請数（1の共同住宅等（区分所有住宅を除く。）に係る住戸について行われる建築等計画の変更の認定又は維持保全計画の変更の認定の申請の数をいう。）で除して得た額（その額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）

現行			改正後（案）		
限る。）			限る。）		
別表第9（第2条関係）			別表第9（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 〔略〕			1 〔略〕		
(1) 〔略〕			(1) 〔略〕		
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1 件	<b>34,000円</b> （住宅基準適合証等（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項に規定する登録住宅性能評価機関が作成した都市の低炭素化の促進に関する法律第54条第1項各号に掲げる基準（以下この表において「認定基準」という。）に適合していることを示す書類又は市長の定めるその他の図書をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、5,000円）	ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1 件	<b>36,100円</b> （住宅基準適合証等（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項に規定する登録住宅性能評価機関が作成した都市の低炭素化の促進に関する法律第54条第1項各号に掲げる基準（以下この表において「認定基準」という。）に適合していることを示す書類又は市長の定めるその他の図書をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、5,000円）
イ 〔略〕			イ 〔略〕		

現行			改正後（案）		
(2)・(3) 〔略〕			(2)・(3) 〔略〕		
2 〔略〕			2 〔略〕		
(1) 当該建築物の非住宅部分について省令第10条第1号イ（1）及び同号ロ（1）の基準並びに同号ただし書に規定する方法（次表、別表第16及び別表第17において「誘導標準入力法等基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1 件	<b>225,000円</b> （非住宅基準適合証（建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第14条第1項の登録建築物エネルギー消費性能判定機関が作成した認定基準に適合していることを示す書類をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円）	(1) 当該建築物の非住宅部分について省令第10条第1号イ（1）及び同号ロ（1）の基準並びに同号ただし書に規定する方法（次表、別表第16及び別表第17において「誘導標準入力法等基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1 件	<b>241,000円</b> （非住宅基準適合証（建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第14条第1項の登録建築物エネルギー消費性能判定機関が作成した認定基準に適合していることを示す書類をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円）
(2) 当該建築物の非住宅部分について省令第10条第1号イ（2）及び同号ロ（2）の基準（次表、別表第16及び別表第17において「誘導モデル建物法基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が	1 件	<b>86,000円</b> （非住宅基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）	(2) 当該建築物の非住宅部分について省令第10条第1号イ（2）及び同号ロ（2）の基準（次表、別表第16及び別表第17において「誘導モデル建物法基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が	1 件	<b>92,100円</b> （非住宅基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）

現行			改正後（案）		
300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）			300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）		
(3) 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>67,000円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）	(3) 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>71,900円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）
(4) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>32,000円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）	(4) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>34,200円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）
(5) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>50,000円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）	(5) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1 件	<b><u>53,000円</u></b> （住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）
別表第10（第2条関係）			別表第10（第2条関係）		
区分	単	手数料の額	区分	単	手数料の額



現行			改正後（案）		
	位			位	
1 〔略〕  (1) 〔略〕  ア 床面積の合計が 200㎡未満のもの  イ 〔略〕  (2)・(3) 〔略〕	1件	<b>17,000円</b> （変更後の計画に係る 住宅基準適合証等の提出がある 場合にあっては、3,000円）	1 〔略〕  (1) 〔略〕  ア 床面積の合計が 200㎡未満のもの  イ 〔略〕  (2)・(3) 〔略〕	1件	<b>18,000円</b> （変更後の計画に係る 住宅基準適合証等の提出がある 場合にあっては、3,000円）
2 非住宅建築物、共同住宅等又は複合建築物に係る計画の変更の認定を受けようとする場合		非住宅建築物又は複合建築物（非住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合に限る。）にあっては第1号又は第2号に規定する手数料の額、共同住宅等又は複合建築物（住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合に限る。）にあっては第3号から第5号までのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物（非住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合及び	2 非住宅建築物、共同住宅等又は複合建築物に係る計画の変更の認定を受けようとする場合（計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この項において「計画の変更に係る部分の床面積		前表第2項に定める額（この場合において、同項中「計画の認定」とあるのは「計画の変更の認定」と、「床面積の合計」とあるのは「計画の変更に係る部分の床面積の合計」と、「非住宅基準適合証」とあるのは「変更後の計画に係る非住宅基準適合証」と、「住宅基準適合証等」とあるのは「変更後の計画に係る住宅基準適合証等」と読み替えるものとする。）

現行			改正後（案）		
		住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合を除く。）にあっては第1号又は第2号及び第3号から第5号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれ当該手数料を合算した額			の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）
(1) 当該建築物の非住宅部分について誘導標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この表において「計画の変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）	1件	225,000円（変更後の計画に係る非住宅基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）			

現行			改正後（案）		
(2) 当該建築物の非住宅部分について誘導モデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	86,000円（変更後の計画に係る非住宅基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）			
(3) 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	67,000円（変更後の計画に係る住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			
(4) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	32,000円（変更後の計画に係る住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			

現行			改正後（案）		
(5) 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	50,000円（変更後の計画に係る住宅基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			

別表第11（第2条関係）

建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料（民間建築物）

区分	単位	手数料の額
1 計画の適合性判定を受けようとする建築物が非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。ただし、工場その他のこれに類するもので市長が定めるものの部分（以下この表から別表第15までにおいて「工場等部分」という。）を除く。以下この表から別表第15までにお		<p>非住宅部分を有する建築物<b><u>又は工場等部分を有する建築物</u></b></p> <hr/> <hr/> <hr/> <p>_____にあっては第1号から第4号までのいずれかに規定する手数料の額、共同住宅等にある場合は第5号から第7号までのいずれかに規定する手数料の額、<b><u>複合建築物に</u></b></p> <hr/>

別表第11（第2条関係）

建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料\_\_\_\_\_

区分	単位	手数料の額
1 計画の適合性判定を受けようとする建築物が非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。ただし、工場その他のこれに類するもので市長が定めるものの部分（以下この表から別表第15までにおいて「工場等部分」という。）を除く。以下この表から別表第15までにお		<p>非住宅部分を有する建築物、<b><u>工場等部分を有する建築物又は複合建築物（非住宅部分又は工場等部分に限って計画の適合性判定を受けようとする場合に限る。）</u></b>にあっては第1号から第4号までのいずれかに規定する手数料の額、共同住宅等にある場合は第5号から第7号までのいずれかに規定する手数料の額、<b><u>複合建築物（非住宅部分又は工場等部分に限って計画の適合性判定</u></b></p>

現行			改正後（案）		
いて同じ。）を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等（共同住宅、長屋、その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分又は工場等部分を有しないものをいう。以下この表から別表第15までにおいて同じ。）又は複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下この表から別表第15までにおいて同じ。）である場合		<div>_____あつては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を超えるときは、当該額とする。</div>			
(1) 当該建築物の非住宅部分について省令第1条第1項第1号イの基準及び同号ただし書に規定する方法（以下この表から別表第15まで	1件	<div><u>224,000円</u></div>			
いて同じ。）を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等（共同住宅、長屋、その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分又は工場等部分を有しないものをいう。以下この表から別表第15までにおいて同じ。）又は複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下この表から別表第15までにおいて同じ。）である場合		<div><u>_____を受けようとする場合を除く。）に</u>あつては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を超えるときは、当該額とする。</div>			
(1) 当該建築物の非住宅部分について省令第1条第1項第1号イの基準及び同号ただし書に規定する方法（以下この表から別表第15まで	1件	<div><u>241,000円</u></div>			

現行			改正後（案）		
において「標準入力法等基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積（建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行令（平成28年政令第8号）第3条に規定する床面積をいう。ただし、建築物を増築し、又は改築しようとする場合において、当該建築物についてエネルギー消費性能に係る計算その他の計算を要しない既存部分があるときは、当該既存部分の床面積を除く。以下この表から別表第17までにおいて同じ。）の合計が300㎡以内のものに限る。）			において「標準入力法等基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積（建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行令（平成28年政令第8号）第3条に規定する床面積をいう。ただし、建築物を増築し、又は改築しようとする場合において、当該建築物についてエネルギー消費性能に係る計算その他の計算を要しない既存部分があるときは、当該既存部分の床面積を除く。以下この表から別表第17までにおいて同じ。）の合計が300㎡以内のものに限る。）		
(2) 〔略〕			(2) 〔略〕		
(3) 当該建築物の非住	1件	<u>86,000円</u>	(3) 当該建築物の非住	1件	<u>92,100円</u>

現行			改正後（案）		
<p>宅部分について省令第1条第1項第1号ロの基準（以下この表から別表第15までにおいて「モデル建物法基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p> <p>(4) 〔略〕</p> <p>(5) 当該建築物の住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分という。以下この表から別表第17までにおいて同じ。）について省令第1条第1項第2号イ(1)及び同号ロ(1)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「標準計算基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の</p>	1件	<u>67,000円</u>	<p>宅部分について省令第1条第1項第1号ロの基準（以下この表から別表第15までにおいて「モデル建物法基準」という。）を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p> <p>(4) 〔略〕</p> <p>(5) 当該建築物の住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分という。以下この表から別表第17までにおいて同じ。）について省令第1条第1項第2号イ(1)及び同号ロ(1)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「標準計算基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の</p>	1件	<u>71,900円</u>

現行			改正後（案）		
床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）			床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）		
(6) 当該建築物の住宅部分について省令第1条第1項第2号イ(2)及び同号ロ(2)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「仕様基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	<u>32,000円</u>	(6) 当該建築物の住宅部分について省令第1条第1項第2号イ(2)及び同号ロ(2)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「仕様基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	<u>34,200円</u>
(7) 当該建築物の住宅部分について省令第1条第1項第2号イ(1)及び同号ロ(2)の基準又は同号イ(2)及び同号ロ(1)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「仕様・計算併用法基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の	1件	<u>50,000円</u>	(7) 当該建築物の住宅部分について省令第1条第1項第2号イ(1)及び同号ロ(2)の基準又は同号イ(2)及び同号ロ(1)の基準（以下この表から別表第15までにおいて「仕様・計算併用法基準」という。）を用いて評価を行う場合（住宅部分の	1件	<u>53,000円</u>



現行			改正後（案）		
床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）			床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）		
2 〔略〕			2 〔略〕		
(1) 当該建築物について標準計算基準を用いて評価を行う場合			(1) 当該建築物について標準計算基準を用いて評価を行う場合		
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>34,000円</u></b>	ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>36,100円</u></b>
イ 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	<b><u>37,000円</u></b>	イ 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	<b><u>39,800円</u></b>
(2) 〔略〕			(2) 〔略〕		
(3) 当該建築物について仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合			(3) 当該建築物について仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合		
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>25,000円</u></b>	ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>26,900円</u></b>
イ 〔略〕			イ 〔略〕		
別表第12（第2条関係） 建築物エネルギー消費性能変更適合性判定手数料 <b>（民間建築物）</b>			別表第12（第2条関係） 建築物エネルギー消費性能変更適合性判定手数料 _____		

現行			改正後（案）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 計画の変更の適合性判定を受けようとする建築物が非住宅部分を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合		非住宅部分を有する建築物又は工場等部分を有する建築物にあつては第1号から第4号までのいずれかに規定する手数料の額、共同住宅等にあつては第5号から第7号までのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物にあつては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を	1 計画の変更の適合性判定を受けようとする建築物が非住宅部分を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合（計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この項において「計画の変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）		前表第1項に定める額（この場合において、同項中「計画の適合性判定」とあるのは「計画の変更の適合性判定」と、「床面積の合計」とあるのは「計画の変更に係る部分の床面積の合計」と読み替えるものとする。）

現行			改正後（案）		
<p>(1) 当該建築物の非住宅部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この表及び別表第14において「計画の変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）</p>	1件	<p>超えるときは、当該額とする。</p> <p>224,000円</p>			
	1件	<p>23,000円</p>			

現行			改正後（案）		
る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)					
(3) 当該建築物の非住宅部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	86,000円			
(4) 当該建築物の工場等部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	19,000円			
(5) 当該建築物の住宅部分について標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計	1件	67,000円			

現行			改正後（案）		
画の変更に係る部分の 床面積の合計が300㎡ 以内のものに限る。）					
(6) 当該建築物の住宅 部分について仕様基準 を用いて評価を行う場 合（住宅部分の計画の 変更に係る部分の床面 積の合計が300㎡以内 のものに限る。）	1件	32,000円			
(7) 当該建築物の住宅 部分について仕様・計 算併用法基準を用いて 評価を行う場合（住宅 部分の計画の変更に係 る部分の床面積の合計 が300㎡以内のものに 限る。）	1件	50,000円			
2 〔略〕			2 〔略〕		
(1) 〔略〕			(1) 〔略〕		
ア 床面積の合計が 200㎡未満のもの	1件	<u>17,000円</u>	ア 床面積の合計が 200㎡未満のもの	1件	<u>18,000円</u>

現行			改正後（案）		
イ　〔略〕			イ　〔略〕		
(2)・(3)　〔略〕			(2)・(3)　〔略〕		
<b>別表第13（第2条関係）</b> <b>建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料（公共建築物）</b>			<b>別表第13及び別表第14　削除</b>		
区分	単位	手数料の額			
1　計画の適合性判定を求めようとする建築物が非住宅部分を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合		非住宅部分を有する建築物又は工場等部分を有する建築物にあっては第1号から第4号までのいずれかに規定する手数料の額、共同住宅等にあっては第5号から第7号までのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物にあっては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号			

現行			改正後（案）
		<p>に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を超えるときは、当該額とする。</p>	
<p>(1) 当該建築物の非住宅部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p>	1件	224,000円	
<p>(2) 当該建築物の工場等部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p>	1件	23,000円	

現行			改正後（案）
(3) 当該建築物の非住宅部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	86,000円	
(4) 当該建築物の工場等部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	19,000円	
(5) 当該建築物の住宅部分について標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	67,000円	
(6) 当該建築物の住宅部分について仕様基準を用いて評価を行う	1件	32,000円	



現行			改正後（案）
<p>場合（住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p> <p>(7) 当該建築物の住宅部分について仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p>	1件	50,000円	
<p>2 計画の適合性判定を求めようとする建築物が一戸建ての住宅の場合</p> <p>(1) 当該建築物について標準計算基準を用いて評価を行う場合</p> <p>ア 床面積の合計が200㎡未満のもの</p> <p>イ 床面積の合計が200㎡以上のもの</p> <p>(2) 当該建築物につ</p>	<p>1件</p> <p>1件</p>	<p>34,000円</p> <p>37,000円</p>	

現行			改正後（案）
いて仕様基準を用いて評価を行う場合			
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	18,000円	
イ 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	19,000円	
(3) 当該建築物について仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合			
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	25,000円	
イ 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	28,000円	

**別表第14（第2条関係）**

**建築物エネルギー消費性能変更適合性判定手数料（公共建築物）**

区分	単位	手数料の額
1 計画の変更の適合性判定を求めようとする建築		非住宅部分を有する建築物又は工場等部分を有する建築物にあ

現行			改正後（案）
物が非住宅部分を有する建築物、工場等部分を有する建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合		<p>っては第1号から第4号までのいずれかに規定する手数料の額、共同住宅等にあつては第5号から第7号までのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物にあつては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を超えるときは、当該額とする。</p>	
(1) 当該建築物の非住宅部分について標準入力法等基準を用いて	1件	224,000円	

現行			改正後（案）
評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）			
(2) 当該建築物の工場等部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	23,000円	
(3) 当該建築物の非住宅部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	86,000円	
(4) 当該建築物の工場等部分についてモデ	1件	19,000円	

現行			改正後（案）
ル建物法基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）			
(5) 当該建築物の住宅部分について標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	67,000円	
(6) 当該建築物の住宅部分について仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	32,000円	
(7) 当該建築物の住宅部分について仕様・	1件	50,000円	

現行			改正後（案）
計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）			
2 計画の変更の適合性判定を求めようとする建築物が一戸建ての住宅の場合			
（1） 当該建築物について標準計算基準を用いて評価を行う場合			
ア 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	17,000円	
イ 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	19,000円	
（2） 当該建築物について仕様基準を用いて評価を行う場合			
ア 床面積の合計が	1件	9,000円	

現行			改正後（案）		
200㎡未満のもの					
イ 床面積の合計が 200㎡以上のもの	1件	10,000円			
(3) 当該建築物につ いて仕様・計算併用法 基準を用いて評価を行 う場合					
ア 床面積の合計が 200㎡未満のもの	1件	13,000円			
イ 床面積の合計が 200㎡以上のもの	1件	14,000円			
別表第15（第2条関係）			別表第15（第2条関係）		
区分	単 位	手数料の額	区分	単 位	手数料の額
1 書面の交付を求めよう とする建築物が非住宅部 分を有する建築物、工場 等部分を有する建築物、 共同住宅等又は複合建築 物である場合		非住宅部分を有する建築物又は 工場等部分を有する建築物にあ っては第1号から第4号までのい ずれかに規定する手数料の額、 共同住宅等においては第5号か ら第7号までのいずれかに規定 する手数料の額、複合建築物に	1 書面の交付を求めよう とする建築物が非住宅部 分を有する建築物、工場 等部分を有する建築物、 共同住宅等又は複合建築 物である場合（計画の軽 微な変更に係る部分（床		別表第11第1項に定める額（こ の場合において、同項中「計画 の適合性判定を受けようとし る」とあるのは「書面の交付を 求めようとする」と、「床面積 の合計」とあるのは「軽微な変 更に係る部分の床面積の合計」

現行			改正後（案）		
(1) 当該建築物の非住宅部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の軽微な変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の軽微な変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この項において「軽微な変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）	1件	<p>あつては第1号から第4号までのいずれか及び第5号から第7号までのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれに規定する手数料の額を合算した額。ただし、非住宅部分及び工場等部分を有する建築物については、第1号及び第2号又は第3号及び第4号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を合算した額が、当該建築物の非住宅部分及び工場等部分の床面積の合計を全て非住宅部分の面積とみなした場合における第1号又は第3号に規定する区分に応じそれぞれに規定する手数料の額を超えるときは、当該額とする。</p>			と読み替えるものとする。)
		224,000円			



現行			改正後（案）		
<p>の1の面積と当該計画の軽微な変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この表において「軽微な変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）</p> <p>(2) 当該建築物の工場等部分について標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）</p> <p>(3) 当該建築物の非住宅部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計</p>	<p>1件</p> <p>1件</p>	<p>23,000円</p> <p>86,000円</p>			

現行			改正後（案）		
が300㎡以内のものに限る。)					
(4) 当該建築物の工場等部分についてモデル建物法基準を用いて評価を行う場合（工場等部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	19,000円			
(5) 当該建築物の住宅部分について標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	67,000円			
(6) 当該建築物の住宅部分について仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内	1件	32,000円			

現行			改正後（案）		
のもののに限る。）  (7) 当該建築物の住宅部分について仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の軽微な変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	50,000円			
2 〔略〕  (1) 〔略〕  ア 床面積の合計が200㎡未満のもの  イ 〔略〕  (2)・(3) 〔略〕	1件	<u>17,000円</u>	2 〔略〕  (1) 〔略〕  ア 床面積の合計が200㎡未満のもの  イ 〔略〕  (2)・(3) 〔略〕	1件	<u>18,000円</u>
別表第16（第2条関係）			別表第16（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 〔略〕			1 〔略〕		

現行			改正後（案）		
<p>(1) 計画の認定を受けようとする建築物が非住宅建築物（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅建築物をいう。以下この表及び次表において同じ。）、共同住宅等（共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。以下この表<b>及び次表において同じ。</b>）を有しないものをいう。以下この表及び次表において同じ。）又は複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下この表及び次表において同じ。）である場合</p>		<p>非住宅建築物又は複合建築物（非住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合に限る。）にあってはア又はイに規定する手数料の額、共同住宅等又は複合建築物（住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分をいう。以下この表及び次表において同じ。）に限って計画の認定を受けようとする場合に限る。）にあってはウからオまでのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物（非住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合及び住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合を除く。）にあってはア又はイ及びウからオまでのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれ当該手数料を合算した額</p>	<p>(1) 計画の認定を受けようとする建築物が非住宅建築物（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅建築物をいう。以下この表及び次表において同じ。）、共同住宅等（共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。以下この表<b>において同じ。</b>）を有しないものをいう。以下この表及び次表において同じ。）又は複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下この表及び次表において同じ。）である場合</p>		<p>非住宅建築物又は複合建築物（非住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合に限る。）にあってはア又はイに規定する手数料の額、共同住宅等又は複合建築物（住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分をいう。以下この表及び次表において同じ。）に限って計画の認定を受けようとする場合に限る。）にあってはウからオまでのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物（非住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合及び住宅部分に限って計画の認定を受けようとする場合を除く。）にあってはア又はイ及びウからオまでのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれ当該手数料を合算した額</p>
ア 当該建築物の非住	1件	<b>224,000円</b> （非住宅誘導基準適	ア 当該建築物の非住	1件	<b>241,000円</b> （非住宅誘導基準適

現行			改正後（案）		
宅部分について誘導標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）		合証（建築物省エネ法第14条第1項の登録建築物エネルギー消費性能判定機関が作成した建築物省エネ法第30条第1項各号（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）に掲げる基準に適合していることを示す書類をいう。以下この表 <b>及び次表</b> において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円）	宅部分について誘導標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）		合証（建築物省エネ法第14条第1項の登録建築物エネルギー消費性能判定機関が作成した建築物省エネ法第30条第1項各号（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）に掲げる基準に適合していることを示す書類をいう。以下この表_____において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円）
イ 当該建築物の非住宅部分について誘導モデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	<b>86,000円</b> （非住宅誘導基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）	イ 当該建築物の非住宅部分について誘導モデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）	1件	<b>92,100円</b> （非住宅誘導基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）
ウ 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合	1件	<b>67,000円</b> （住宅誘導基準適合証等（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項に規定する登録住宅性能評価機関が作成した建築物省エネ法第30条第1	ウ 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合	1件	<b>71,900円</b> （住宅誘導基準適合証等（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項に規定する登録住宅性能評価機関が作成した建築物省エネ法第30条第1

現行			改正後（案）		
計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)		項各号（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）に掲げる基準に適合していることを示す書類又は市長が定めるその他の図書をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円)	計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)		項各号（建築物省エネ法第31条第2項において準用する場合を含む。）に掲げる基準に適合していることを示す書類又は市長が定めるその他の図書をいう。以下この表及び次表において同じ。）の提出がある場合にあっては、10,000円)
エ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)	1件	<b><u>32,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円)	エ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)	1件	<b><u>34,200円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円)
オ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)	1件	<b><u>50,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円)	オ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の床面積の合計が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。)	1件	<b><u>53,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円)

現行			改正後（案）		
(2) 〔略〕			(2) 〔略〕		
ア 当該建築物について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合			ア 当該建築物について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合		
(ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>34,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）	(ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>36,100円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）
(イ) 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	<b><u>37,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）	(イ) 床面積の合計が200㎡以上のもの	1件	<b><u>39,800円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）
イ 〔略〕			イ 〔略〕		
ウ 当該建築物について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合			ウ 当該建築物について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う場合		
(ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>25,000円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）	(ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの	1件	<b><u>26,900円</u></b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、5,000円）
(イ) 〔略〕			(イ) 〔略〕		

現行			改正後（案）		
別表第17（第2条関係）			別表第17（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 〔略〕			1 〔略〕		
(1) 計画の変更の認定を受けようとする建築物が非住宅建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合		非住宅建築物又は複合建築物（非住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合に限る。）にあつてはア又はイに規定する手数料の額、共同住宅等又は複合建築物（住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合に限る。）にあつてはウからオまでのいずれかに規定する手数料の額、複合建築物（非住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合及び住宅部分に限って計画の変更の認定を受けようとする場合を除く。）にあつてはア又はイ及びウからオまでのいずれかに規定する区分に応じ、それぞれ当該手数料を合算した額	(1) 計画の変更の認定を受けようとする建築物が非住宅建築物、共同住宅等又は複合建築物である場合（計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この項において「計画の変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300㎡以内のものに限る。）		前表第1項第1号に定める額（この場合において、同号中「計画の認定」とあるのは「計画の変更の認定」と、「床面積の合計」とあるのは「計画の変更に係る部分の床面積の合計」と読み替えるものとする。）



現行			改正後（案）		
ア 当該建築物の非住宅部分について誘導標準入力法等基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分（床面積の増加に係る部分を除く。）の床面積の2分の1の面積と当該計画の変更に係る部分の面積のうち床面積の増加に係る部分の床面積との合計（以下この表において「計画の変更に係る部分の床面積の合計」という。）が300 m <sup>2</sup> 以内のものに限る。）	1件	224,000円（非住宅誘導基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）			
イ 当該建築物の非住宅部分について誘導モデル建物法基準を用いて評価を行う場合（非住宅部分の計画の変更に係る部分	1件	86,000円（非住宅誘導基準適合証の提出がある場合にあっては、10,000円）			

現行			改正後（案）		
の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)					
ウ 当該建築物の住宅部分について誘導標準計算基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	67,000円（住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			
エ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様基準を用いて評価を行う場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。)	1件	32,000円（住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			
オ 当該建築物の住宅部分について誘導仕様・計算併用法基準を用いて評価を行う	1件	50,000円（住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、10,000円）			

現行			改正後（案）		
場合（住宅部分の計画の変更に係る部分の床面積の合計が300㎡以内のものに限る。）					
(2) 〔略〕 ア 〔略〕 (ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの (イ) 〔略〕 イ・ウ 〔略〕	1件	<b>17,000円</b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、3,000円）	(2) 〔略〕 ア 〔略〕 (ア) 床面積の合計が200㎡未満のもの (イ) 〔略〕 イ・ウ 〔略〕	1件	<b>18,000円</b> （住宅誘導基準適合証等の提出がある場合にあっては、3,000円）
2・3 〔略〕			2・3 〔略〕		
別表第18（第2条関係）			別表第18（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額
1 〔略〕			1 〔略〕		
2 建築確認又は審査を受けようとする建築物が共同住宅等（共同住宅、長			2 建築確認又は審査を受けようとする建築物が共同住宅等（共同住宅、長		

現行			改正後（案）		
<p>屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。）を有しないものをいう。）又は住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分をいう。）のみの増築若しくは改築をする複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。）の場合</p> <p>(1) 住宅部分の床面積の合計が300㎡未満のもの</p> <p>(2) 住宅部分の床面積の合計が300㎡以上のもの</p>	<p>1件</p> <p>1件</p>	<p><u>23,000円</u></p> <p><u>36,000円</u></p>	<p>屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅で非住宅部分（省令第1条第1項第1号に規定する非住宅部分をいう。）を有しないものをいう。）又は住宅部分（省令第1条第2項に規定する住宅部分をいう。）のみの増築若しくは改築をする複合建築物（省令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。）の場合</p> <p>(1) 住宅部分の床面積の合計が300㎡未満のもの</p> <p>(2) 住宅部分の床面積の合計が300㎡以上のもの</p>	<p>1件</p> <p>1件</p>	<p><u>24,400円</u></p> <p><u>38,400円</u></p>
別表第19（第2条関係）			別表第19（第2条関係）		
区分	単位	手数料の額	区分	単位	手数料の額

現行			改正後（案）		
1・2 〔略〕			1・2 〔略〕		
3 検査を受けようとする建築物が非住宅部分（工場その他のこれに類するもので市長が定めるものの部分を除く。以下この表において同じ。）を有する場合			3 検査を受けようとする建築物が非住宅部分（工場その他のこれに類するもので市長が定めるものの部分を除く。以下この表において同じ。）を有する場合		
(1) 〔略〕			(1) 〔略〕		
(2) 非住宅部分の床面積の合計が300㎡以上1,000㎡未満のもの	1件	<u>16,000円</u>	(2) 非住宅部分の床面積の合計が300㎡以上1,000㎡未満のもの	1件	<u>17,100円</u>
(3) 非住宅部分の床面積の合計が1,000㎡以上のもの	1件	<u>26,000円</u>	(3) 非住宅部分の床面積の合計が1,000㎡以上のもの	1件	<u>27,900円</u>
4 〔略〕			4 〔略〕		

浜田市火入れに関する条例

新旧対照表 (下線部分が改正箇所)

現行	改正後 (案)
<p>(火入れの中止)</p> <p><b>第13条</b> 火入れ者及び火入れ責任者は、火入れの許可の期間中であつても、強風注意報、乾燥注意報が発表され又は_____火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</p> <p>2 火入れ責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められるとき、又は強風注意報、乾燥注意報が発表され又は_____火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</p>	<p>(火入れの中止)</p> <p><b>第13条</b> 火入れ者及び火入れ責任者は、火入れの許可の期間中であつても、強風注意報、乾燥注意報が発表され又は_____ <u>林野火災注意報</u> 及び火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</p> <p>2 火入れ責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められるとき、又は強風注意報、乾燥注意報が発表され又は_____ <u>林野火災注意報</u> 及び火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</p>

浜田市工場誘致条例（平成17年浜田市条例第209号）新旧対照表（下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
<p>（定義）</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>(3) 工場等 物品の製造業（物品の加工、修理その他これらに類する事業を含む。以下同じ。）、情報サービス業等（租税特別措置法施行令（昭和32年政令第43号）<b>第6条の3第14項</b>又は<b>第28条の9第15項</b>に規定する情報サービス業等をいう。以下同じ。）、農林水産物等販売業（過疎法第23条に規定する農林水産物等販売業をいう。以下同じ。）又は旅館業（下宿営業を除く。以下同じ。）等を行うため必要な施設をいう。</p> <p>(4)・(5) 〔略〕</p> <p>（奨励措置）</p> <p>第5条 市長は、地方税法（昭和25年法律第226号）第6条第1項の規定により、過疎地域内において次の各号に掲げる事業の用に供する設備（過疎法第2条第2項の規定による公示の日（以下「公示日」という。）から過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令（令和3年総務省令第31号）第1条第1号イに定める期限までの間に、租税特別措置法（昭和32年法律第26号）<b>第12条第1項</b>の表の第1号又は同法<b>第45条第1項</b>の表の第1号の規定の適用を受ける設備であって、取得価額の合計額が当該各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める額以上のものに限る。）の取得等（過疎法第23条に規定する取得等（資本金の額等（租税特別措置法施行令第28条の9第10項に規定する資本金の額等をいう。以下同じ。）が</p>	<p>（定義）</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>(3) 工場等 物品の製造業（物品の加工、修理その他これらに類する事業を含む。以下同じ。）、情報サービス業等（租税特別措置法施行令（昭和32年政令第43号）<b>第6条の3第19項</b>又は<b>第28条の9第20項</b>に規定する情報サービス業等をいう。以下同じ。）、農林水産物等販売業（過疎法第23条に規定する農林水産物等販売業をいう。以下同じ。）又は旅館業（下宿営業を除く。以下同じ。）等を行うため必要な施設をいう。</p> <p>(4)・(5) 〔略〕</p> <p>（奨励措置）</p> <p>第5条 市長は、地方税法（昭和25年法律第226号）第6条第1項の規定により、過疎地域内において次の各号に掲げる事業の用に供する設備（過疎法第2条第2項の規定による公示の日（以下「公示日」という。）から過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令（令和3年総務省令第31号）第1条第1号イに定める期限までの間に、租税特別措置法（昭和32年法律第26号）<b>第12条第4項</b>の表の第1号又は同法<b>第45条第3項</b>の表の第1号の規定の適用を受ける設備であって、取得価額の合計額が当該各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める額以上のものに限る。）の取得等（過疎法第23条に規定する取得等（資本金の額等（租税特別措置法施行令第28条の9第10項に規定する資本金の額等をいう。以下同じ。）が</p>

現行	改正後（案）
<p>5,000万円を超える法人が行うものについては、新設又は増設に限る。）をいう。）をした者について、その事業に係る機械及び装置（<b>物品の製造業又は農林水産物等販売業の用に供するものに限る。</b>）若しくはその事業に係る建物若しくはその敷地である土地（公示日以後において取得したものに限り、かつ、土地の取得については、その取得の日の翌日から起算して1年以内に当該土地を敷地とする当該家屋の建設の着手があった場合における当該土地に限る。）に対する固定資産税の課税を免除することができる。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>2～4 〔略〕</p>	<p>5,000万円を超える法人が行うものについては、新設又は増設に限る。）をいう。）をした者について、その事業に係る機械及び装置</p> <hr/> <p>若しくはその事業に係る建物若しくはその敷地である土地（公示日以後において取得したものに限り、かつ、土地の取得については、その取得の日の翌日から起算して1年以内に当該土地を敷地とする当該家屋の建設の着手があった場合における当該土地に限る。）に対する固定資産税の課税を免除することができる。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>2～4 〔略〕</p>



# **浜田市ふるさと体験村施設**

## **管理運営に係る事業計画書**

令和7年10月20日

株式会社やさかプロダクツ

## 1. 指定管理業務実施に当たっての基本的な事項

### a. 指定管理業務実施に当たっての基本的な方針

浜田市ふるさと体験村（以下「本施設」という。）は、豊かな自然と地域文化を活かし、都市と農山村をつなぐ交流・学び・体験の拠点として整備された「公の施設」です。浜田市の施策や地域の将来像を踏まえ、公共性・公平性・公正性を重視しながら、持続可能で魅力ある施設運営を目指します。地域住民・利用者・行政・関係団体が連携し、時代の変化や地域課題に柔軟に対応しつつ、地域資源の保存・活用・継承に努めます。

条例や施行規則、業務仕様書を遵守し、健全で透明性の高い運営を行います。利用者が安心して快適に過ごせる環境づくりと、管理経費の適正化に努めながら、自主的・自立的な運営を推進します。多くの人に愛され、繰り返し訪れたい施設を目指し、地域と協働して魅力発信や人材育成、交流・関係人口の拡大を進めます。

本施設は、自然や文化を体験できる「おもてなしの拠点」、地域が協働し新たな活動を生み出す「地域づくりの拠点」、そして次世代が学び成長する「学びと育成の拠点」として位置づけます。また、観光だけでなく、研修やリモートワークなど中長期滞在を通じて地域と関わる「暮らしの拠点」としての機能を重視します。人と人、自然と文化を結び、地域の未来を共に創ることで、浜田市全体の活性化に貢献します。

社会情勢や利用ニーズの変化に応じて運営を柔軟に見直し、地域にとって必要とされ続ける施設を目指します。弥栄町の特性を活かし、関係機関と連携しながら、持続可能な地域づくりと、滞在を通じた新たな人の流れの創出に取り組みます。

### b. 数値目標の設定と目標達成のための具体的な取組

指定管理業務実施に当たっては、本施設の設置目的や前述の基本的な方針を踏まえ、次のとおり数値目標を設定し、目標達成のため具体的な取組を行います。

#### 数値目標

単位：人、円

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
宿泊事業	宿泊者数	750	787	826	2,361
体験交流事業	参加者数	500	525	551	1,576
物品販売事業	売上	1,000,000	1,050,000	1,103,000	3,153,000

#### 目標達成に向けた具体的な取組

事業	活用する場所	取組方針	実施時期
宿泊事業	古民家・ログハウス	1名常駐し受付・手配を行う	4月～12月、3月
体験交流事業	弥栄町内	地域内外に協力者を求める	4月～12月、3月
物品販売事業	管理棟(味里)	地域の産品等を取り扱う	4月～12月、3月

## 宿泊事業

イベントや体験、合宿、研修等と連動させることで地域との交流を深めるとともに、中長期滞在者の受け入れにも柔軟に対応し、滞在を通じた学びと交流の促進を図ります。

取り組み	内容
大きな看板の設置	宿泊者・滞在者が弥栄町内の観光スポットが一目でわかるような看板の設置を検討する。（地域産材の活用を検討）
コワーキングスペースの設置	仕事もできるように、コワーキングスペースの設置を検討します。（地域産材の活用を検討）
洗濯機の設置	中長期滞在や合宿の際に活用していただく洗濯機の設置を検討する。

## 体験交流事業

弥栄のみらい創造会議の各部会が連携し、地域の自然環境・歴史・文化を活かした多様な体験交流を推進します。講師は地域内外から幅広く募り、それぞれの技や知識を活かして交流の輪を広げるとともに、迎える側の姿勢を大切に、地域全体で協力して参加者に心地よい体験を提供できるよう努めます。

取組	活用する場所	時期	内容
やさか表現大学	弥栄町内	通年 (12回)	弥栄町をまるごとキャンパスにした、小さな地域の学び場です。農・写真・DIYなど、暮らしの中の「ちょっとやってみたい」を地域の達人から学び、教え合います。
ふるさと体験 CAMP	弥栄町内	7月、12月 (2回)	小学生を対象とした、林間学校です。
そば打ち体験	ふるさと体験村	通年	弥栄産のそば粉でそば打ち体験をします。
収穫体験	弥栄町内	通年	農家さんのガイドのもと収穫体験をします。
テントサウナ	ふるさと体験村	通年	静かな大自然の中で、整っていただきます。

## 物品販売事業

地元産の野菜や特産品を管理棟で販売します。宿泊や体験とのセット、WEB販売、市内事業者との連携などを通じて、地域の魅力発信と経済循環を図ります。

## 2. 利用者の平等な利用の確保のための方策

本施設が公の施設であることを踏まえ、関係法令及び浜田市ふるさと体験村施設条例・施行規則を遵守し、すべての利用者に対して平等かつ公平な利用機会を提供します。また、高齢者や障がいのある方をはじめ、誰もが安心して利用できるよう配慮し、丁寧な対応と心の通った接客に努めます。

## 3. 施設の効用の発揮とサービスの向上を図るための方策

### a. 効果的・効率的な管理運営のための方策

本施設の管理運営にあたっては、市内事業者への優先的な発注や複数見積りの実施、業務の複数年契約化、従業員による維持管理の実施などにより、経費の適正化とコスト削減を図ります。また、「また弥栄に来たい」と感じてもらえる魅力的な商品やサービスの提供を通じてリピーターの確保と収入増を目指すとともに、SNS等を活用した情報発信や地元マスコミ・公共施設・関係団体との連携を強化し、集客と地域のファンづくりを推進します。

### b. サービスの向上と利用促進のための方策

#### 営業期間・開館時間・休館日

本施設の営業は、原則として1月1日から2月28日までは休業期間としますが、予約や利用希望がある場合は営業を検討します。また、祝日等についても状況に応じて営業を行うこととし、利用者の利便性に配慮します。なお、施設の維持管理は年間を通じて計画的に実施し、常に良好な環境を保つよう努めます。

営業期間	開館時間	休館日
4月～12月、3月	8:30～17:00	月、火

#### 利用料金（税込）

宿泊交流施設	宿泊利用料金 (1名当たり)	宿泊利用以外の利用料金 (1時間当たり)
古民家 桑田	5,100円	3,800円
古民家 箸立	4,700円	3,500円
ログハウス（8人用）	4,500円	1,300円
ログハウス（6人用）	4,500円	1,800円

屋外利用施設	利用時間	利用料金
BBQハウス	11:00～21:00	3,000円

## 繁忙期における対策

繁忙期においては、事業計画を事前にスタッフ間で共有し、効率的かつ能率的な運営に努めます。シフト調整や臨時スタッフの配置により勤務体制を強化するとともに、清掃や草刈り等の業務は地域住民への作業委託等により必要な人員を確保します。また、来訪者の増加に合わせたイベント等の企画を行い、地域全体でにぎわいを創出します。さらに、毎年繁忙期の検証を行い、課題の整理と次年度への改善に継続的に取り組みます。

## 情報発信・広報計画

本施設の魅力や取組を広く伝えるため、ホームページやSNS、各種メディアを積極的に活用し、効果的な情報発信を行うことで地域の関係人口の拡大を目指します。また、CATVや市広報、市内主要施設との連携を通じて、市民に向けた情報提供と利用促進にも努めます。さらに、連携団体との協働や全国的なイベント等を通じて積極的なPR活動を行い、効果的な集客と地域の知名度向上を図ります。

### c. 利用者ニーズの把握とその反映の方策

利用者に対しては、公平・公正な対応を心がけ、適切かつ迅速に誠意を持って接するとともに、相反する意見がある場合は、双方の言い分を丁寧に聞く対話型の対応を行います。また、利用者の要望等から新しいルールづくりが必要と判断した場合は、浜田市と協議・調整を行います。

#### 要望等の把握方法

実施方法	内容・反映方策
日常的な苦情・要望・意見の把握	窓口対応や電話対応、施設巡回などの機会を通じて利用者の意見を積極的に把握するとともに、FAX・メール・手紙等で寄せられた苦情や要望を収集・整理し、データベース化して組織内で共有します。これらの意見を業務やサービスの改善に反映させ、利用者満足度の向上に努めます。
施設利用者及びイベント時等のアンケート実施	ご意見箱の設置や宿泊、体験プログラム・イベント実施時のアンケートを通じて、利用者からの苦情・要望・ニーズを把握し、施設運営の参考とします。併せて、客観的な事業評価の結果を分析・活用し、サービス品質や施設の魅力向上に努めます。
地域住民・連携団体等への意見聴取	地域住民の満足度を高めるため、直接対話の機会を設け、公の施設として地域に愛される施設づくりに努めます。併せて、連携団体との定期的な連絡会議を通じて多様な主体から幅広く意見を収集し、地域課題の共有と解決に向けた協働を進めます。

## 反映の方策

寄せられた苦情・要望・意見については、内容を適切に分類・データベース化し、組織内で共有します。緊急性の高い案件については迅速に対処するとともに、直ちに浜田市へ報告・協議を行います。一般的な苦情や要望については、法令等を踏まえ、公平・公正の観点を重視しながら、丁寧かつ誠実な対応により解決に向けた話し合いを実施します。これらの結果は組織内で共有し、施設の質やサービスの向上につながる事項については、事業内容や実施体制に反映させます。

## 4. 施設の管理を安定して行うための方策

### i. 本施設の管理運営に関連する事業実績

当社役員は、令和5年度から3年間、ふるさと体験村の指定管理者（弥栄のみらい創造会議）として施設運営を担ってきました。初年度は情報発信の体制が十分でなく、来訪者数の伸びが限定的でしたが、地域の魅力を伝える発信力の強化や宿泊・体験・飲食を一体的に展開する仕組みづくりに取り組むことで、毎年着実に売上を伸ばすことができました。

1年目・2年目ともに黒字を維持し、3年目も前年同時期を上回る実績を上げており、安定した経営基盤を確立しつつあります。また、地元農家や団体等との連携を重ね、地域住民と来訪者が交わる新たな交流の場を創出してきました。

これまでの3年間で培った運営ノウハウと地域ネットワークを基盤に、次期指定管理期間では「地域全体を学びと体験のフィールドとする拠点づくり」を目指し、宿泊・体験・食・教育を有機的に連携させた持続可能な運営体制をさらに強化していきます。

### 具体的な事業実績

事業・分野	主な取組・実績	成果・特徴
宿泊事業	学生合宿の受入、マラソン強化合宿の受入、プランの販売	再訪の実績、稼働率向上・再訪率の増加
体験交流事業	やさか表現大学、そば打ち体験等	毎月イベントの実施、毎日できる体験メニューの開発
イベント・教育連携	や会議、や市、フットサル大会	地域外からの関係人口増加・地域ブランドの認知拡大
管理・運営体制	地域スタッフの雇用、清掃・安全管理マニュアルの整備	安定した運営体制の確立と雇用創出
情報発信	ホームページ・SNS運用、予約フロー整備、広報物の制作	利用者利便性と業務効率の改善、認知度、予約数の向上

ii. 組織体制、従業員配置

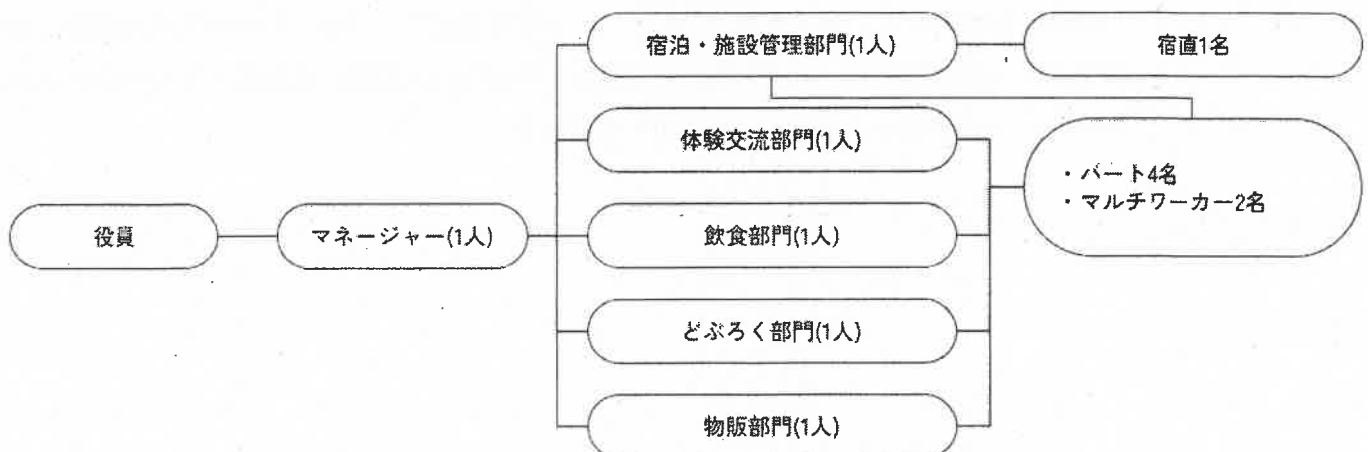
1. 申請時点での申請団体の総人員

	申請時点での 申請団体の総人員	左記のうち当該指定管理 事業に関わる人員
役員	5名	5名
正規従業員	1名（マネージャー）	1名（マネージャー）
パート	3名	3名
新規雇用の予定		
パート		1名
弥栄町複業協同組合の派遣職員		2名

外部委託業者

業務名	委託期間（頻度）
飲料貯水槽清掃業務	年間（1回）
浄化槽維持管理業務	年間（複数回）
塩素濃度測定	年間（毎日）
浄水・原水検査	年間（12回）
浄化槽法定検査	年間（1回）
草刈業務	年間（10回程度）
消防設備点検	年間（2回）

当該指定管理事業に関わる人員の組織図



# 従業員配置計画

職種	業務の種類	雇用形態	担当業務内容	所持する資格
マネージャー	受付	正規	受付・物販・体験交流	防火管理者 普通救命講習
清掃担当	清掃	パート	清掃	
//	//	//	//	
//	//	//	//	
宿直担当	受付・物販	//	宿直	
合計	5人			

- ・職種欄には、マネージャー、〇〇担当等を記入すること。
- ・職種を兼務させる場合は、兼務の職種欄に兼務させる職種を記入すること。
- ・雇用形態欄には、常勤・非常勤、正規、パート等の別を記入すること。
- ・担当業務内容欄には、仕様書に掲げる業務の内容を参考に記入すること。
- ・所持する資格欄には、各施設の従業員として業務上適当と考える資格を記入すること。

## iii. 従業員の人材育成、研修計画

質の高いサービスの提供、従業員の能力向上に向けた研修の実施及び参加を行います。

サービス向上・ スキルアップ	接客研修、クレーム対応研修、障がい者介助研修、人権研修
安全管理・緊急対応	情報セキュリティ研修、救命救急講習、消防訓練、防災訓練
コンプライアンス・ 個人情報保護	本施設の管理運営に関する各種法令等の確認、個人情報保護研修

## iv. 現在、施設に従事している従業員の雇用に関する考え方

現在、弥栄のみらい創造会議で雇用している従業員については、引き続き施設運営に従事できるよう配慮します。指定管理者変更後は、令和7年4月以降、雇用先を株式会社やさかプロダクツへ切り替え、雇用の継続を図る予定です。



v. 個人情報の保護に関する措置

個人情報の適正な取扱いを確保するため、個人情報保護法および浜田市個人情報保護条例を遵守します。個人情報管理責任者としてマネージャーを選任し、マニュアルの整備や研修の実施を通じて従業員への周知と意識向上を図り、個人情報の保護に努めます。利用者から個人情報の提供を受ける際は、その利用目的を明確にし、目的の範囲を超えて利用することのないよう公表または通知を行います。また、取得した個人情報については厳重に管理し、不正な漏洩や改ざんが生じないよう適切な措置を講じます。利用目的の達成後または保有の必要がなくなった個人情報については、速やかに適切な方法で消去または廃棄し、個人情報の安全管理を徹底します。

vi. 利用者の苦情トラブルの未然防止と対応の方策

利用者や取引先との円滑な関係を維持し、苦情やトラブルの未然防止および迅速な対応を図るため、親切で丁寧な言葉遣いと誠実な対応を心掛け、日常的なコミュニケーションの充実に努めます。やり取りの際には、誤解や行き違いを防ぐために確認作業を習慣化し、従業員は十分な業務知識を身に付けて利用者の要望に的確に対応します。また、組織内では「報告・連絡・相談」を徹底し、情報を共有することで迅速かつ適切な対応体制を整え、利用者から信頼される運営を目指します。

## 5. 各種業務の計画

a. 施設及び設備の維持管理計画

施設の維持管理に当たっては、業務仕様書に基づき適切な維持管理を行います。建物及び敷地内の機能や環境を維持し、サービスや業務が円滑に行われるように取り組みます。

b. 保守点検計画

日常点検	日常の清掃や施設の見回りとあわせて点検・整備を行い、点検結果や設備が正常に機能しない場合の対応状況等については、適切に記録を残して管理します。
定期点検	法定点検および機能保持のために年1回以上の定期点検を実施し、点検結果や異常が認められた際の対応内容等については、適切に記録を残して管理します。
消防設備点検	消防設備および一時避難所に必要な設備等については、常に必要な機能を発揮できるよう適切に点検・管理を行い、点検結果や異常発生時の対応内容等については適切に記録を残して管理します。
備品点検	本施設における活動に支障が生じないよう適切に点検・管理を行い、不具合が発生した場合には速やかに浜田市へ報告します。

※法定点検等については専門業者に委託します。

※維持管理に必要な消耗品については随時更新します。

## 清掃計画

日常清掃	各施設の共用部および敷地内は毎日清掃を行い、施設・備品・器具等を常に清潔な状態に保つとともに、消耗品の補充やアルコール消毒を徹底して感染症対策を実施し、発生したゴミについては適切に処理します。
定期清掃	日常清掃では実施できない箇所を定期的に清掃します。(床の洗浄・ワックス等、ガラスサッシ清掃、エアコン、フィルター清掃、受水槽、照明、害虫駆除)
その他	日常清掃や定期清掃に加え、必要に応じて清掃を実施し、施設の良好な環境衛生と美観の維持に努めるとともに、利用者用物品についても快適に使用できるよう良好な状態と美観の保持を図ります。

## 植栽・広場・駐車場・周辺敷地の管理計画

植栽	樹木や植物の種類・形状・育成状況に応じて、剪定・刈込・除草等を適宜行い、適切な維持管理を行うことで利用者および通行者の安全確保と美観の維持に努めます。
広場・駐車場	除草、清掃、ゴミ拾いを行い、利用者が快適に使用できるよう、常に清潔な状態を保ちます。
周辺敷地	周辺の除草や草刈りは利用者の安全及び美観に配慮して優先順位を定めて実施し、併せてハチやヘビ、有害鳥獣に対する注意喚起と駆除を行うことで利用者の安全確保に努めます。

### c. 保安警備計画

営業日	従業員が定期的に巡回し、危険箇所の点検と各施設の状況を確認します。
休館日	建物を施錠し、部外者が侵入できないように対応します。
夜間	宿泊者がある場合は宿直担当者を1名配置し、必要に応じて見回りを実施します。

### d. 管理運営の準備計画

令和7年10月	指定管理指定申請書提出
令和7年11月	指定管理仮協定の締結、指定管理者の指定協議
令和8年2月	令和8年度事業計画の作成、利用者・取引先への周知
令和8年3月	備品・設備等の確認、契約名義、許認可等の切替え、運営準備完了

## 6. 安全管理のための方策

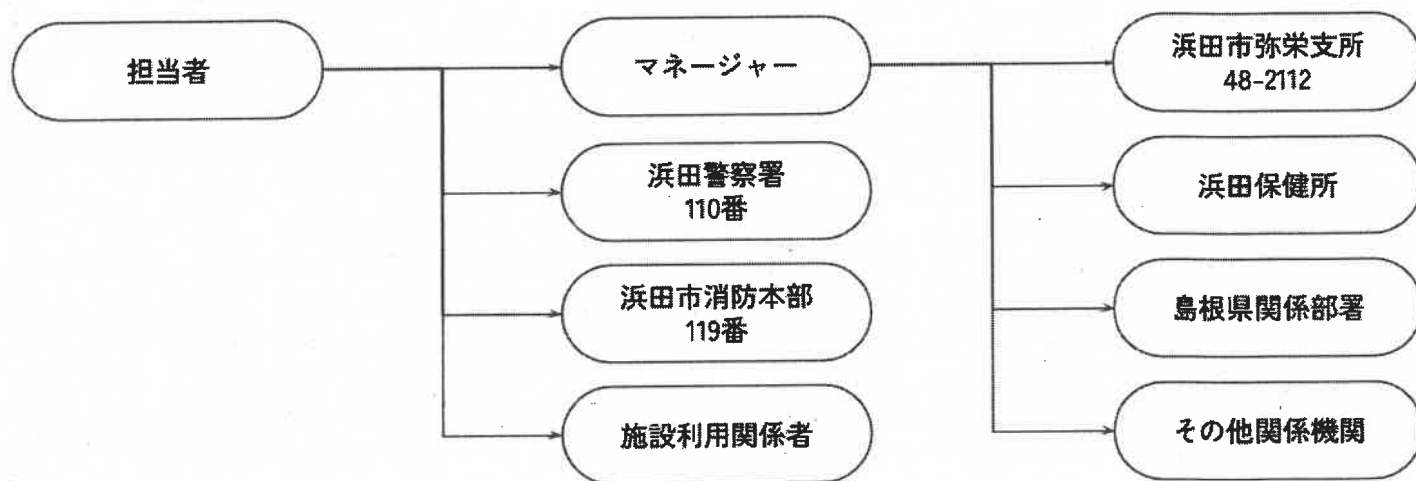
### a. 安全確保のための予防策

災害や緊急事態など危険な状況が発生した場合には、利用者の安全確保を最優先に、従業員が連携して施設内外の状況把握、拡大防止、関係機関への連絡、避難誘導等の初期対応を行うとともに、すべての従業員が適切かつ迅速に対応できる体制を整えます。また、従業員の防災意識向上と対応技術の習得を目的に火災・防災訓練を実施し、火災訓練については消防署の指導のもと定期的に行います。さらに、日常点検および定期点検により施設内外の安全状況を把握し、常に安全管理の徹底に努めます。

### b. 災害等緊急時の対応策

事故や急病、災害等が発生した場合には、疾病者や被害者の救護を最優先に行い、同時に情報共有・連絡・報告および二次災害の防止に努めます。責任者は速やかに浜田市担当課や当団体代表者、関係機関へ報告を行い、重大な事故や災害については浜田市と連携し、迅速かつ的確な対応を行います。

#### 緊急時の連絡体制



## 7. 指定管理料の提案

指定管理料

### 【提案額】

3年間合計額 31,438,000円

〔内訳〕 令和8年度 10,389,000円

令和9年度 10,481,000円

令和10年度 10,568,000円

(様式第3号)

項目		令和8年	令和9年	令和10年	総合計
全収入		15,089,000	15,416,000	15,751,000	46,256,000
	事業収入	4,700,000	4,935,000	5,183,000	14,818,000
	宿泊事業	3,000,000	3,150,000	3,308,000	9,458,000
	体験交流事業	700,000	735,000	772,000	2,207,000
	物品販売事業	1,000,000	1,050,000	1,103,000	3,153,000
	事業外収入	10,389,000	10,481,000	10,568,000	31,438,000
	指定管理料収入	10,389,000	10,481,000	10,568,000	31,438,000

全支出		14,872,000	15,063,000	15,260,160	45,195,160
事業費		1,090,000	1,145,000	1,202,160	3,437,160
	宿泊事業	300,000	315,000	331,000	946,000
	体験交流事業	70,000	74,000	77,000	221,000
	物品販売事業	720,000	756,000	794,160	2,270,160
人件費		5,446,000	5,499,000	5,554,000	16,499,000
	給料	3,048,000	3,078,000	3,109,000	9,235,000
	法定福利費	488,000	492,000	497,000	1,477,000
	パート人件費	1,320,000	1,333,000	1,346,000	3,999,000
	賞与	590,000	596,000	602,000	1,788,000
事務費		8,336,000	8,419,000	8,504,000	25,259,000
	外注費	252,000	255,000	258,000	765,000
	通信費	390,000	394,000	398,000	1,182,000
	水道光熱費	2,032,000	2,052,000	2,073,000	6,157,000
	旅費交通費	97,000	98,000	99,000	294,000
	衛生費	180,000	182,000	184,000	546,000
	広告宣伝費	1,000,000	1,010,000	1,020,000	3,030,000
	消耗品費	1,500,000	1,515,000	1,530,000	4,545,000
	修繕費	849,000	857,000	866,000	2,572,000
	車両費	82,000	83,000	84,000	249,000
	保険料	13,000	13,000	13,000	39,000
	租税公課	516,000	521,000	526,000	1,563,000
	諸会費	13,000	13,000	13,000	39,000
	支払手数料	77,000	78,000	79,000	234,000
	賃借料	28,000	28,000	28,000	84,000
	雑費	1,307,000	1,320,000	1,333,000	3,960,000

収支差額		217,000	353,000	490,840	1,060,840
------	--	---------	---------	---------	-----------

浜田市ふるさと体験村施設における自主事業提案書

団体名 株式会社やさかプロダクツ

1. 自主事業の概要

a. 事業名

どぶろく事業

b. 事業概要

本事業では、全国どぶろく研究大会で最優秀賞を受賞した「弥盛（いやしろ）」の醸造を中心に、地域資源を活かした特産品づくりと地域活性化を進めて行きます。醸造経験者の協力のもと高品質などぶろくを製造し、既存の取引先やECサイトを通じて販路を拡大します。また、新たなどぶろく商品の開発などを実施し、地域の魅力発信と次世代育成にもつなげます。

c. 収支計画

別紙（自主事業に係る収支計画書）のとおり。

2. 活用する施設とその利用方法

施設及び設備	利用方法
管理棟(味里)	醸造及び販売の施設として利用
厨房・給湯・空調・冷蔵庫・備品（醸造に関するもの）	上記施設を利用する醸造及び販売に使用

3. その他

a. 必要となる許認可等

- ・酒類製造免許(その他醸造酒)
- ・酒類製造業許可
- ・一般酒類小売業販売免許
- ・飲食店営業許可
- ・食品衛生責任者

※上記については、営業開始までに許可の取得及び資格者の設置を行います。

b. その他特記事項

市備品について、当事業で利用可能なものの使用を希望します。

※提案に当たっては、本様式1枚につき1事業としますので、複数事業提案される場合は、事業ごとに作成してください。

## 浜田市ふるさと体験村施設における自主事業に係る収支計画書

団体名 株式会社やさかプロダクツ

事業名 どぶろく事業

項目	令和8年	令和9年	令和10年	総合計
全収入	3,500,000	3,675,000	3,859,000	11,034,000
事業収入	3,500,000	3,675,000	3,859,000	11,034,000
どぶろく事業	3,500,000	3,675,000	3,859,000	11,034,000

全支出		3,375,000	3,109,000	3,198,600	9,682,600
事業費		1,750,000	1,470,000	1,543,600	4,763,600
	どぶろく事業	1,750,000	1,470,000	1,543,600	4,763,600
人件費		980,000	989,000	1,000,000	2,969,000
	法定福利費	135,000	136,000	138,000	409,000
	パート人件費	845,000	853,000	862,000	2,560,000
事務費		645,000	650,000	655,000	1,950,000
	外注費	18,000	18,000	18,000	54,000
	通信費	49,000	49,000	49,000	147,000
	水道光熱費	255,000	258,000	261,000	774,000
	旅費交通費	23,000	23,000	23,000	69,000
	広告宣伝費	30,000	30,000	30,000	90,000
	消耗品費	60,000	61,000	62,000	183,000
	修繕費	22,000	22,000	22,000	66,000
	車両費	16,000	16,000	16,000	48,000
	保険料	6,000	6,000	6,000	18,000
	租税公課	101,000	102,000	103,000	306,000
	諸会費	3,000	3,000	3,000	9,000
	支払手数料	16,000	16,000	16,000	48,000
	賃借料	6,000	6,000	6,000	18,000
	雑費	40,000	40,000	40,000	120,000

収支差額		125,000	566,000	660,400	1,351,400
------	--	---------	---------	---------	-----------

## 浜田市ふるさと体験村施設における自主事業提案書

団体名 株式会社やさかプロダクツ

### 4. 自主事業の概要

#### a. 事業名

飲食事業

#### b. 事業概要

本事業では、地域で生産される有機野菜などの地元食材を活かした料理を提供し、安心・安全で旬の味を楽しめる飲食サービスを展開します。宿泊や合宿時の食事提供をはじめ、バーベキュー用食材の提供、イベント出店や体験時の食事提供、喫茶営業、地元行事や各種イベントへの仕出しなど、多様な形で地域の食を発信します。

#### c. 収支計画

別紙（自主事業に係る収支計画書）のとおり。

### 5. 活用する施設とその利用方法

施設及び設備	利用方法
管理棟(味里)	調理及び食事提供の会場として利用
古民家(桑田・箸立)	調理及び食事提供の会場として利用
バーベキューハウス	食事提供の会場として利用
厨房・給湯・空調・冷蔵庫・備品(食器類含む)	上記施設を利用する調理及び食事提供時に使用

### 6. その他

#### a. 必要となる許認可等

- ・飲食店営業許可
- ・食品衛生責任者

※上記については、営業開始までに許可の取得及び資格者の設置を行います。

#### b. その他特記事項

市備品について、当事業で利用可能なものの使用を希望します。

※提案に当たっては、本様式1枚につき1事業としますので、複数事業提案される場合は、事業ごとに作成してください。

## 浜田市ふるさと体験村施設における自主事業に係る収支計画書

団体名 株式会社やさかプロダクツ

事業名 飲食事業

項目	令和8年	令和9年	令和10年	総合計
全収入	8,500,000	8,925,000	9,371,000	26,796,000
事業収入	8,500,000	8,925,000	9,371,000	26,796,000
飲食事業	8,500,000	8,925,000	9,371,000	26,796,000

全支出	8,420,837	8,621,500	8,829,140	25,871,477
事業費	2,890,000	3,034,500	3,186,140	9,110,640
飲食事業	2,890,000	3,034,500	3,186,140	9,110,640
人件費	2,953,837	2,984,000	3,014,000	8,951,837
法定福利費	407,000	412,000	416,000	1,235,000
パート人件費	2,546,837	2,572,000	2,598,000	7,716,837
事務費	2,577,000	2,603,000	2,629,000	7,809,000
外注費	74,000	75,000	76,000	225,000
通信費	194,000	196,000	198,000	588,000
水道光熱費	1,018,000	1,028,000	1,038,000	3,084,000
旅費交通費	90,000	91,000	92,000	273,000
広告宣伝費	120,000	121,000	122,000	363,000
消耗品費	240,000	242,000	244,000	726,000
修繕費	88,000	89,000	90,000	267,000
車両費	66,000	67,000	68,000	201,000
保険料	26,000	26,000	26,000	78,000
租税公課	405,000	409,000	413,000	1,227,000
諸会費	10,000	10,000	10,000	30,000
支払手数料	64,000	65,000	66,000	195,000
賃借料	22,000	22,000	22,000	66,000
雑費	160,000	162,000	164,000	486,000

収支差額	79,163	303,500	541,860	924,523
------	--------	---------	---------	---------



宣誓書 兼 市税納付状況調査同意書

令和7年10月20日

浜田市長 様

所在地	浜田市弥栄町木都賀イ506番地8
団体名	株式会社やさかプロダクツ
代表者	代表取締役 太田章彦

当団体は、浜田市ふるさと体験村施設の指定管理者の指定申請に当たり、当該仕様書の「第7 申請資格に関する事項」に記載する全ての欠格事項に該当していないことを誓約します。

また、当該施設の指定管理者指定申請時及び指定管理者に指定した日から指定期間が終了するまでの毎年において、浜田市長が浜田市税納付状況を調査することに同意します。

## 申請者概要書

団体名	株式会社やさかプロダクツ			
代表者	代表取締役 太田章彦			
所在地	(〒697-1122) 島根県浜田市弥栄町木都賀イ506番地8			
設立年月日	令和7年2月28日	資本金 (令和7年10月22日現在)	150,000円	
従業員数	パート3人 (申請日現在)			
経営方針	人口1,000人の豊かなまちを作り、次世代へとつなぐ持続可能な事業を展開します。弥栄の個性と魅力を最大限に生かし、ないものは創り出し、新しい風を吹かせながら、町民一人ひとりが誇りを持てるまちづくりに挑戦します。			
沿 革	2025年2月28日 設立			
主な業務内容	・浜田市ふるさと体験村のレストラン「味里」の運営 ・どぶろくの製造販売 (免許申請中)			
主な業績 (過去5年間)				
財務状況 (過去3年)		年度〔第 期〕	年度〔第 期〕	年度〔第 期〕
	流動比率	%	%	%
	自己資本 (純資産)	円	円	円
	総資産 (総資本)	円	円	円
	自己資本比率	%	%	%
	売上高	円	円	円
	営業損益	円	円	円
	経常損益	円	円	円
	当期損益	円	円	円
備 考	※主な業績、財務状況については、令和7年2月28日設立のため記載なし。			

※流動比率＝流動資産÷流動負債、自己資本比率＝自己資本 (純資産) ÷総資産(総資本)

※共同事業体で申請する場合は、構成団体ごとに作成してください。

※備考欄は、上記以外の特記事項や財務状況に係る特殊事情などの記載欄としてご使用ください。

## 〔申請担当者の連絡先〕

(フリガナ)	( オオタ アキヒコ )	部署・職名	マネージャー
氏 名	太田 章彦		
電話番号	0855-48-3310	ファクシミリ	0855-48-3310
電子メール	info@cv-yasaka.com		

(様式第7号)

役員名簿

令和7年10月20日

浜田市長 様

所在地 浜田市弥栄町木都賀イ506番地8  
団体名 株式会社やさかプロダクツ  
代表者 代表取締役 太田章彦

浜田市ふるさと体験村施設指定管理者指定申請にあたり、次のとおり役員名簿を提出します。

役職	氏名	フリガナ	性別	住所	生年月日
代表取締役	太田 章彦	オオタ アキヒコ	■	浜田市弥栄町木都賀イ506番地8	■
取締役	小松原 実	コマツハラ ミノル	■	■	■
取締役	佐藤 大輔	サトウ ダイスケ	■	■	■
取締役	小松原 修	コマツハラ オサム	■	■	■
取締役	田中 真也	タナカ シンヤ	■	■	■

留意事項

この名簿は、浜田市暴力団排除条例第7条に基づき、代表者又は役員に暴力団がないことを確認するため島根県警察本部への照会に使用しますので、あらかじめご了承ください。







# 道の駅「ゆうひパーク浜田」

## 整備運営事業 事業計画書(案)

---

浜田まちおこし共同企業体

# 目次

- ▶ 分析
- ▶ 基本方針
- ▶ 施設の役割
- ▶ 施設概要
- ▶ 施設回遊性について
- ▶ コンビニ誘致に関する説明
- ▶ 地域貢献について
- ▶ 防災機能としての役割
- ▶ 実施イベント
- ▶ 具体的な取組
- ▶ 収支計画・集客目標
- ▶ 浜田市への還元について
- ▶ 組織図
- ▶ 整備スケジュール



# ■ ゆうひパーク浜田 分析①

プラス要因		マイナス要因	
内部環境	<b>【強み】 ～事業の資産～</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 夕日を活かした景観(P29～P32)</li><li>▶ 国道9号沿いの好立地(P16)</li><li>▶ ゆうひ公園との一体的活用(P24)</li><li>▶ 市街地から近い</li></ul>	外部環境	<b>【弱み】 ～事業の“課題”～</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 施設の老朽化(P35)</li><li>▶ 集客・売上の長期低迷(P33～P34)</li><li>▶ 日中～夕方以降の集客(P20～P24、P32)</li></ul>
	<b>【機会】 ～事業の“追い風”～</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 観光需要の回復傾向(P22)</li><li>▶ 魅力的な広域観光・地域資源(P28) (石見神楽・石州和紙・海の幸等)</li><li>▶ 車社会との親和性</li><li>▶ 防災機能としての役割(P27)</li></ul>		<b>【脅威】 ～事業の“逆風”～</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 競合施設や他産地観光資源との競争</li><li>▶ 採用難(P20)</li><li>▶ 運営に係る各種費用の高騰</li></ul>

# ■ ゆうひパーク浜田 分析②

		機会(Opportunity)	脅威(Threat)
強み(Strength) 弱み(Weakness)	強み(Strength)	<p><b>SO戦略:積極的攻勢戦略</b></p> <p><b>「唯一無二の“夕日”ゲートウェイの創造」</b></p> <p>夕日のロケーションとゆうひ公園との連携を強化し、イベントとコンテンツの打ち出しを行い、単なる休憩所ではない滞在価値を創出する。</p>	<p><b>ST戦略:差別化と地域連携戦略</b></p> <p><b>「地域連携による強固な事業基盤の構築」</b></p> <p>地場産品の振興や伝統文化との融合した、ゆうひパーク浜田ならではの魅力を発信する。また、地域雇用の創出に貢献し、地域にとって、不可欠な存在となる。</p>
	弱み(Weakness)	<p><b>WO戦略:改善・強化戦略</b></p> <p><b>「地域住民のインフラ、日常使いの強化」</b></p> <p>観光客以外に、9号線を利用する長距離ドライバーやビジネスマンの立寄り強化。また、地域住民が日常的に利用する目的を創出する。</p>	<p><b>WT戦略:リスク管理戦略</b></p> <p><b>「徹底した収益管理の実行」</b></p> <p>運営に必要なスタッフの確保、その他光熱費変動リスクや物価変動リスクに対応できる安定的な基盤を構築し、収支計画に基づいた長期的な事業を推進する。</p>



# ■基本方針

ゆうひパーク浜田ならではの、『特色・魅力・強み』を活かし、地元住民・地元事業者にとっては

『市民生活に必要な施設』『地域活性化拠点』として、そして市外からの観光客にとっては

『夕日が美しい施設』『浜田市に行ったら必ず立ち寄る施設』として再出発する。

日々、利用者のニーズの把握に努め、改善点については逐次対応。施設運営をアップデートしていくことで、より多くの市内外の方々に利用していただける施設を目指す。

目指す施設の姿

ゆうひパーク浜田＝景観×文化×食×体験の融合型施設

# ■施設の役割①



## 浜田の魅力を伝える 地域発信拠点

浜田市の特産品、食を全国に発信できる施設を目指します。

コンセプトを具体化する戦略

夕日が映えるロケーションを活かした市内外から多くの人を訪れる施設運営、浜田市内の施設や飲食店、生産者との連携による、商品・コンテンツの充実、マーケットの創出



防災

災害時の  
避難場所

観光

浜田市内の  
観光施設との  
連携

- 石見地域の観光ゲートウェイとして国道9号線を利用する観光客を浜田市内に誘導する地域の魅力発信拠点とします。

# ■施設の役割②



## 浜田の魅力を伝える 地域発信拠点

浜田市の特産品、食を全国に発信できる施設を目指します。

### コンセプトを具体化する戦略

夕日が映えるロケーションを活かした市内外から多くの人が訪れる施設運営、浜田市内の施設や飲食店、生産者との連携による、商品・コンテンツの充実、マーケットの創出

#### ≡ 直売所

- 直売所は直営とし、代表企業が指定管理で運営している山陰浜田港公設市場で構築した仕入ルートを活かし、さらに石見地区の事業者を開拓して浜田市に貢献する施設を整備します。
- 特産品だけでなく野菜の販売にも取り組みます。
  - **地元農産品・加工食品の充実**： 野菜・果物・郷土料理セットなど
  - **観光客向け**： 浜田市限定おみやげ（例）「赤天×チーズのコラボ商品」
  - **体験型販売**： 地元生産者が定期的に出店
  - **青空市場**： 地域住民にも喜ばれる朝市



#### ≡ 飲食

- 1階のフードコート（地元）、2階の東西2か所のレストランはテナントを誘致して営業します。
- 1階フードコート内、2階東側レストランでは浜田市内の事業者とも連携し、海の幸などを使った和食店、2階西側レストランでは、大手チェーン店等の誘致を検討してまいります。
- 若者にも人気があるモスバーガーは、引き続きフードコート内で、営業を継続していただく予定です。
- その他、マルシェや食イベント等を実施し、多くの市内事業と連携してまいります。



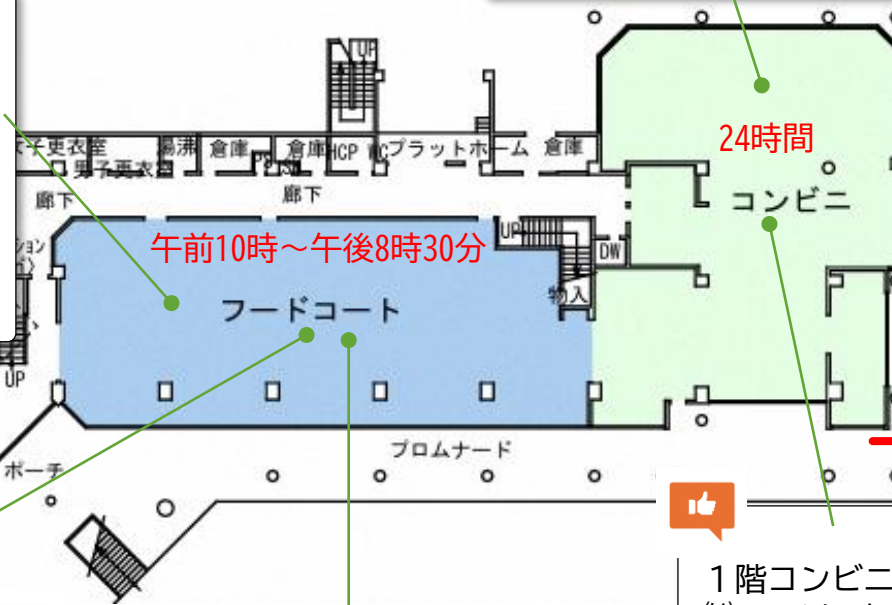
# ■施設概要(1階～その①～)



1階フードコートの一部には、ゆうひパーク浜田株が出店を検討中です。従業員の雇用が確保されるよう努力します。



休憩や軽食などの利用が多い道の駅であることから、コンビニを配置することにより、利用者の需要を取り込みます。  
コンビニへの導線上には、ゆうひパークの魅力伝えるポスターや看板などを活用し、訴求を強化します。



モスバーガーは継続での出店を調整中です。



1階フードコートの一部には、邑南町のローカルフードラボ株に地元食材を使った料理提供をコンセプトに出店を検討いただいております。

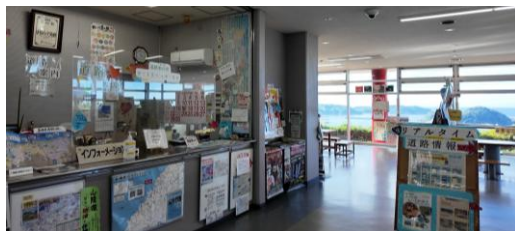


1階コンビニは(株)ローソンに賃貸します。





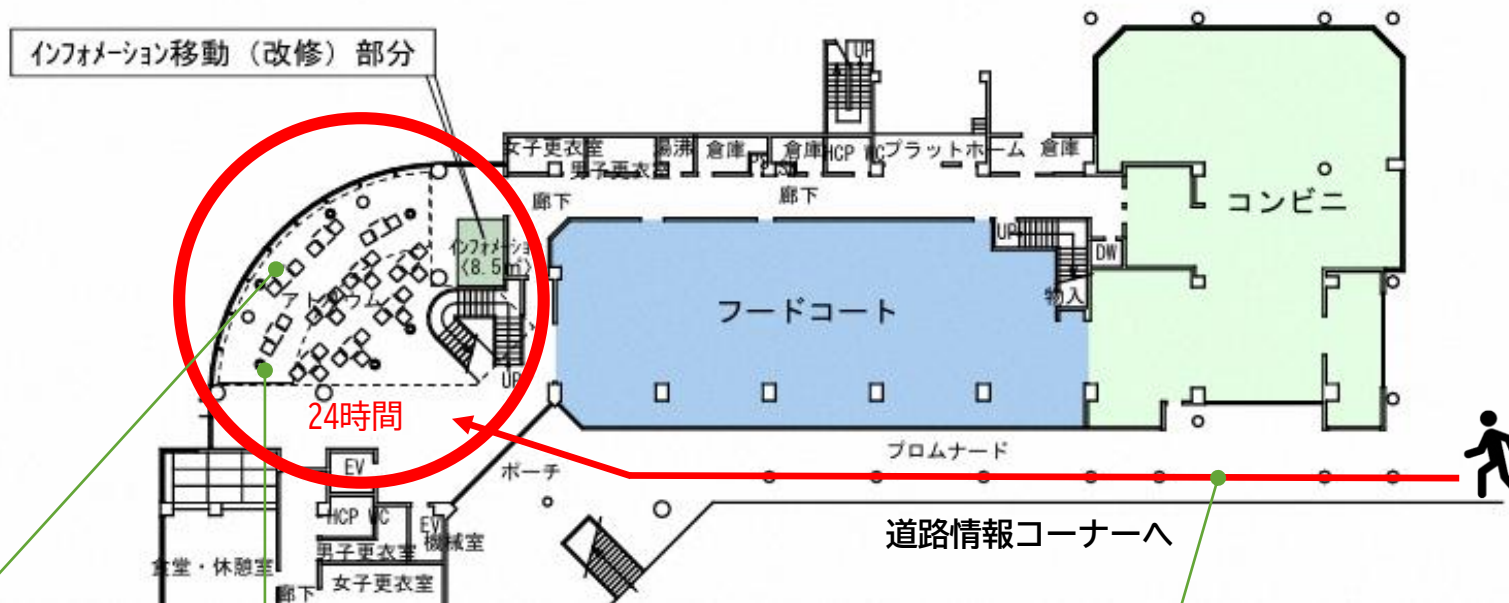
## ■施設概要(1階～その②～)



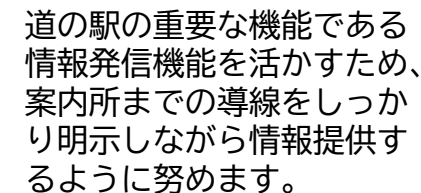
浜田市および周辺の主要施設やスポットの案内。また、浜田市の文化や名品、石見神楽の歴史や見どころなど、すべての情報を集約し、発信を行います。



夕日を見ながらくつろぐことができる空間を構築します。  
それ以外の時間帯も、人々が集う場所として機能いたします。



キッズスペースを設け、子育て世代に優しい道の駅とします。



道の駅の重要な機能である  
情報発信機能を活かすため、  
案内所までの導線をしっかり  
明示しながら情報提供する  
ように努めます。

# ■施設概要(1階～その③～)



浜田市の魅力を凝縮した売り場づくりを行い、ワクワクする買い物体験を提供します。

- ・浜田から発信する、海の幸、山の幸、浜田の海産物だけでなく、浜田の農産物も取扱います。
- ・生産者や事業者の顔がわかりやすい、POPやポスターを掲出します。
- ・売り場は定期的に手を加え、いつきても新鮮なイメージを創出します。
- ・売り場の動線はゆったりした幅を確保し、高齢者やお体が不自由な方でも、買い物しやすい環境を構築します。
- ・スタッフ教育を徹底し、気持ち良い接客や清潔な売り場づくりを行います。



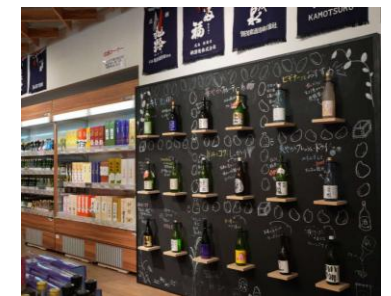
見やすい什器配置



新鮮な浜田の食材



インパクトのある売り場



工夫を凝らした商品展開

# ■施設概要(2階～その①～)

施設内の案内には外国語表記も併設します。  
子どもや高齢者、障がい者が安心して利用できるよう  
床の段差解消や、エレベーターの案内板を増設します。



テイクアウトコーナー、  
および休憩コーナーとし、  
夕日を鑑賞しながら過  
ごせる環境を構築しま  
す。



2階の東側のレストランは地元テナントを基本に誘致して営業します。

- ・ファミリー層（子育て中の家庭）の集客
- ・子育て世代だけでなく、孫を持つ高齢者を取り込める施設
- ・子どもの心をつかむ、加えて、大人も安心できるメニュー開発



- ・海鮮丼：メニューを充実させ、新鮮魚介類を観光客にアピール
- ・のどぐろの一夜干し等：地元の加工会社より仕入れを行い、地域に貢献
- ・うどん：魚貝や玉ねぎ、人参などを混ぜて揚げた特大かき揚げを使用





## ■施設概要(2階～その②～)

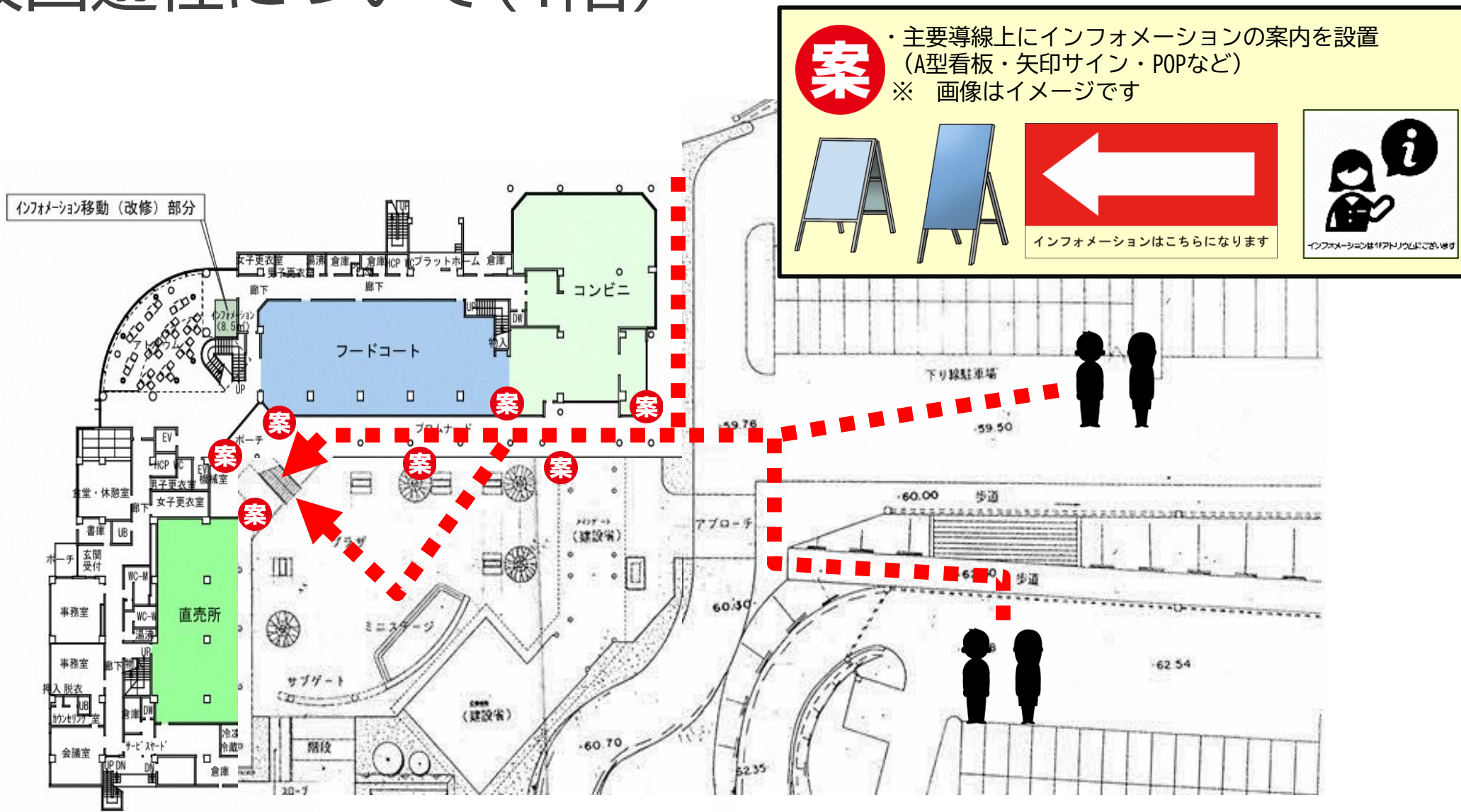


2階の西側のレストランは、市民の多くの方が行きたいと思う場所の提供として、地元企業にこだわらず幅広くチェーン展開している飲食店の誘致を目指します。





## ■施設回遊性について(1階)



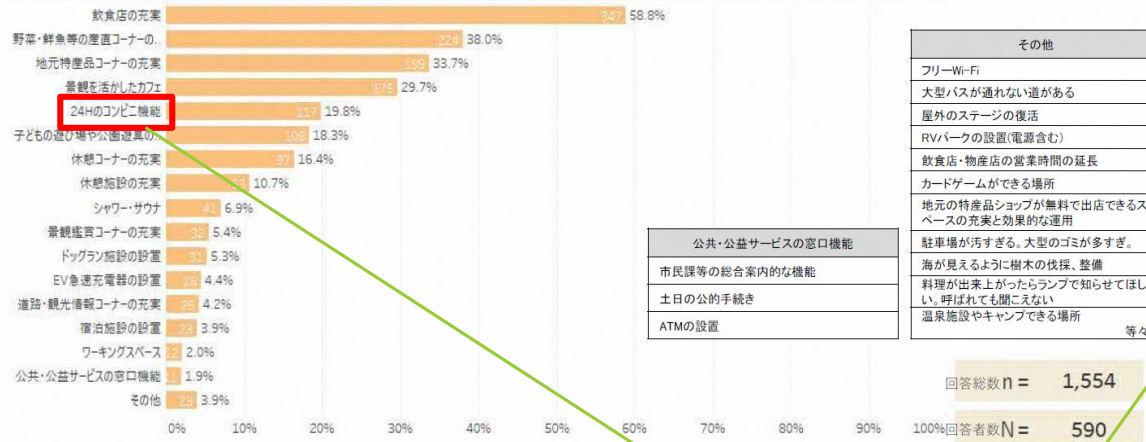
## ■施設回遊性について(2階)



# ■コンビニ誘致に関する説明

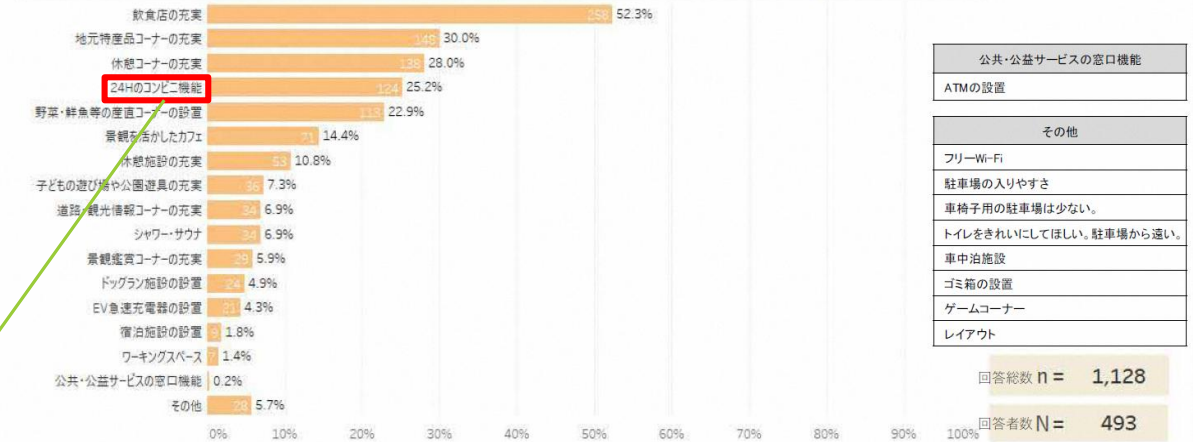
「道の駅」ゆうひパーク浜田に関するアンケート調査結果【浜田市内】（5/5）

Q8-1.「道の駅ゆうひパーク浜田」・「ゆうひ公園」の運営・サービスに関して期待する、または、改善してほしいことは？（3つまで選択）



「道の駅」ゆうひパーク浜田に関するアンケート調査結果【浜田市外】（5/5）

Q8-1.「道の駅ゆうひパーク浜田」・「ゆうひ公園」の運営・サービスに関して期待する、または、改善してほしいことは？（3つまで選択）



市民及び道の駅利用者へのアンケート調査の結果で、「道の駅」ゆうひパーク浜田に期待する、または改善してほしいこととして【24Hのコンビニ機能】が上位となっており、コンビニは必要と判断しました。24H営業のコンビニが入り口側にあることで、公園利用者や夜間を含めた道路利用者の方への利便性向上が見込まれますので、コンビニは入り口側に必要であると考えます。

※出店に際し、現在の場所がコンビニ側の出店要件となっていること、また①利便性の向上、②夜間の防犯強化、③明るい施設のイメージ等のメリットも踏まえ、ベストな判断だと考えております。



# 成功の鍵は相反する2つの顧客ニーズを同時に満たすこと

1.道の駅『ゆうひパーク浜田』の収益を最大化するには、性質の全く異なる2つの顧客層それぞれの要求に同時に応える戦略的設計が不可欠です。

## 目的型レジャー顧客



- ▶ 利用者:観光客、家族連れ、地元の買い物客
- ▶ 来店動機:デスティネーション(目的地)としての体験
- ▶ 求めるニーズ:
  - ・浜田の「地域性」「非日常性」
  - ・産直売り場での買い物、レストランでの食事
  - ・美しい景観
- ▶ 行動特性:滞在時間が長く、施設内を回遊する

## 通過型機能顧客



- ▶ 利用者:長距離ドライバー、営業、配送担当者  
(国道9号線の主要な日常的利用者)
- ▶ 来店動機:ピットストップ(通過点)としての利用
- ▶ 求めるニーズ:
  - ・速度(短時間での用事)
  - ・予測可能性(いつもの商品がある安心感)
  - ・インフラ機能(ATM、飲料、日用品)
- ▶ 行動特性:滞在時間が極めて短く、目的成後すぐに本線へ戻る

2つの顧客層のニーズは「時間をかけて楽しみたい」と「時間をかけずに利用したい」という相反するものだが、この両者を取り込むことが事業の成功への必須条件。  
(デュアル・アンカー戦略)

## 1. 2つの「集客の核」で全ての客を掴む (デュアル・アンカー戦略)

道の駅には目的が全く違う  
「2つの客層」が存在する

目的型  
レジャー顧客



通過型  
機能顧客



産直売り場  
お土産・地元食材



コンビニ  
ATM・飲食品・日用品・支払い

コンビニと産直売り場、2つの集客装置で  
異なるニーズを持つ顧客をそれぞれ引き寄せる。

# 「コンビニ手前」配置が生み出す「シャワー効果」が施設全体の収益を最大化

2.  
コンビニを「機能的アンカー」として入口に配置することで、これまで取り込めなかった顧客層(通過型機能顧客)を産直売り場へと誘導し、「ついで買い」を誘発。シャワー効果により施設全体の売上向上を実現します。

3.  
ATM、行政機能、郵便機能、決済機能等「生活必需」のインフラを施設の最もアクセス性の高い場所＝「手前(入口)」に配置することが、公共施設としての設計思想の鉄則です。  
コンビニを手前に置くことは、単なる商業的目的ではなく、浜田市民の生活の利便性を向上させる行政的な責務を果たす目的も含まれます。

## 2. 「シャワー効果」で産直の売上を伸ばす(動線設計)



本来立ち寄らなかったドライバーや業務用車両が来店するきっかけを作る。

②コンビニ利用者が、意識せずとも産直売り場の前を通るように設計する。



③産直に寄るつもりがなかった客層の購買意欲を刺激し、新たな売上機会を創出する。

## 3. 「地域インフラ」として市民の暮らしを支える

コンビニは、単なる小売店ではなく「地域社会のインフラ」である。公共性の高い道の駅に不可欠な、市民生活を支える機能を提供する。





さらに

# 「道の駅」の入口にコンビニを置く3つのメリット



## ① 利便性の向上

夜間ドライバーや国道9号線利用者が、24時間いつでも安心して立ち寄れます。



## ② 夜間の防犯強化

入口が常に明るいため、施設利用者の安心と安全を確保できます。



## ③ 明るい施設のイメージ

24時間営業のコンビニが、夜間でも施設全体を明るく活気ある印象にします。

## 戦略的レイアウトが導く、収益と市民サービス双方の最大化

「コンビニ手前」配置は、産直売り場の売上を最大化し、かつ浜田市民の生活利便性をも向上させる、地域経済と市民生活の両方に貢献する最良の計画。

評価項目	コンビニ手前/産直奥	産直手前/コンビニ奥
通過型顧客の獲得	◎獲得可能(入口が機能的)	×機会損失(「自分のための施設ではない」と判断)
目的型顧客の獲得	◎獲得可能(産直が目的地のため奥でも来訪)	◎獲得可能(産直が目的地)
産直の「ついで買い」	◎最大化(コンビニ客をシャワー効果で誘導)	△限定的(通過型顧客を失うため)
市民のインフラ利用	◎利便性 良(アクセス容易)	×利便性 難(手短に済ませたい…)
総合評価	全ての顧客層を獲得し、売上を最大化	一部の顧客を失い、市民サービスも低下

「産直売り場」は、道の駅にとっても最大の魅力ですが、施設全体の集客を考えた場合、産直売り場を「単独の主演」にするのではなく、集客装置＝コンビニと戦略的に連携させ、施設全体で「稼ぐ」仕組みを構築する戦略が最適と判断しました。

# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(雇用)



### 地元居住者の雇用創出

- ・業務に従事する職員は、テナントを含め、原則浜田市在住者を優先して採用し、市の雇用創出に貢献します。
- ・地元雇用は、緊急事態発生時などの対応においても大きな影響を及ぼします。当グループは地域に根ざした管理をモットーとし、常に迅速な対応を心がけてきたことで、地元雇用の重要性を深く理解しております。
- ・地元を優先した雇用を通じて安定した業務体制の構築に努めてまいります。



### 既存事業者従業員の継続雇用

- ・ゆうひパーク浜田(株)様とは、現在、引き続きテナントとして残っていただくかどうかについて協議を進めております。
- ・テナントとして継続される場合には、従業員の方についても継続雇用となると考えております。
- ・一方で、撤退される場合であっても、新店舗への就業を希望される従業員の方には、ゆうひパーク浜田(株)様を通じて、就職のご案内をさせていただく予定です。



# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(地元事業者との連携)



### 地元企業の活用

- ・直売所で取り扱う商材は、地元特産品やお土産を中心に取り揃え、この場所だけで浜田市ならではの商材を一堂に堪能できる売り場づくりを行います。
- ・マルシェや朝市などを開催し、直売所取引業者や飲食店以外の事業者や個人事業主の方にも、活用の機会を創出します。
- ・修繕業務の実施に際しては再委託を原則とし、市内業者（浜田市内に本店・支店・営業所を有する業者）を最大限に活用するよう努めます。



### 地元事業者とゆうひパーク浜田との連携を強化！

※本事業にともない、建設業、飲食業、製造業等、市内20社以上の事業者より関心表明書をいただいております

# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(ブランディング・観光)

### 【浜田市の認知拡大・満足度の向上】

- ①ゆうひパーク浜田から、地域の特産品や観光スポットを発信することで浜田市全体の認知拡大を行うとともに、地元の食材や特産品を紹介することで、浜田市のストーリーやバックボーンを知っていただく。結果として、「浜田市に行ってみたい」というニーズを醸成し、浜田市全体の経済の活性化に寄与する。
- ②浜田市の魅力的なスポットや観光ルートに『ゆうひパーク浜田』を必須ルートとすることで、市内滞在時間や回遊性を向上させ、浜田市全体の満足度の向上に貢献する。
- ③地元住民や事業者が主体となった、イベントやワークショップを開催。体験型や参加型の取組を強化することで『浜田市のブランドステーション』としての機能を担う。また、その中で地元の人々の交流機会を創出し、地元の人々や事業者の参画意欲向上やイノベーションのきっかけ作りを行う。  
→浜田市・地域住民にとって、本施設が“地域資産”として感じられるよう価値を高める。



# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(文化・創作活動への貢献 ※インフォメーションの活用)

### 【石見神楽発祥の地としてのPR活動】

『石見神楽発祥の地』である浜田市を全面的に訴求します。  
インフォメーション横に石見神楽のコーナーを設け、石見神楽の歴史や魅力を紹介します。  
その他に、周辺で行われる神楽イベントの情報などをポスターやチラシで訴求します。



### 【創作や制作品の発表】

夕暮れの写真、石見神楽の写真、また絵画など、個人で創作活動をしている方々にインフォメーションの一面を貸出し、発表の場とすることで、地元の事業者だけでなく、地元で創作活動をしている方々にも、貢献をしてみたいです。





# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(子育て・教育)

子どもたちは、生き生きとした地域づくり及び、未来の浜田市にとって貴重な存在です。ゆうひパーク浜田は、子どもたちやその親にとって、コミュニティー形成や体験の場として地域に根差してまいります。

### 【地域の子育て拠点としての取組】

ゆうひ公園との一体的な活用により、子育て中の大人（特に若い母親層）に対し『生活の中のサードプレイス』として認知を図り、日常的に利用していただく拠点構築を行ってまいります。

<想定される利用方法>

- ・ゆうひ公園で遊んだ後は、ゆうひパーク浜田のレストランで食事
- ・コンビニでおにぎり等を買って、ゆうひ公園でピクニック



### 【教育機関との連携】

①地元大学との連携を推進し、若い世代にも、ゆうひパーク浜田を通して地域の活性化に取りんでいただけるスキーム作りを目指します。

<例>

島根県立大学では演習科目で「地域共生演習」があり、フィールドワークを取り入れ、地域課題について専門的に研究する取り組みが行われております。

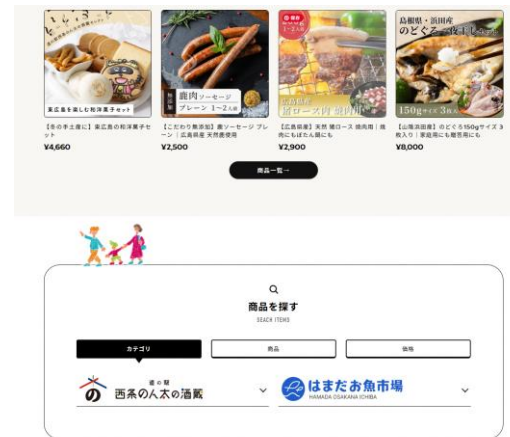
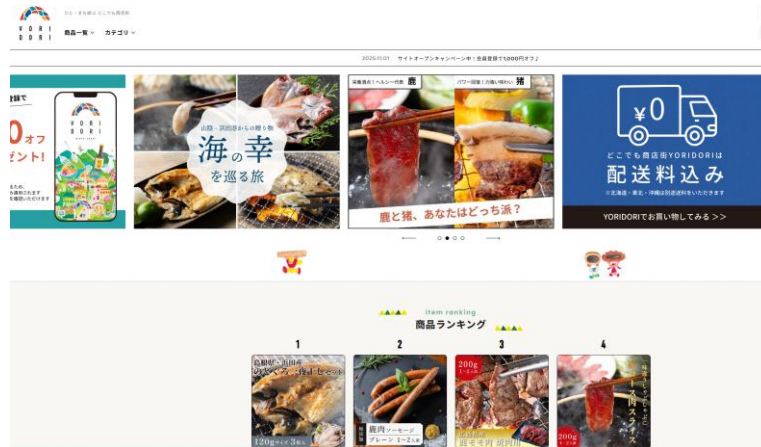


※島根県立大学ホームページより抜粋

# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(地域経済への貢献①)

弊社は自社でECサイトを運営しており、運営管理を行っている観光拠点の特産品を販売しております。運営開始後は、直売所で地元商品を展開するだけでなく、ECサイトに浜田市の特産品を掲載し、地元の事業者の売上に貢献するとともに、認知拡大に寄与します。



※施設運営会社が運営する自社ECサイト『どこでも商店街 YORIDORI』



# ■地域貢献について

## ■地域活性化への取組(地域経済への貢献②)

施設運営会社の関連イベントや事業にて浜田市のPRを行い、地元事業者に貢献するとともに、観光客増加に寄与することで地域の活性化に貢献してまいります。



浜田市の食文化の啓蒙活動



全国的なイベントで浜田市の食材を紹介



各種媒体の活用

# ■防災機能としての役割

災害時には周辺住民や道路利用者の避難場所、また緊急車両の拠点としての機能を果たします。

- ①災害発生時に、旅行者・地域住民が一時的に避難できるスペースを提供
- ②施設駐車場にて車中避難の受け入れ
- ③道路情報、災害情報、気象情報などの提供
- ④施設スタッフによる周辺地域情報の提供
- ⑤救援物資の集積・配送拠点として活用
- ⑥自衛隊・消防・警察などの応急対応部隊の拠点として利用
- ⑦トイレの提供
- ⑧地域のハブとして復旧・復興情報を提供





# ■実施イベント

※こちらに記載しているイベント案は一例となります

## <文化イベント>

### 石見神楽



浜田市観光協会と連携して、石見神楽を活かしたイベントを定期的開催。

### ワークショップ



石州和紙のワークショップ等、地元の文化と連動した企画を開催。

## <体験・参加イベント>

### 防災イベント



市民の防災意識を高めるイベントを開催。

### 夕暮れ写真教室



カメラマンによる写真の撮り方教室を開催。夕日の発信人口の増加を狙う。

### お花見イベント



ゆうひ公園と連携したお花見イベントを開催。地域住民との交流を促進。

## <食イベント>

### マルシェ



地元事業者に協力いただき、マルシェを開催。浜田市の食文化を発信する。

### お魚市場コラボ企画



お魚市場と連携し、新鮮な魚を使った食イベントを開催。漁業の活性化とPRを行う。

## <物販イベント>

### 朝市



地元の方々に協力いただき、朝市を開催。道の駅ならではの新鮮な野菜を提供。

### フリーマーケット



フリーマーケットを開催し、地元の方々の交流機会を創出。SDGsにも貢献していく。



## ■具体的な取組(夕日を活かした集客①)

# サンセットエコノミーの構築と展開

### 【サンセットエコノミーとは?】

夕日鑑賞を単なる『鑑賞行動』から『**経済行動**』に転換するコンセプト。

つまり、夕日を見るだけの体験ではなく、

「**夕日を見る＝何か買いたくなる・体験したくなる・シェアしたくなる**」

状態を作り出します。

夕日が沈む前後の時間帯を『**トキ消費＝限定的で、特別な消費タイム**』

とし、様々な施策を実施いたします。



## ■具体的な取組(夕日を活かした集客②)

### 【夕日神楽の開催】

年間を通じて、定期的に神楽イベントを開催。

季節によっては、夕日をバックにした『夕日神楽』を実施し、ゆうひパークならではの集客イベントとします。

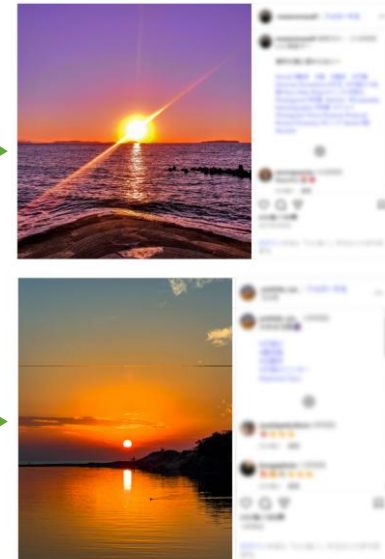
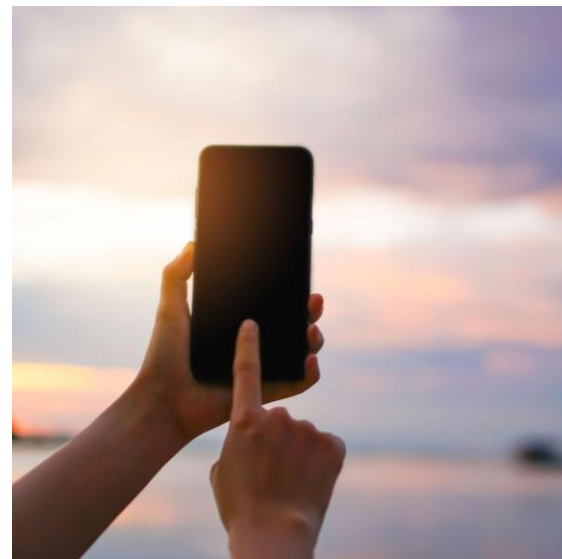


## ■具体的な取組(夕日を活かした集客③)

### 【夕日を見ながらくつろげる空間の提供】

1階インフォメーション前や2階展望スペースはテーブルと椅子を設置し、テイクアウトコーナー兼休憩スペースとして施設利用者に開放いたします。

『夕日をバックに、くつろぐことができる』特別な空間とすることで、SNSによる拡散効果にも期待ができます。



SNSの拡散により認知拡大と観光目的を強化



# ■具体的な取組(夕日を活かした集客④)

## 【夕日の時間帯を活かしたイベントの実施】

夕日が綺麗な時期に、市民向けに夕日を楽しむ企画を実施します。  
(七夕イベント、サンセットフェスタなど)



# ■収支計画・集客目標

## 【事業収支計画】

※ 個々のテナントの売上は含まれていません。

単位：千円

	< 1 年目 > 令和 8 年度	< 2 年目 > 令和 9 年度	< 5 年目 > 令和 1 2 年度	< 1 0 年目 > 令和 1 7 年度	< 1 5 年目 > 令和 2 2 年度
売上高	50,954	101,907	101,907	105,859	109,811
売上総利益	23,276	46,552	46,552	47,736	48,920
販売管理費	19,045	38,089	38,089	38,545	39,000
営業利益	4,232	8,463	8,463	9,192	9,920

- コンビニ、フードコート、レストランの賃料は、浜田市の相場を勘案した固定家賃として考えております。ただし、入居者によっては、歩合家賃を希望される場合も想定していますので、柔軟な対応を心掛けてまいります。
- 修繕費用は、修繕が必要となるか不明な点が多いため、3,000,000円/年にて設定しています。
- 事業期間内の外壁塗装や照明の切り替え、空調機器は都度、修繕での対応を徹底し、快適な施設環境を維持します。

# ■収支計画・集客目標



## 【集客目標】

期間	レジ通過者の合計
1 年目～5 年目 (令和8 年度～令和1 2 年度)	4 9 0 , 0 0 0 人 / 年
6 年目～1 0 年目 (令和1 3 年度～令和1 7 年度)	5 1 4 , 5 0 0 人 / 年
1 1 年目～1 5 年目 (令和1 8 年度～令和2 2 年度)	5 3 9 , 0 0 0 人 / 年

- ・募集要項に示されている前面道路交通量より、立寄り率10%、乗車人数1.3人とし、各店舗のレジ通過率を乗じた人数合計値です。
- ・コンビニについては、聞き取り記入しています。なお、集客については、公園利用者や夜間の道路利用者を想定しており、SNSによる夕日のアピールや情報発信、イベントの実施により、施設内への来客増加を目指します。
- ・5年毎に5%集客を増やす目標としています。
- ・マルシェや季節毎の各種イベントを開催するなど、まずは市民に来ていただけるような集客を図ることで、各テナントの来客増にも貢献します。

# ■浜田市への還元について

期間	浜田市へ納付する金額
1 年目 (令和8年度)	100,000円/年
2 年目以降 (令和9年度～令和22年度)	1,000,000円/年

- ・リニューアル工事では老朽化したエレベーターなど設備等を含め、**約17,776,000円**（エレベーター部品交換、什器・備品、インフォメーション移設等）の修繕費を予定。
- ・施設は築30年以上が経過しており、計画しております**年間3,000,000円よりも多額の費用が発生する可能性**を見込んでおく必要あり。
- ・空調設備については前回の整備から約20年が経過。今後、全面改修を行う必要があると思われる。その場合、**約1億円以上の修繕費が必要**。

修繕費用が収益を圧迫する可能性もありますが、浜田市への納付金については、**定額で必ず納付**させていただきます。  
また、**これまでの道の駅を越えた『価値』と『機能』を提供**してまいります。

## ＜納付金以外の市への還元＞

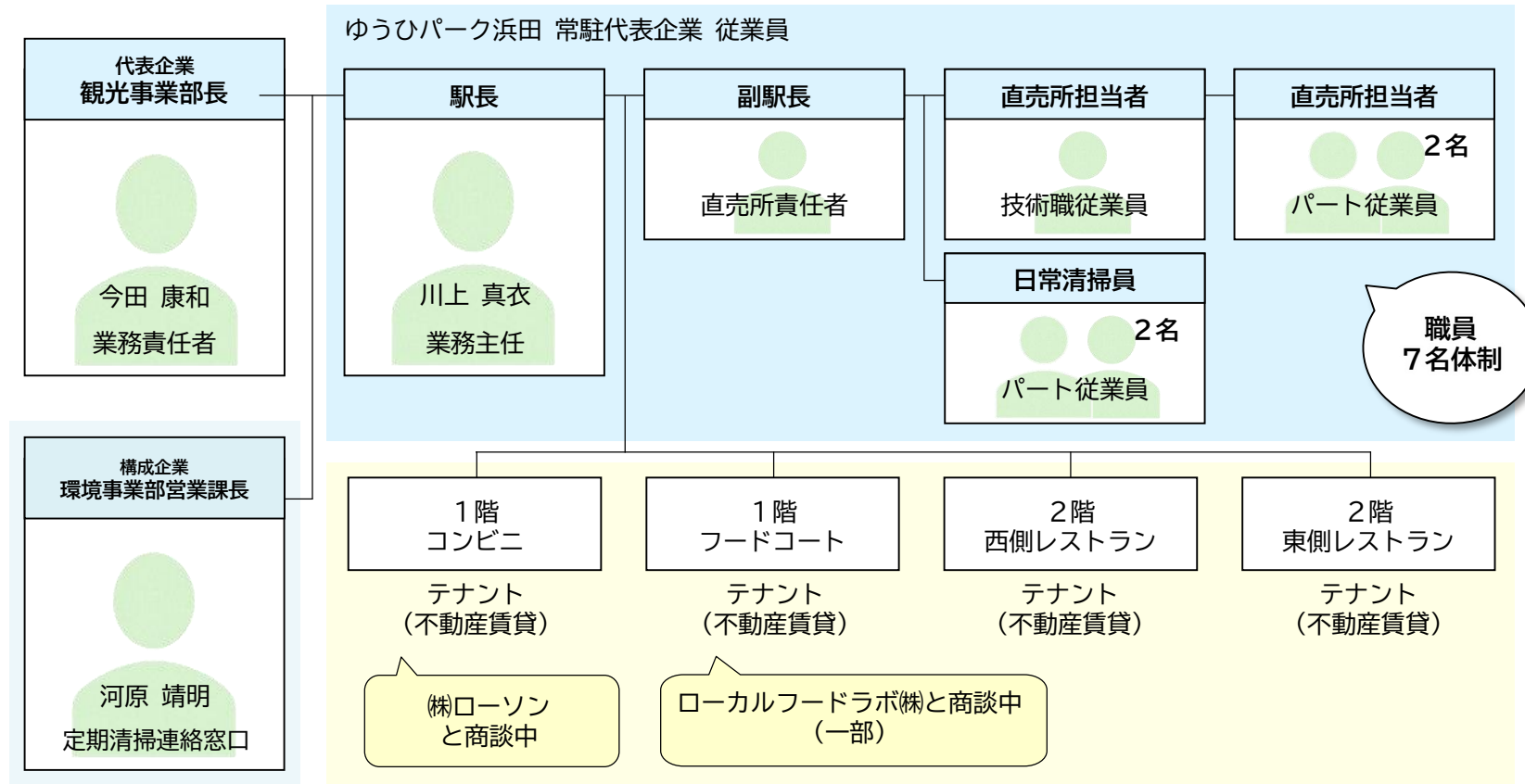
- ①直売所、テナントの仕入れでは浜田市の事業者を積極的に活用。また、施設の修繕についても、積極的に市内業者への発注し、地元と業者の事業拡大に貢献してまいります。
- ②弊社制作する会社案内、広報物に本施設の情報を掲載し、県外からの誘客に努め、観光ニーズによる市内消費活動の活性化に努めます。
- ③市内の情報や地域のために活動している方々にとっての情報発信基地として、イベント実施やPR活動の場所を積極的に提供してまいります。

# ■組織図(事業実施体系図)



運営方針

施設を清潔に保ち、お客様に最良のサービスをお届けします。





# ■整備スケジュール

取り組み項目	立上げ期間(令和8年)					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存事業者の営業期間	1 31					
情報発信コーナーの移設		1 10				★
直売所備品入替工事				16 20	★ ★	
コンビニ内装工事(テナト)			1 20	★ ★		
1階フードコート内装工事(テナト)				16 31	★	
2階西側レストラン内装工事(テナト)				16 31	★	
2階東側レストラン内装工事(テナト)				16 31	★	
道の駅ゆうひパーク浜田開業						6



開業日：令和8年8月6日

★：（8月5日まで）商品搬入・オープン準備

※ プロポーザル提案時の予定となっております

## ゆうひパーク浜田(株)について（沿革 H4～R7）

### 1 会社概要

企業名	ゆうひパーク浜田株式会社
代表者	代表取締役 木戸 淳
所在地	浜田市原井町 1203 番地 1
建物面積	2568.71 m <sup>2</sup> （うち 225.03 m <sup>2</sup> は（一社）中国建設弘済会が区分所有）
設立日	平成 4 年 11 月 2 日（施設オープン平成 6 年 7 月 12 日）
事業内容	道路情報・観光情報の提供、駐車場及び公園の管理運営、各種催事の企画・開催・運営、観光物産品及び海産物・農産物・林産物並びにその加工品の販売、飲食店の経営、不動産の管理等

- (1) 建設省施工の自動車専用道路における道路サービスエリア内施設を第 3 セクターで建設運営することは全国初であり、自治体の出資比率が少ない民間主導型の第 3 セクターであった。
- (2) 全国でも少ない「民設民営の道の駅」として運営。敷地は国有地。

【参考】（平成 25 年 9 月国交省発表）

○道の駅設置者

自治体（市町村・都道府県） 991 箇所（98.7%）

第 3 セクター・公益法人 13 箇所（1.3%）

○管理・運営者

自治体 158 箇所（15.7%）

第 3 セクター 312 箇所（31.1%）

財団法人等への委託 89 箇所（8.9%）

指定管理者等 445 箇所（44.3%）

- (3) 障害者のモデル雇用施設で、施設全体がバリアフリーとなっている。

### 2 沿革

#### 平成 4 年 11 月 設立

- (1) 昭和 63 年、国民金融公庫の支援を得て、異業種交流会（国金浜田情報交流会）が発足し、地域の中小企業の将来について調査研究、新事業の起業を模索し、平成 2 年「ゆうひパーク計画」を発表。
- (2) 異業種交流会（国金浜田情報交流会）は、建設省（道の駅事業）、労働省（重度障害者多数雇用施設助成）の支援を受け、浜田市、島根県が出資する「第 3 セクター」での事業化の方針を示した。（金融機関からの借入れも合わせて事業費は約 12 億円）
- (3) 異業種交流会（国金浜田情報交流会）のメンバーにより、平成 4 年 6 月 19 日に石央振興（株）が創立され、これを筆頭株主にゆうひパーク浜田（株）が平成 4 年 11 月 2 日に設立された。

## (4) 株主構成及び出資の経過 (H4. 11～H14. 3)

(単位：千円)

	H4. 11. 2	H6. 2. 1	H11. 3. 10	H14. 3. 19	合計	出資割合
石央振興(株)	27,500	2,000	15,000	14,000	58,500	69.6%
(株)山陰合同銀行	2,500	200			2,700	3.2%
島根県	10,000				10,000	11.9%
浜田市	10,000				11,800	14.0%
金城町		500				
三隅町		500				
旭町		500				
弥栄村		300				
江津市		1,000			1,000	1.2%
合 計	50,000	5,000	15,000	14,000	84,000	100.0%

## 平成 6 年 7 月 施設オープン

## 平成 17 年 11 月 民事再生申請 (平成 17 年 12 月 取り下げ)

一部の取締役により、民事再生申請がなされるものの、他の取締役から反発を受け、民事再生申請をした取締役は解任、新役員により申請は取り下げとなった。

(民事再生取り下げ許可 平成 17 年 12 月 15 日)

このことにより、経営不振が表面化される。

## 平成 19 年 6 月～11 月 減資・増資、2 億円の無利子融資、リニューアルオープン

(1) 平成 19 年 6 月議会で事業再生計画に基づく市の支援策 (減資後の増資と 2 億円の無利子融資) が承認され、金融機関の債権放棄、(株)チャームランドリーのリファイナンスを確認した上で、90%の減資を行った。資本金 84,000 千円→8,400 千円 (浜田市の出資金は、11,800 千円→1,180 千円となった。)

(2) 90%の減資後、(株)チャームランドリーを筆頭に増資が実行された。

浜田市は、1,180 千円→8,400 千円の 7,220 千円の増資

(3) 減資・増資の経過 (H19. 11～H30. 2)

(単位：千円)

	出資額 (異動前)		90%減資→増資		出資額 (異動後)	
	出資額	出資割合	減資額	増資額	出資額	出資割合
石央振興(株)	58,500	69.7%	△ 52,650		※0	0.0%
(株)山陰合同銀行	2,700	3.2%	△ 2,430		270	0.5%
島根県	10,000	11.9%	△ 9,000		1,000	1.7%
浜田市	11,800	14.0%	△ 10,620	7,220	8,400	14.0%
江津市	1,000	1.2%	△ 900		100	0.2%
(株)チャームランドリー				32,380	38,230	63.8%
石見食品(株)				2,000	2,000	3.3%

(有)中村水産				2,000	2,000	3.3%
(株)石田弥太郎商店				2,000	2,000	3.3%
(株)吉寅商店				2,000	2,000	3.3%
浜田港運(株)				2,000	2,000	3.3%
(株)ほんき村				2,000	2,000	3.3%
合 計	84,000	100.0	△ 75,600	51,600	60,000	100.0%

※ 減資後の石央振興(株)の全株式 585 株は(株)チャームランドリーへ譲渡

(4) 2 億円の無利子融資（5 年間）を実行（H19. 11. 30）

(5) リニューアルオープン

外壁・照明・各種設備工事、フードコート・物販部門改修

#### 平成 20 年 3 月 災害時における地域住民の避難所指定に関する覚書締結

市とゆうひパーク浜田(株)と国土交通省浜田河川国道事務所による 3 者締結。

#### 平成 24 年 11 月 2 億融資の変更契約

平成 22～23 年度に返済が行われ、平成 24 年度に残額を一括返済する予定だったが、繰り延べし、平成 24 年度 9 月議会で歳入を減額補正、議会の承認を得たところで、平成 24 年 11 月 27 日に変更契約を締結した。

※ 連帯保証人の脱退

当初契約では、個人 2 名の連帯保証人を付けていたが、平成 24 年 11 月 27 日の変更契約時にはずしている。

当初（H19. 11）連帯保証人	変更後（H24. 11）連帯保証人
①(株)チャームランドリー ②高橋 正鋲 ③木戸 淳	①(株)チャームランドリー

#### 平成 27 年 1 月 全国 35 か所の重点道の駅に指定

ゆうひパーク浜田が平成 27 年 1 月 30 日に国土交通大臣により、全国 35 か所の重点道の駅に指定された。（H26:35 箇所、H27:38 箇所、H30:15 か所、R1:15 箇所）

#### 平成 30 年 2 月 7 日 浜田河川国道事務所 浜崎所長に市長要望（占用料減免）

#### 平成 30 年 2 月 ゆうひパーク浜田(株)の減資

(1) 平成 30 年 2 月 9 日に臨時株主総会が開催

①筆頭株主である(株)チャームランドリー持分の株式の 50% (3,823 株の内、3,000 株)をゆうひパーク浜田(株)に売却（価格 0 円）

②この 3,000 株式を消却することで、資本金を 6,000 万円から 3,000 万円に減資

③その結果、(株)チャームランドリーの持株比率は 27.4%の第 2 株主となり、浜

田市は、増資等を行うことなく、持株比率 28%で筆頭株主となる

### 株式変更 H30. 3. 31（登記 H30. 4. 24）

	出資額（異動前）		減資	出資額（異動後）	
	出資額	出資割合	減資額	出資額	出資割合
株チャームランドリー	38,230	63.7%	△ 30,000	8,230	27.4%
浜田市	8,400	14.0%		8,400	28.0%
島根県	1,000	1.7%		1,000	3.3%
江津市	100	0.2%		100	0.3%
株山陰合同銀行	270	0.5%		270	0.9%
石見食品(株)	2,000	3.3%		2,000	6.7%
(有)中村水産	2,000	3.3%		2,000	6.7%
株石田弥太郎商店	2,000	3.3%		2,000	6.7%
株吉寅商店	2,000	3.3%		2,000	6.7%
浜田港運(株)	2,000	3.3%		2,000	6.7%
株ほんき村	2,000	3.3%		2,000	6.7%
合 計	60,000	100.0%	△ 30,000	30,000	100.0%

### 平成 30 年 2 月 14 日 陳情（市長、議長） H30 年 3 月議会 採択

- ①ゆうひパーク浜田(株)が、国土交通省に支払っている敷地の「占用料」減免
- ②観光協会、定住部署など浜田市の関連施設の一部誘致
- ③一般社団法人中国建設弘済会の所有物件の売買交渉

### 平成 30 年 7 月 12 日 浜田河川国道事務所長に市長要望

### 平成 30 年 10 月 17 日 国土交通省中国地方整備局道路部長に市長要望

- ①占用料減免のお願い
- ②中国建設弘済会の区分所有物件の取得に対する協力依頼

### 令和元年 6 月 役員会にて市職員の取締役就任の要請

地方自治法において、「資本金等を二分の一以上出資している法人」に制限されていることや、「浜田市地方公社等に関する指針」においても、原則的に就任しないことと定めており、ゆうひパーク浜田(株)への取締役には就任できない旨を副市長から回答した。

### 令和元年 8 月 ゆうひパーク浜田への財政支援に関する協議

ゆうひパーク浜田(株)より財政支援の要望があり、「今後の支援」についての意見交換を行った。

- ①毎年、約 5,900 万円を返済するため、今期も金融機関から 5,000 万円程度の資金調達をする必要がある。筆頭株主として、今後、財政支援の考えはあるか？  
⇒財政的支援については、3セク指針の範囲内で対応することになる。「ゆうひパーク浜田は関与度 C」であり、出資、増資、貸付はありえる。しかしなが

ら、2 億円を融資した際には再生支援協議会による事業再生計画の策定があって、それを根拠に無利子融資をしている。もし、更なる財政的支援をするならば、そういった再生計画等が必要であるが、市への返済が 6,000 万円残っている中で、非常にハードルが高い。

②事業再生計画の策定は、第 3 者に策定してもらうべきか？

⇒そうなると思う。独自の計画では、都合の良い計画となってしまう。

③市の融資の返済期限を延長することはできないか？

⇒できない。当初 5 年の返済を 15 年に延長した経緯もある。また、市と島根県の取り決めもあり、返済を延ばした場合、県への返済を市が立替えることになり、財政的にも不可能であるし、市民に納得してもらえない。今日は話をしているのは、現状の指針等の範囲の話である。市が新たな方針を打ち出せばまた変わることもある。今日は、話を聞くだけ。ただ、市への返済が 6,000 万円残っている中で、非常にハードルが高いと思う。

④観光協会にテナントに入ってもらうことは可能か？

⇒観光協会も、ゆうひパーク浜田と同じ状況で財政的に厳しいことを理解してほしい。テナント料の問題もあり、簡単な話ではない。ゆうひパーク浜田に、観光客はたくさん来て、市の観光振興になって、経済効果があって、そして、ゆうひパーク浜田が儲かるというストーリーが必要で、それが無いと行政支援も難しい。

#### **令和元年 8 月 ゆうひパーク浜田(株)が経営改善計画書を作成**

社長が独自に作成され、市及び金融機関へ提出された。

#### **令和 2 年 4 月 新型コロナウイルス感染症に伴う時短営業・臨時休業**

4/13～4/23 レストラン、土産販売店、フードコート時短営業

4/24～5/7 レストラン、土産販売店、フードコート臨時休業

#### **令和 3 年 2 月 経営改善資金貸付金の償還猶予の要請**

(株)商工組合中央金庫松江支店より、ゆうひパーク浜田(株)がコロナの影響によって経営が悪化しており、金融機関等への返済を減らさないと根本的な解決ができない。市が貸付している経営改善資金の返済猶予ができないかと相談。

⇒令和元年度に作成した「第三セクター等の経営健全化の推進等について」に基づき、財政的関与をすることができる。債権者全体で支援するというのであれば、市としての支援の検討はできると回答。

島根県中小企業再生支援協議会を交え協議していくことになった。

#### **令和 3 年 4 月 ゆうひパーク浜田(株)関係者会議（バンクミーティング）**

島根県中小企業再生支援協議会とともに、新型コロナウイルス感染症特例リスクスケジュール計画案（業績及び資金繰り計画）及び事業継続アクションプランを作成された。これに基づき、令和 3 年 4 月 21 日から令和 3 年 10 月末までの元金返済猶予を債権者である 5 行（商工中金、政策公庫、山陰合銀、島根銀行、日本海

信金)に依頼し、了承された。

#### 令和3年4月 オリゾンテ廃店

事業継続アクションプランにより、オリゾンテを廃店した。また、オリゾンテ及び五地想ピット(モスバーガーと観光案内所の間)をリーシング物件として入居先を模索する。

#### 令和3年9月 経営改善資金貸付金の償還猶予の要請

9月15日付けで、金融機関5行及び浜田市に対し、令和3年11月から令和4年7月末までの元金返済猶予を依頼された。債権者である5行(商工中金、政策公庫、山陰合銀、島根銀行、日本海信金)及び浜田市が了承する。浜田市の経営改善資金は、令和3年11月29日から令和4年8月29日に償還日を変更した。

#### 令和4年1月 まん延防止等重点措置に伴う休業

まん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業要請に伴い、令和4年2月1日から2月20日まで会津屋八右衛門を休業した。

#### 令和4年4月15日 ゆうひパーク浜田からの要望(市長、議長)

以下3点について浜田市へ要望された。

- ①令和4年7月末までの借入金返済猶予期限について、状況によっては期限延長をお願いいたします。
- ②設立当時から民設民営での運営を行ってきたものの、現状では大幅な収益確保の見通しが立てにくく、浜田市が当該建物を購入し全国的な道の駅の運営手法である「公設民営」の道の駅への移行を是非とも検討いただくようお願いいたします。(第3セクター指針における上下分離方式)
- ③雇用継続や浜田市内の取引先への影響を鑑み、当面の間、弊社に施設運営を継続させていただきますようお願いいたします。

#### 令和4年5月9日 「道の駅」登録・案内要綱の当面の運用方針の一部変更

平成29年度より愛媛県今治市の「道の駅」においての検証を踏まえ、国家戦略特別区域において民間事業者が設置となる運用方針が廃止され、今後は特区に限定せず、「道の駅」の設置者となる市町村に代わり得る公的な団体に、市町村の公的関与を条件に民間事業者を加えることとなった。

#### ○「道の駅」登録・案内要綱の当面の運用方針新旧対照表

旧(平成30年11月19日)	新(令和4年5月9日)
<設置者> 10. 市町村に代わり得る公的な団体とは以下の各号のいずれかに該当するものとする。	<設置者> 10. 市町村に代わり得る公的な団体とは以下の各号のいずれかに該当するものとする。

イ．都道府県 ロ．地方公共団体が三分の一以上を出資する法人 ハ．地域を代表して「道の駅」を設置するにふさわしいとして市町村が推薦する公益法人	イ．都道府県 ロ．地方公共団体が三分の一以上を出資する法人 ハ．地域を代表して「道の駅」を設置するにふさわしいとして市町村が推薦する公益法人 ニ．市町村から土地・建物の貸与を受け、市町村と管理運営についての協定を締結する法人 ※一部記載を省略
--	--

#### 令和４年５月３０日 議会全員協議会で「公設民営化」の調査・検討を表明

「道の駅」ゆうひパーク浜田は、市の重要な観光拠点であり、高規格道路である山陰自動車道のサービス施設内にあること、石見地域の観光ゲートウェイとしての利用や広域的な防災拠点としての活用も期待できる施設であることから、公設民営化の調査・研究をすることを表明する。ついては、不動産鑑定に関する補正予算を上程した。

#### 令和４年５月以降 施設取得に向けた関係機関協議

- ・島根県市町村課（施設取得の際の過疎債対象の可否）
- ・浜田河川国道事務所（設置者の考え方、浄化槽修繕のスケジュール、底地）
- ・（一社）中国建設弘済会（弘済会所有部分の買取交渉、常駐スタッフの処遇）
- ・本多不動産鑑定士事務所（不動産鑑定評価を依頼）

#### 令和４年６月 ゆうひパーク浜田(株)関係者会議（バンクミーティング）

島根県中小企業活性化協議会とともに、収益力改善計画を作成された。これに基づき、令和４年８月１日から令和５年７月末までの元金返済猶予を債権者である６行（商工中金、政策公庫、保証協会、山陰合銀、島根銀行、日本海信金）及び浜田市に依頼された。⇒令和４年７月５日付債権者からの同意が確認され、収益力改善計画が成立した旨の連絡あり。

#### 令和４年７月 経営改善資金貸付金の償還猶予

浜田市の経営改善資金について、令和４年８月支払分（15,384,615円）及び令和４年11月支払分（15,384,615円）を令和５年８月29日支払いに変更した。また、延納利息として702,844円の支払いを命じた。

#### 令和４年８月～ 不動産鑑定評価額に基づく売買価格の検討

浜田市及びゆうひパーク浜田(株)それぞれが依頼した鑑定評価書に基づき、売買価格について調整を進める。



	浜田市 【本多不動産鑑定士事務所】	ゆうひパーク浜田㈱ 【広島合同鑑定㈱】
鑑定手法	原価法	原価法＋収益還元法（DCF法）
原価法	A) 再調達原価 1,188,000 千円 B) 減価額 1,024,704 千円 C) 積算価格 163,000 千円	A) 再調達原価 1,075,000 千円 B) 減価額 699,928,960 円 C) 建物積算価額 375,000 千円 D) 土地積算価額 7,000 千円 E) 積算価格 382,000 千円
収益還元法	-	収益価額 269,000 千円
鑑定額	163,000 千円	359,000 千円

## 令和4年9月 議会に公設民営化方針及びゆうひパーク浜田㈱経営健全化方針報告

### ○「道の駅」ゆうひパーク浜田の方針

- (1) この度の国の制度変更（「道の駅」登録・案内要綱の当面の運用方針）を受け、当市でも民間事業者の自由な発想で運営できる「道の駅」を目指す。
- (2) そのため、これまでの「指定管理者制度」ではなく、「民間事業者に対する財産貸付制度」による運営を取り入れる。
- (3) ただし、休業などの空白を置かずに「財産貸付制度」を取り入れるためには、現設置者である「ゆうひパーク浜田㈱」に2～3年の間、運営させる。

### ○経営健全化方針

長年の間、減価償却を定期的に実施していなかったため、資産が過大に計上されている懸念があったが、今年度に入って市が実施した不動産鑑定評価における評価額で換算すると実質的な債務超過状態であることが明らかになった。

民設民営で法人が施設を所有している現状においては、固定資産税や国への土地占用料等の費用が発生し、それらが収支を悪化させる要因となっていた。したがって、施設を市が買取り、法人は管理・運営だけを行う「上下分離方式」を採用することで、これらの経費が不要になるとともに、金利負担や減価償却費が抑えられるため、維持管理コストの削減に繋がり経営の安定化が期待できる。

具体的な対応として、道の駅「ゆうひパーク浜田」は市の観光拠点の一つとして、長年、重要な役割を担ってきた施設であり、運営する法人の破綻により施設が閉鎖するようなことがあってはならない。したがって、市の方針としては「上下分離方式」により法人の経営健全化を図り、「ゆうひパーク浜田」が今後も道の駅としての役割を十分に発揮できるようにするため、令和4年度中に公設民営化に向けた手続きを進める。当面の2～3年は法人による施設運営を継続させるものとし、その後には公募型プロポーザルによる競争原理を導入し、法人の更なる経営努力を促す。なお、法人側の経営健全化に向けた

具体的な取組としては、島根県中小企業活性化協議会の協力のもと策定した収益力改善計画に基づき、新たなテナント確保による家賃収入や仕入れコストの削減などアクションプランの確実な実行により収益力の改善を図っていく。

#### 令和4年10月 ゆうひパーク浜田(株)役員会

売買価格について、大きな開きがあったが、2億円程度で調整することとなった。12月議会での予算計上を予定しているため、詳細金額については差し控える。全役員が了承する。

#### 令和4年10月 ゆうひパーク浜田(株)関係者会議（バンクミーティング）

売買価格について、双方の鑑定手法に相違があり比較が困難なため、ゆうひパーク浜田(株)の鑑定額を調整し、双方の中間価格を売買価格とした。

- ・浜田市鑑定額 163,000,000円（税抜）
- ・ゆうひパーク浜田(株)調整後鑑定額 262,000,000円（税抜）  
⇒中間価格 233,750,000円（税込）

そのうち、中国建設弘済会への約1,600万円を差し引いた残り196,500千円から浜田市の債権を優先返済した後の165,731千円を各債権者への返済に充てる。各債権者が了承される。

#### 令和4年11月 議会産業建設委員会にて売買予定価格及び今後のスケジュールを報告

売買予定価格：233,750,000円（税込）  
12月議会：財産取得予算計上  
3月議会：財産取得議決、財産無償貸付議決

#### 令和4年12月 市議会にて財産取得予算を計上

#### 令和5年2月21日 ゆうひパーク浜田(株)との不動産売買契約の締結（仮契約）

売買代金 217,896,917円（支払はR5.4.25）  
引き渡し日 R5.4.1  
市議会の議決により成立（R5.3.17成立）

#### 令和5年3月17日 市議会にて「財産取得」及び「無償貸付」議案が可決

#### 令和5年3月17日 （一社）中国建設弘済会との不動産売買契約の締結

売買代金 15,853,083円（支払はR5.4.25）  
引き渡し日 R5.4.1

#### 令和5年3月22日 ゆうひパーク浜田(株)・（一社）中国建設弘済会・浜田市の3者で「道の駅ゆうひパーク浜田の機能維持等に関する覚書」の締結

覚書期間：R5.4.1～貸付契約の終了日

**令和 5 年 3 月 27 日 ゆうひパーク浜田(株)・浜田市で「市有財産無償貸付契約」の締結**

貸付期間：R5. 4. 1～R8. 3. 31

**令和 5 年 3 月 29 日 国交省中国地方整備局から道路占用許可の通知**

占用の期間：R5. 4. 1～R10. 3. 31

占用料：0 円

占用条件：今回より人員を配置して道路案内をする条件が外れる。他地域の占用条件と整合性を踏む必要があると理由による。

**令和 5 年 4 月 3 日 所有権移転登記完了**

**令和 5 年 4 月 25 日 売買代金の支払い、経営改善資金貸付金の返済完了**

同日に売買代金の支払いを予定しており、ゆうひパーク浜田(株)については不動産売買契約により債権債務を相殺することとしているため。

売買代金：217, 896, 917 円

貸付金返済額：30, 769, 230 円

延納利息：309, 799 円

差引支払額：186, 817, 888 円

**★令和 5 年 5 月以降、次期運営事業者を選定するためのアドバイザー業務を進める**

契約期間：令和 5 年 9 月 28 日～令和 7 年 3 月 31 日

契約相手方：(株)福山コンサルタント

**令和 5 年 12 月～ 財産（株式）の無償譲渡の検討**

公募型プロポーザルによる令和 8 年度以降の運営事業者の選定に向け、第三セクターであることによる懸念が生じることから、自治体出資者である島根県及び江津市と協議する。また、顧問弁護士からの助言を受け、財産（株式）の無償譲渡を検討する。

- ・島根県、江津市への情報提供
- ・島根県中小企業活性化協議会への相談
- ・顧問弁護士（佐和法律事務所）への相談

**令和 6 年 1 月 12 日 市からゆうひパーク浜田(株)へ臨時株主総会の開催依頼**

公募型プロポーザルに向け市の顧問弁護士に相談した結果、「浜田市が筆頭株主であることから、運営事業者の公募・選定において第三者から公平公正な審査に疑念を持たれかねない」とのご指摘をされた。市としては、関与度の高い第三セクターを公募対象者とすることは適当でないと考え、市が御社の株を保有しない民間セクターへの移行が望ましいと結論に達したことから、市民等が疑念を抱くことのないよう、また、ゆうひパーク浜田(株)の前向きな提案を公平公正に審査す

る環境を整える意味からも、当市が保有する株式をゆうひパーク浜田㈱へ無償譲渡する議案を諮るための臨時株主総会の開催を依頼した。

#### 令和6年2月27日 ゆうひパーク浜田㈱役員会、臨時株主総会

臨時株主総会において、市保有株式をゆうひパーク浜田㈱の自社株としての譲渡について、全会一致で承認された。

#### 令和6年3月12日 株式譲渡契約の締結

#### 令和6年3月18日 財産の無償譲渡議案の採択

議案の採択に基づき、令和6年3月12日付け株式譲渡契約が本契約となる。

#### 株式変更 R6.3.18

	出資額（異動前）		減資	出資額（異動後）	
	出資額	出資割合		出資額	出資割合
自社株	0	-		8,400	-
㈱チャームランドリー	8,230	27.4%		8,230	38.1%
浜田市	8,400	28.0%	8,400	0	-
島根県	1,000	3.3%		1,000	4.6%
江津市	100	0.3%		100	0.5%
㈱山陰合同銀行	270	0.9%		270	1.3%
石見食品㈱	2,000	6.7%		2,000	9.3%
㈱令和シーフーズ	2,000	6.7%		2,000	9.3%
㈱石田弥太郎商店	2,000	6.7%		2,000	9.3%
㈱吉寅商店	2,000	6.7%		2,000	9.3%
浜田港運㈱	2,000	6.7%		2,000	9.3%
㈱ほんき村	2,000	6.7%		2,000	9.3%
合 計	30,000	100.0%	8,400	30,000	100.3%

浜田市保有株式 840 株はゆうひパーク浜田㈱の自社株扱いとなる。

#### 令和6年8月7、16、30日 産業建設委員会から募集要項の意見聴取

次期運営事業者を公募するための募集要項について、産業建設委員会に内容を報告し、出された意見に基づき修正等を行いながら了承を得た。

- ・主な意見：地域への貢献、市への収益還元の見直し

#### 令和6年9月10日 令和8年4月からの整備運営事業者の募集開始

令和7年5月に議会に示したリニューアル基本方針に基づき作成した募集要項を公表した。

#### 令和 7 年 1 月 28 日 プレゼンテーションの実施

2 社からの提案について、外部委員による審査を実施した。

#### 令和 7 年 2 月 7 日 優先交渉権者の決定

(株)第一ビルサービスと浜田ビルメンテナンス(株)との企業体である「浜田まちおこし共同企業体」を優先交渉権者として決定。以降、提案書をもとに運営事業計画（案）の作成に取り掛かった。

#### 令和 7 年 8 月 19 日 産業建設委員会から整備運営事業計画(案)について意見聴取

優先交渉権者から令和 8 年 4 月からの整備運営事業計画が提出されたことから、その内容について意見等を伺った。

主な意見：コンビニの位置の変更、収益還元額の見直し、夕日を活かしたコンセプトの追加、地域貢献の明確化

令和7年12月11日  
産業建設委員会資料  
産業経済部  
浜田駅周辺活性化推進室

# 浜田駅周辺活性化社会実験 報告書

令和7年12月

浜田市産業経済部浜田駅周辺活性化推進室

## 目次

1	目的	2
2	実施主体	2
3	社会実験環境（三桜酒造跡地）	2
4	社会実験概要	3
5	アンケート調査概要	5
6	社会実験結果及びアンケート結果	
	9月14日 まちなか夜神楽	6
	9月21日 石州酒まつり、ホビーマルシェ 他	11
	9月23日 健康促進を楽しむ会 他	15
	9月28日 黒川町2町内もりあげ隊 他	17
	10月5日 B U Y浜田昼市	20
	石央文化ホール お宝さがし	27
	まちなか交流プラザ モルック体験会	27
	周辺店舗アンケート結果	28
	周辺住民アンケート結果	31
7	社会実験のまとめ	37

## 1 目的

浜田駅周辺エリア活性化に向けた施策の検討にあたり、令和5年度に設置した「三桜酒造跡地公共活用検討委員会」から提言のあった社会実験を実施することで、賑わい創出の可能性や課題などを把握する。

## 2 実施主体

本社会実験は「浜田駅周辺活性化社会実験実行委員会」が主催した。

※構成員：浜田商工会議所、浜田駅前銀天街協同組合、石央文化ホール、  
はまだ協働学舎ファンタス、浜田市（事務局）

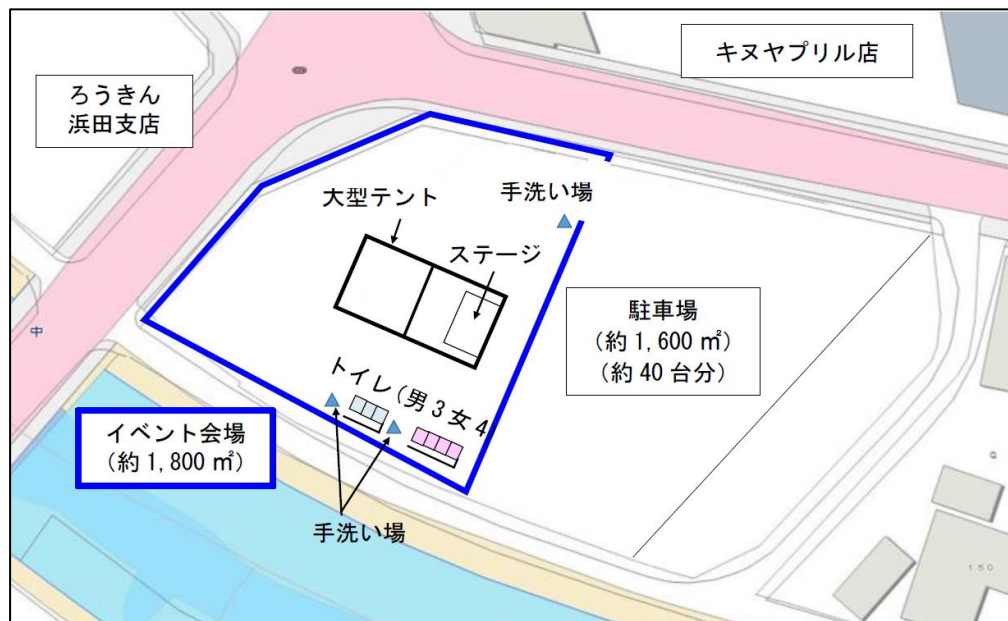
## 3 社会実験環境（三桜酒造跡地）

○三桜酒造跡地約 3,400 m<sup>2</sup>を使用

【内訳】舗装部分約 1,800 m<sup>2</sup>（イベント会場として使用）

砂利部分約 1,600 m<sup>2</sup>（駐車場約 40 台分として使用）

○社会実験期間中、イベント会場には、大型テント（10m×10mを2張）、大型テント内にステージ、仮設トイレ（男性3棟、女性4棟）、仮設手洗い場3台を常設した





## 4 社会実験概要

令和7年9月14日（日）～令和7年10月5日（日）までの期間中、5日間の社会実験を実施。

＜実行委員会及び市等が主体となり実施した社会実験＞

- ・9月14日（日） まちなか夜神楽
- ・10月5日（日） BUY 浜田昼市、石央文化ホール「お宝さがし」、  
まちなか交流プラザ「モルック体験会」

＜市民公募により実施した社会実験＞

- ・9月21日（日） 石州酒まつり 他
- ・9月23日（火・祝） 健康促進を楽しむ会 他
- ・9月28日（日） 黒川町2町内もりあげ隊 他

### 【社会実験一覧】

日時	社会実験内容	来場者数
9月14日（日） 19時～21時	まちなか夜神楽（場所：三桜酒造跡地） 出演：石見神楽亀山社中 ※夜神楽会場にキッチンカー3台出店	1,300人
9月21日（日） 10時～17時	1 イベント開催（場所：三桜酒造跡地） ①石州酒まつり 内容：県内外の8酒蔵を呼んで酒の魅力を発信 ②ホビーマルシェ 内容：ハンドメイド雑貨販売、ワークショップ、射的など 家族で楽しめるマルシェを開催（7店舗） 2 単独出展（場所：三桜酒造跡地） ①フリーマーケット（衣類など） ②県大取組 PR ③木工作品等の展示 PR ④SOMPO で学防ッチャ（まなぼっちゃ） ⑤玄米タコライス・冷や汁販売	550人
9月23日 （火・祝） 10時～14時	単独出展（場所：三桜酒造跡地） ①健康促進を楽しむ会～フレイル予防～ 内容：吹き矢体験、健康マージャン、駄菓子屋、ケーキ販売等 ②水高生によるフィッシュレザー小物販売 ③がんサロン「ほっとサロン浜田」の商品販売及びPR	250人
9月28日（日） 9時～12時	単独出展（場所：三桜酒造跡地） ①黒川町2町内もりあげ隊による団子無料配布・レモネード等 ②フリーマーケット（衣類など） ③「おたがいさま浜田」の商品販売及びPR	300人

10月5日(日) 11時～17時	<b>BUY 浜田昼市（場所：三桜酒造跡地）</b> 時間：11 時～15 時 内容：市内業者による地元農産物や飲食物の販売、ものづくり体験会、ステージイベント（保育園児による BUY 浜田ダンス、県大よさこい、ビンゴ大会など）	800 人
	<b>モルック体験会（場所：まちなか交流プラザ）</b> 時間：11 時～15 時 内容：はまだ協働学舎ファンタスの学生サポーター主催でモルック体験会を実施	24 人
	<b>お宝さがし！ in 石央文化ホール（場所：石央文化ホール）</b> 時間：16 時～17 時 内容：石央文化ホール内を探索しての宝さがし	92 人
合計		3,316 人

## 【社会実験チラシ】

# 浜田駅周辺 活性化 社会実験

浜田駅周辺エリア活性化に向けた施策の検討にあたり、賑わい創出の可能性や課題などを把握するため、場所や期間を限定した社会実験を実施します。

社会実験の効果検証のために、**当日アンケートにご協力をお願いします。**

社会実験の最新情報や詳細は QR コードをご確認ください。

駐車場は、無料臨時駐車場又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

屋外イベントは原則 小雨決行

●県立体育館

無料臨時駐車場

9/14日 ① まちなか夜神楽  
場所／三桜酒造跡地  
時間／19時～21時  
出演／石見神楽亀山社中  
キッチンカーも来るよ！

9/21日 ② 石州酒まつり  
場所／三桜酒造跡地  
時間／12時～17時(予定)  
県内外から8酒蔵が集結！

9/21日 ③ ホビーマルシェ  
場所／三桜酒造跡地  
時間／10時～15時(予定)  
ハンドメイド雑貨販売、プラモデル販売、射的など

9/23日 ④ 健康促進を楽しむ会 ～フレイル予防～  
場所／三桜酒造跡地  
時間／10時～15時(予定)  
吹き矢体験、健康マージャン、駄菓子屋、ケーキ販売など

9/23日 ⑤ 水高生によるフィッシュレザー小物販売  
場所／三桜酒造跡地 時間／10時～12時(予定)

9/28日 ⑥ 黒川2町内もりあげ隊による団子無料配布[300食]・レモネードなど  
場所／三桜酒造跡地  
時間／9時～12時(予定)

9/28日 ⑦ まちなか交流プラザ「モルック体験」  
場所／浜田市まちなか交流プラザ  
時間／11時～15時(予定)  
★要事前申込(詳しくはQRコード参照)

9/28日 ⑧ お宝さがし！ in 石央文化ホール  
場所／石央文化ホール  
時間／16時～17時(予定)  
石央文化ホール内を探索して景品ゲット！  
★50組限定、要事前申込(詳しくはQRコード参照)

9/28日 ⑨ BUY 浜田昼市  
場所／三桜酒造跡地  
時間／11時～15時  
保育園児によるBUY浜田ダンス、県大よさこい、地元農産物や飲食物の販売、ものづくり体験会など

主催：浜田駅周辺活性化社会実験実行委員会 事務局：浜田市産業経済部浜田駅周辺活性化推進室 TEL0855-25-9115 (実行委員会臨時電話 080-6339-4972)

## 5 アンケート調査概要

浜田駅周辺活性化社会実験におけるアンケート概要は次のとおり。

### (1) 来場者アンケート

9月14日のまちなか夜神楽、10月5日のBUY浜田昼市で来場者アンケートを実施。

- 9月14日 まちなか夜神楽 回答数 131 件
- 10月5日 BUY浜田昼市 回答数 140 件

### (2) 出店者アンケート

社会実験を実施した5日間の各出店者にアンケートを実施。

- 9月14日 まちなか夜神楽 回答数 3 件
- 9月21日 石州酒まつり他 回答数 25 件
- 9月23日 健康促進を楽しむ会他 回答数 6 件
- 9月28日 黒川町2町内もりあげ隊他 回答数 7 件
- 10月5日 BUY浜田昼市 回答数 14 件

### (3) 周辺店舗アンケート

社会実験が全て終了した後、周辺店舗にアンケートを実施。

回答数 21 件（配布数 35 件）

### (4) 周辺住民アンケート

社会実験が全て終了した後、周辺住民にアンケートを実施。

回答数 37 件（配布数 70 件）

## 6 社会実験結果及びアンケート結果

### 社会実験1：令和7年9月14日（日） 三桜酒造跡地

○日時：令和7年9月14日（日） 19時～21時

○場所：三桜酒造跡地

○内容：まちなか夜神楽（観覧無料、石見神楽亀山社中出演）

キッチンカー3台出店

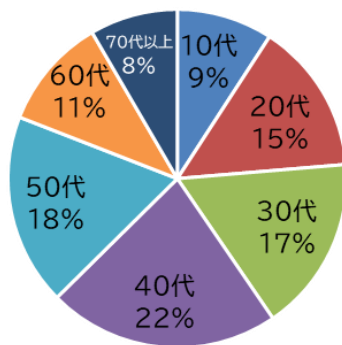
○来場者数：1,300人



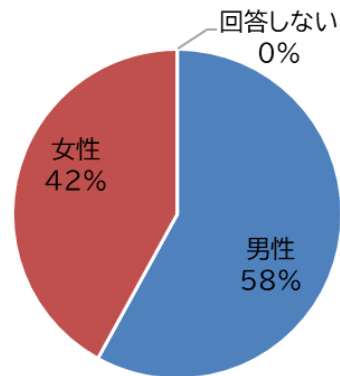
○アンケート結果

#### ■ 9/14（日）来場者アンケート（n=131）

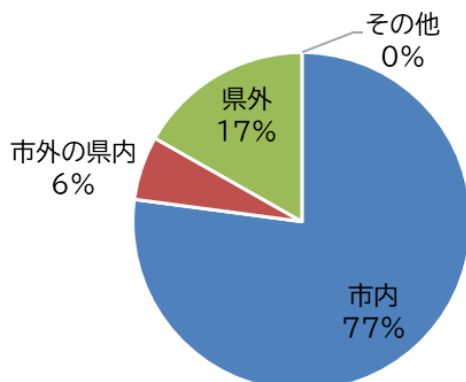
Q1. あなたの年齢をお聞かせください。



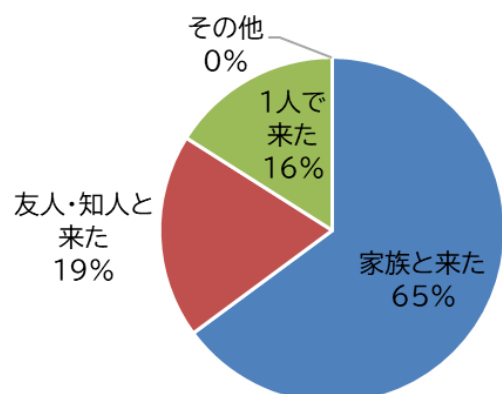
Q2. あなたの性別をお聞かせください。



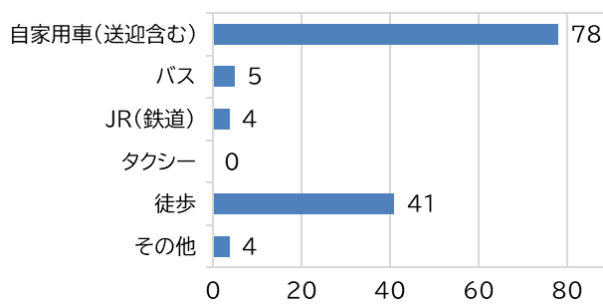
Q3. どちらから来られましたか。



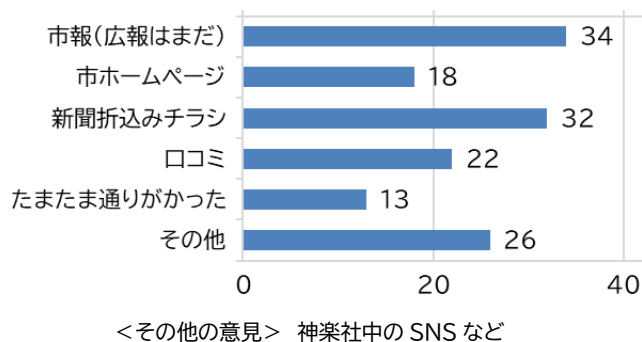
Q4. 誰と来ましたか。



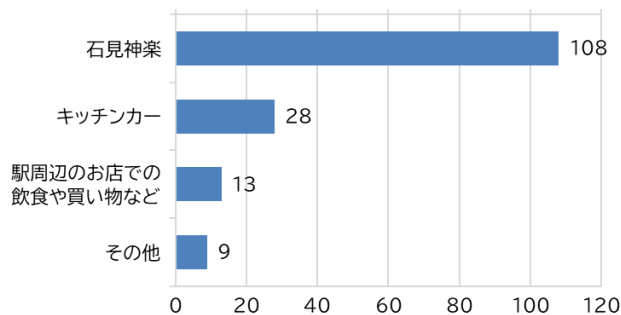
Q5. 本日、利用した交通手段は何ですか。  
(複数選択可)



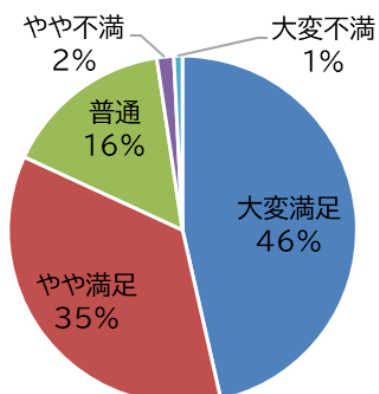
Q7. この社会実験は何で知りましたか。  
(複数選択可)



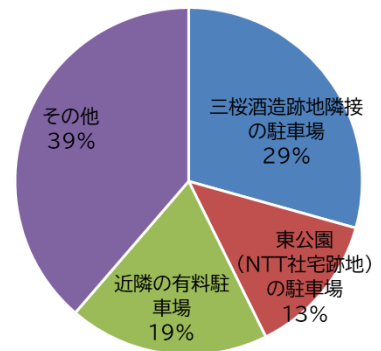
Q9. 何を目的に来ましたか。(複数選択可)



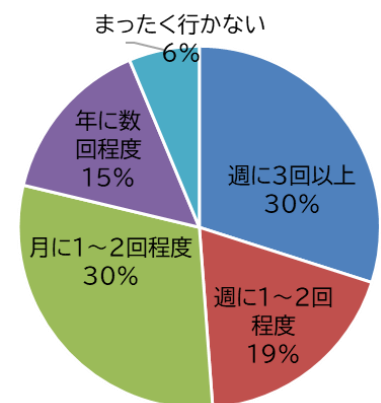
Q11. 今回の企画について、  
満足度をお聞かせください。



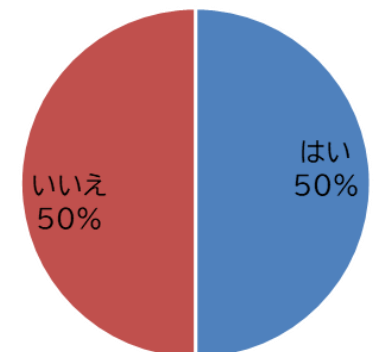
Q6. (Q5で「自家用車」と答えた方へ)  
どこの駐車場を利用しましたか。



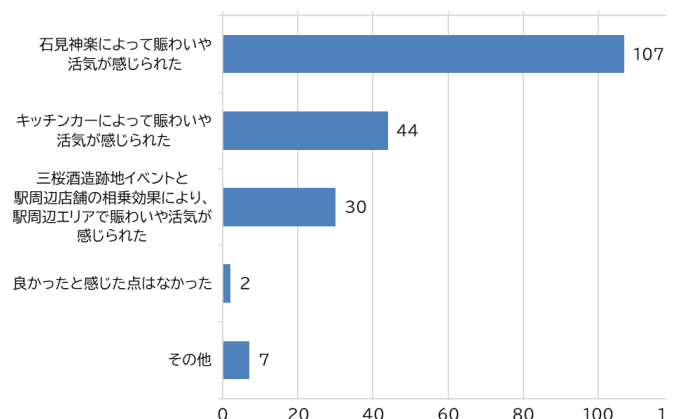
Q8. 浜田駅周辺にはどれくらいの頻度で訪れますか。



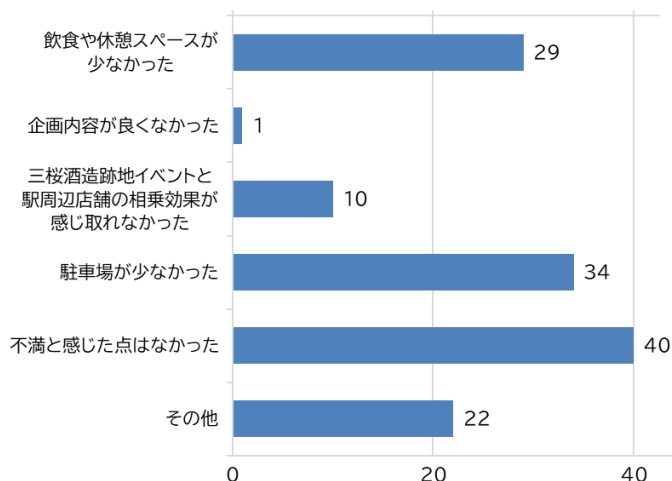
Q10. 駅周辺のお店にも立ち寄りましたか  
又は立ち寄る予定ですか。



Q12. 特に「良かった」と感じたことはありますか。



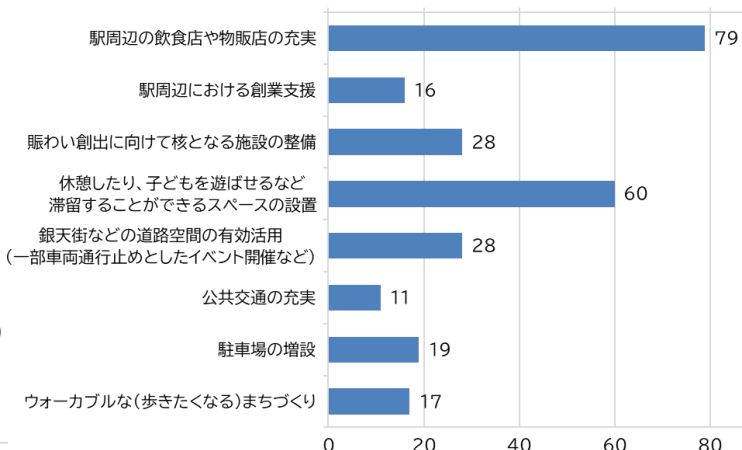
**Q13. 特に「不満」だと感じたことはありますか  
(複数選択可)**



＜その他の意見＞

- ・キッチンカーが少なかった
- ・もっと遅くまで神楽をやってほしかった など

**Q14. 浜田駅周辺エリアで賑わいをつくるために、今後どのような取組が必要だと思いますか。  
(複数選択可、または自由記述)**



**【Q14. 自由記述】**

居心地のよい空間 公園と一体となったカフェ (60 歳代、市外の県内在住)
浜田市まちなか交流プラザと連携したイベントの開催 (20 歳代、市内在住)
イベントの開催 (60 歳代、市内在住)
神楽がもっと見たいです (20 歳代、県外在住)
若者が行きやすい飲食店 (スタバ、マック、サイゼなど) (20 歳代、市外の県内在住)
全体的にアーケード、屋根などをきれいにしたらいいかも (40 歳代、県外在住)
海岸線を生かした散歩コースがあれば (70 歳代以上、県外在住)
飲食店の誘致等を充実させる (50 歳代、市内在住)
民間活力が欠かせないと思います (30 歳代、市内在住)
歴史資料館や神楽展示観覧場の建設 (40 歳代、市内在住)
このスペース Good エキサイティングもここではこてんにして (30 歳代、県外在住)
カフェ 昼にくつろげる店 さんぴこ江津 なぎの木テラス (30 歳代、市内在住)
食事するところ 空き店舗の活用 (50 歳代、市内在住)
もっと宣伝を (60 歳代、市内在住)
益田みたいにしてほしい ゆかたまつり いろいろな場所で神楽してほしい (40 歳代、市内在住)
浜田市の食や観光など独自の資源の発信 (60 歳代、県外在住)
初めて浜田市で神楽を見てとても良かったです。もっと広まるといいですね (60 歳代、県外在住)
大人も子供も遊べる施設 (30 歳代、市内在住)



**Q15. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。**

市民が集うような場所に（60 歳代、市外の県内在住）
石見神楽を中心にイベントを増やしてほしい（40 歳代、市内在住）
全世代が楽しめる場所になればと思います（20 歳代、市内在住）
土曜夜市の延長の雰囲気を感じれるので、このようなイベントの形で運用されるのがいいと思います（40 歳代、市内在住）
おいしいラーメン屋が欲しいです（30 歳代、市内在住）
箱物は不要。広場を活用してイベント（60 歳代、市内在住）
イベント開催（20 歳代、市外の県内在住）
神楽どんどんおしてください！（20 歳代、市外在住）
ビアガーデン（50 歳代、市内在住）
石見神楽たくさんやってほしいです（40 歳代、県外在住）
交通の利便性を高める、イベント開催、大学生も興味を持つような企画（50 歳代、県外在住）
神楽で浜田は盛り上がるのももっと力を入れて人を呼ぶようにしたらいいのではないのでしょうか（70 歳代以上、市内在住）
子供がすくすく遊べる場所（40 歳代、市内在住）
人が集まれる場所づくり（50 歳代、市内在住）
また色々企画してください（40 歳代、市内在住）
周辺にスーパー、学校、文化スポーツ施設が沢山あり、一番いい場所と思います。みんなで考えてすばらしいエリアにしたいです。（70 歳代以上、市内在住）
民間の商業施設がもっと増えると嬉しい（10 歳代、市内在住）
ガストやスタバ、バスケットコートが欲しい（10 歳代、市内在住）
人が集まれるようなものを作ってほしい 飲食スペース、学習スペース、小さい子の遊び場、高齢者のサークル活動など（60 歳代、市内在住）
建物（建築物まで）必要なのに確かに疑問がある（40 歳代、市内在住）
私は私たちの市長のお考えを尊重しています。（40 歳代、市内在住）
今回の試みは大変良く、楽しめるイベントだと思った。石見神楽の良さをもっと多数の人に知らせたらいいと思うのと、やはり地元の人の神楽愛を感じた。（30 歳代、市内在住）
場所が良かった（60 歳代、市内在住）
神楽はいいと思うが、毎週？この規模のイベントができるのか。集客はできるか。あきられるのでは？（10 歳代、市内在住）
駅周辺から三桜酒造跡地までのイベント開催（60 歳代、市内在住）
神楽伝承・発表の場が欲しい（70 歳代以上、市内在住）
駅周辺エリアの人通りが少ないので若者が利用しやすい商業施設を増やしたほうがより利用しやすくなると思う（30 歳代、県外在住）

## ■ 9/14（日）出店者アンケート（n=3）

**Q1. 今回の売上金額を概算で結構ですので、お聞かせください。**

A 店：67,000 円

B 店：50,000～80,000 円

C 店：100,000 円

**Q2. 今回の売上又は来客数は、通常と比較してどの程度でしたか。**

A 店：ほぼ同じ

B 店：大幅に多かった

C 店：やや少なかった

**Q3. 今回の出店について、三桜酒造跡地の使い勝手はいかがでしたか。**

A 店：大変良かった

B 店：大変良かった

C 店：大変良かった

**Q4. 今後もこのような機会があれば、参加してみたいですか。**

A 店：参加したい

B 店：参加したい

C 店：参加したい

**Q5. 今回の出店を通じた次の項目について、ご評価ください。**

① 出店ブースの配置

A 店：大変満足

B 店：大変満足

C 店：大変満足

② 会場の広さ

A 店：大変満足

B 店：大変満足

C 店：大変満足

③ 会場レイアウト（ステージ、駐車場、会場出入口の位置など）

A 店：大変満足

B 店：大変満足

C 店：大変満足

④ 会場内の来場者の導線

A 店：大変満足

B 店：大変満足

C 店：大変満足



## 社会実験 2：令和 7 年 9 月 21 日（日） 三桜酒造跡地

○日時：令和 7 年 9 月 21 日（日） 10 時～17 時

○場所：三桜酒造跡地

○内容：(1) イベント

①石州酒まつり

内容：8 酒蔵（県内 7 蔵＋広島 1 蔵）を呼んで酒の魅力を発信

②ホビーマルシェ

内容：ハンドメイド雑貨販売、ワークショップ、射的など家族で楽しめるマルシェを開催（7 店舗）

(2) 単独出店

①フリーマーケット（衣類など）

②県立大学取組 PR

③木工作品等の展示 PR

④SOMPO で学防ッチャ

⑤玄米タコライス・冷や汁販売

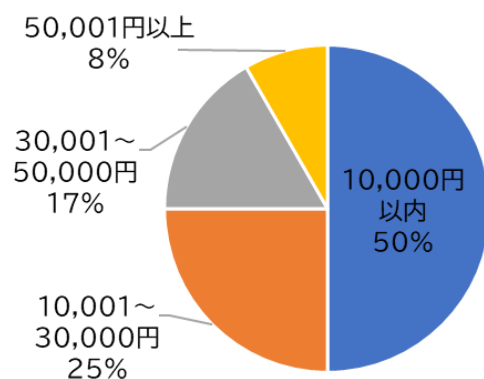
○来場者数：550 人（内訳：石州酒まつり 350 人、ホビーマルシェ他 200 人）



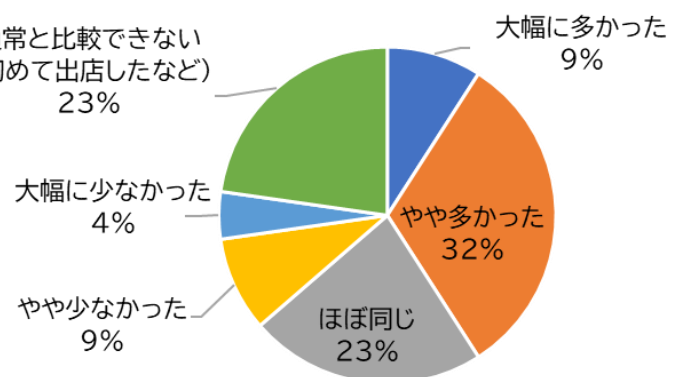
### ○アンケート結果

#### ■ 9/21（日）出店者アンケート（n=25）

Q1. 今回の売上金額を概算で結構ですので、お聞かせください。

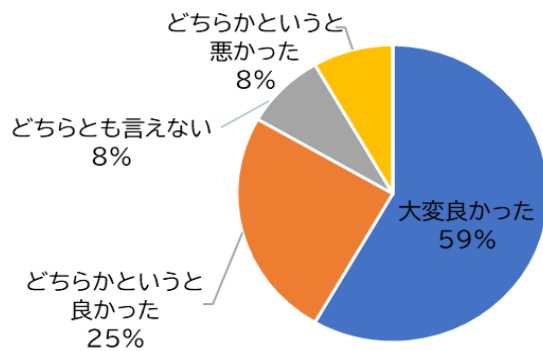


Q2. 今回の売上又は来客数は、通常と比較してどの程度でしたか。

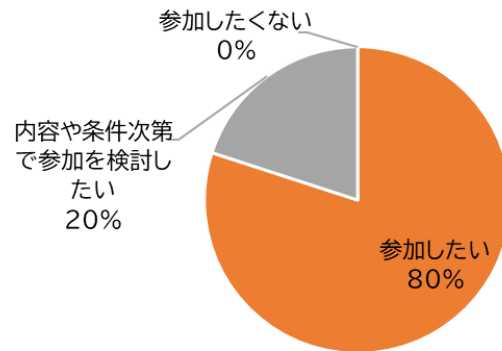


※ 石州酒まつりの各店舗の売上は記載せず、全体の売上として記載

Q3. 今回の出店について、  
三桜酒造跡地の使い勝手はいかがでしたか。

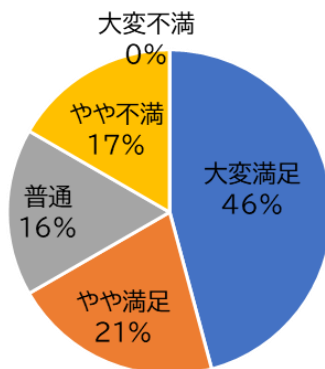


Q4. 今後もこのような機会があれば、  
参加してみたいですか。

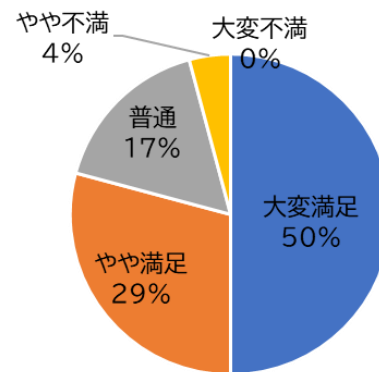


Q5. 今回の出店を通じた次の項目について、ご評価ください。

①出店ブースの配置

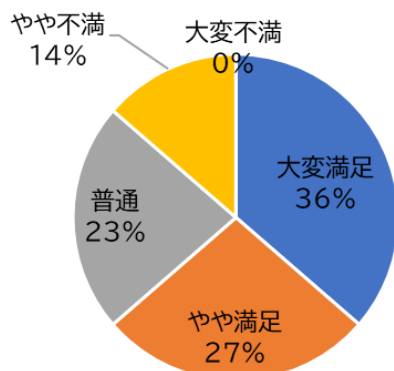


②会場の広さ

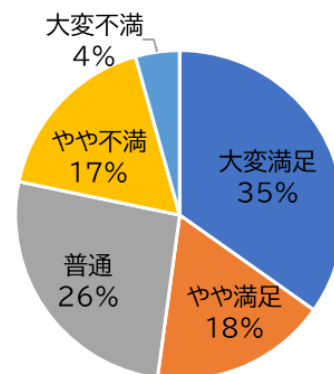


③会場レイアウト

(ステージ、駐車場、会場出入口の位置など)



④会場内の来場者の導線



Q6. 今回の出店を通じて良かった点や改善すべき点があれば教えてください。

午前のはじめ雨が降ったのでその時に雨水がすべて集まる地点だったので大変だった。水のはけは良かった
各ブーススペースを広く設定できたので良かった
風が強い、発動機の位置的にほかの店のコードが自分の前に来る
酒まつりのみの開催が望ましい

大型テントを使用させてもらえたらありがたかった
フリー飲食スペースがもう少し欲しかったです。会場が見渡せてよかったです。酒祭りスペースとは別にほしい。飲食店舗があるのでそれに応じた配置や出店前に声かけがあれば尚うれしかった
私たちは会場の真ん中でやらせてもらったのでとても使いやすかったですが、同時にほかのイベントもあったので区分けせずに一緒に共有してできれば面白かったと思いました
場所はどこからでも見れるので良かった。駅の近くなのでイベントと知らずに立ち寄る方も多く広告、告知以上の来客を感じた
地面の雨水などが流れてきて、出店スペースに水がたまり、使い勝手が悪かった
思ったより広くて何でもできそう
全体的にテーブルやイスを並べるスペースもあり回遊しやすかったと思います
浜田のど真ん中で整備もしており、とてもいい場所だと思う。ステージ、出店十分な広さです。この広さを是非今後に生かしてほしいです
300～400 人規模のイベントであれば使いやすいと思います
休憩スペースもあるのでいろいろなイベントができる広さだと感じた
駐車場が満車になるのが早く、会場のキャパのわりに少ないと感じた
主旨が明確になるようなレイアウトであればいいと思います。今回は酒まつりがメイン？なので今回は今回でよかったと思います。次回以降、キッズとかホビーとかイタリアンとかいろいろとしていただくと嬉しいです。特に私たちの団体としてはキッズ推し。あと音楽は五感的にも必須だと感じました
入口が分かりにくかった
酒祭りだと車で来られる人も少ないのでやりやすかった
雨風にテントが耐えられず商品がとんでいってしまう。入口を決めても皆様自由に入っていくのでイベントの内容によっては難しい部分もあると思う
とてもにぎわっていて盛り上がりを感じたイベントでした
出入口を明確にしたい
同時開催の酒祭りさんとの連携ができておらずお客様がフードを買いたいのに向こうのブースに入れない等不便を感じました。事前にどういったかたちで開催されるのか聞いておきたかったです
自分が使用しているブースでは問題なかったが酒祭りの入り方がお客様がわからなくて困っておられた
よく言えばどこからでも入れるがそれがそのまま課題になる可能性もあると感じた
テントやテーブルが準備してもらえたらうれしい。または、テント立てなどの手伝いがあればうれしい。お酒を飲まない人のドリンク売場が欲しかった
駅近で参加者側としても来やすかったと思う
発電機の位置を変えてほしい
人の流れが良かった。流れが銀天街へ出てほしい
人は集まりやすい地点だと思う。なんのイベントをするかによると思う。酒なので客層が少し固定されていた感じはあった
午前中雨が降ったり、風の影響を受けたりして天候に左右されるので可能であれば大きなホール等建物があれば通年イベントの開催ができると感じます
お客様がどちらのイベントがどの内容かわからずフードを買うためだけに（車のため NO 飲酒）参加料 4000 円を支払い、不満を持たれた方がおられた

雨対策、風対策をしてもらえたらうれしいです。荷物を搬入、搬出の際に車を近くまでつけたらいいと思います。酒祭りと同様開催でしたが各イベントが別物みたいだったのでもう少し動線があればと思いました。風が強い→出店ブースを寄せ集めたほうが影響が少ないのでは。酒まつりエリアとほかのエリアと一緒に浜田を盛り上げられるような工夫（ルール決め etc…）があつたらよかったかもしれない。整地に 2000 万近くかかることを事前に知らなかったのだからわかりやすく説明されていたらよりよいと思った
良かった点：気候が暑すぎず、寒すぎずよかった 改善する点：こまかなルールをもう少し早く告知出来たらよかったかも
昼からのイベントも人が集まることが分かったのでチケット制のいい面は集客ができるデメリットはほかのイベントとの区分けが必要になる
内容はとてもよかった。天気に左右されるのと、川沿いからか風が強いのが気になった。道路沿いで搬入片付けがしづらい
今回は風が強かったので暴風対策や雨対策をもっと徹底してほしいと思う

**Q7. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。**

楽しいイベントをたくさんしてほしい
なにか建物を建てるというよりイベントスペースとして使う選択もありなのではないかと思います
とてもアクセスのよい場所だと思うので、お酒のイベント等、車で来れないようなイベントでも活用できると思います
今後数年はこの状態がいいのでは
ただの神楽館だけでなく、複合施設を建ててほしい。神楽と食事、温泉（足湯）サウナなど人が集まって飲食店へ出てほしい
今後も定期的にこのようなイベント場として、活用されるのがいいと思います
浜田は商店利用のできる大きな会場がないのでこの場所を生かしてそういった施設ができると嬉しいです。中高生の勉強をするスペースも少ないのでイベント利用時以外はそういったスペースにして活用するのもいいなと思います
イベントスペースにしては利便はいいがスペースが狭い 川沿いなので風の影響を受けやすいので突風などに要注意
今ある場所、もの、建物を最大限利用し、簡単に新しく土地を購入しなくてもよいように思う
集客方法が大切だなと思いますので立地はとてもよく使いやすいイベント会場だなと思いました。人が集まりやすい場所で歩いてこられる方も多く、駐車場の問題が 200-300 名規模のイベントであれば気にならないのではないかと感じた。夜もイベントをすると人が集まると感じました。あと喫煙所を決める必要があると感じた
屋内屋外併用で利用できる施設があればいい

## 社会実験3：令和7年9月23日（火・祝） 三桜酒造跡地

○日時：令和7年9月23日（火・祝） 10時～14時

○場所：三桜酒造跡地

○内容：単独出展

- ①健康促進を楽しむ会～フレイル予防～
- ②水高生によるフィッシュレザー小物販売
- ③がんサロン「ほっとサロン浜田」の商品販売及びPR

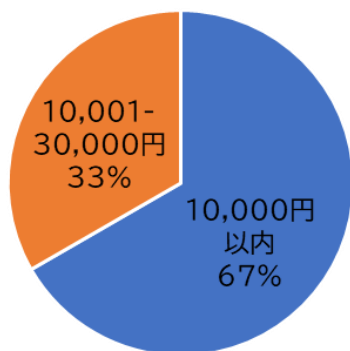
○来場者数：250人



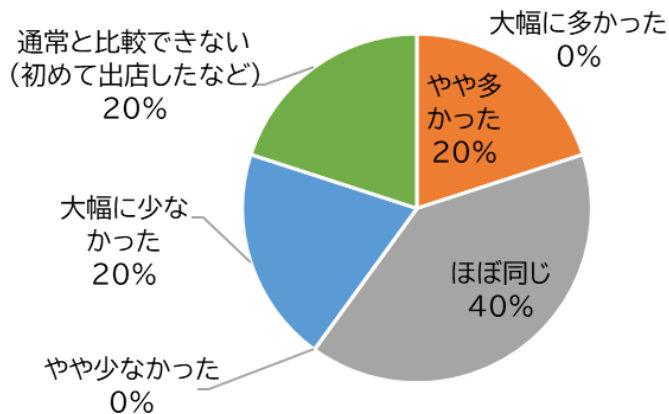
○アンケート結果

### ■ 9/23（祝）出店者アンケート（n=6）

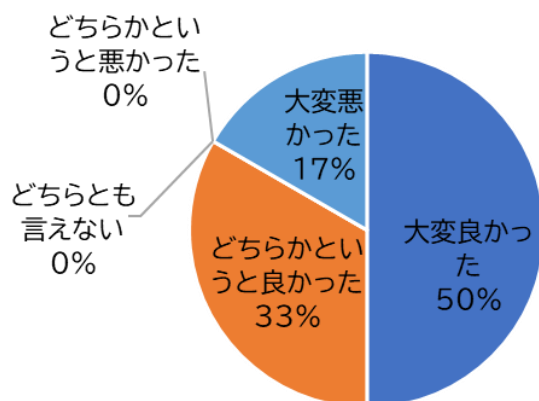
Q1. 今回の売上金額を概算で結構ですので、お聞かせください。



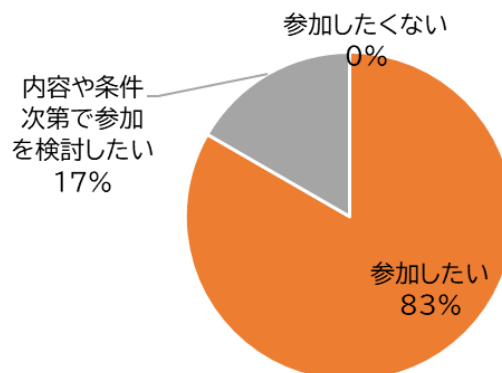
Q2. 今回の売上又は来客数は、通常と比較してどの程度でしたか。



Q3. 今回の出店について、三桜酒造跡地の使い勝手はいかがでしたか。

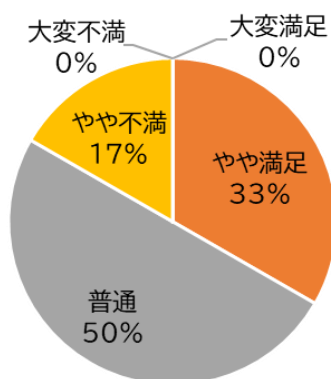


Q4. 今後もこのような機会があれば、参加してみたいですか。

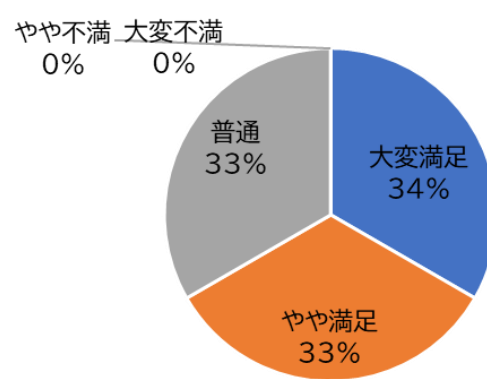


Q5. 今回の出店を通じた次の項目について、ご評価ください。

①出店ブースの配置

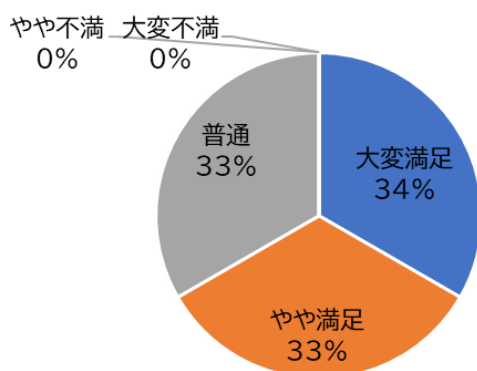


②会場の広さ

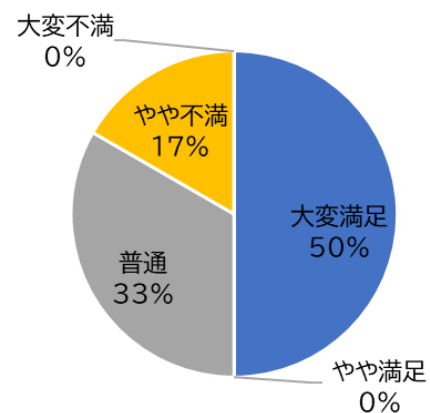


③会場レイアウト

(ステージ、駐車場、会場出入口の位置など)



④会場内の来場者の導線



Q6. 今回の出店を通じて良かった点や改善すべき点があれば教えてください。

広く使えたがもう少し出店者が欲しかった
雨が降りこんできたので中によった
床が斜めで困った。雨で大変だった（下から流れて困った）
丁度いい
こじんまりしたイベントになってよかった
吹き矢体験での会場の囲いなど必要なため、壁が必要
立地条件がいい
フリーマーケットの宣伝はされていりましたか？子供さんたちがたくさん募金していただいたのでとてもうれしく思いました

Q7. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。

イベント広場は必要であり日替わり出店や子供から大人老人など幅広く楽しめる場所としては最高ではないか
今後もこのようなイベントスペースとしてやっていったらいいと思う。または犬のドッグランスペースとか…イベント出店とからめて…
マルシェ的な催しの定期開催など



## 社会実験4：令和7年9月28日（日） 三桜酒造跡地

○日時：令和7年9月28日（日） 9時～12時

○場所：三桜酒造跡地

○内容：単独出展

①黒川2町内もりあげ隊による団子無料配布・レモネードなど

②フリーマーケット（衣類など）

③有償たすけあいシステム「おたがいさま浜田」の商品販売及びPR

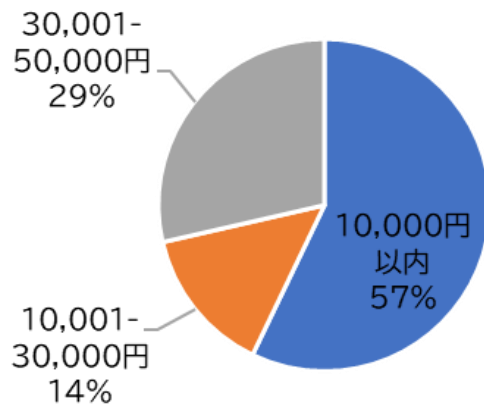
○来場者数：250人



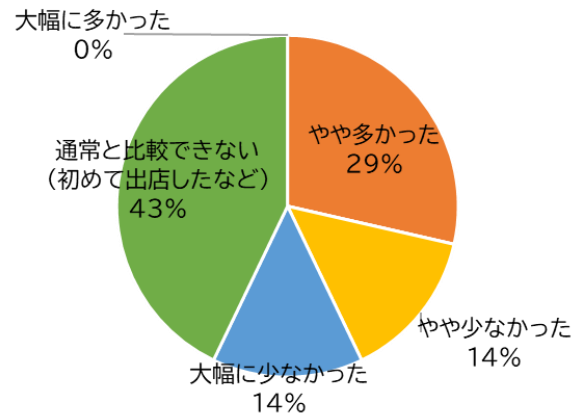
○アンケート結果

### ■ 9/28（日）出店者アンケート（n=7）

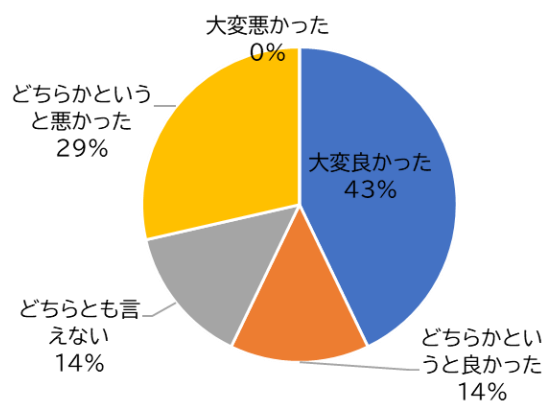
Q1. 今回の売上金額を概算で結構ですので、お聞かせください。



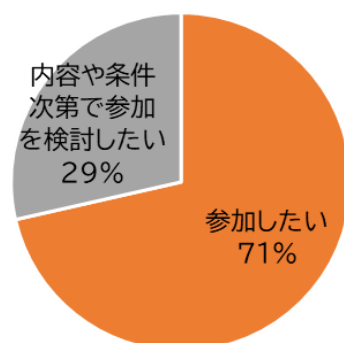
Q2. 今回の売上又は来客数は、通常と比較してどの程度でしたか。



Q3. 今回の出店について、三桜酒造跡地の使い勝手はいかがでしたか。

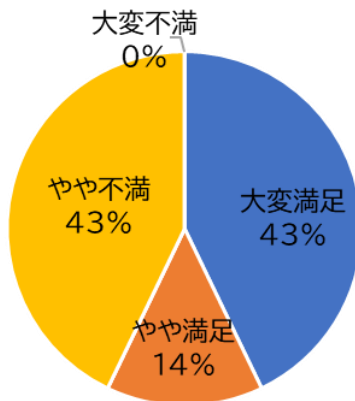


Q4. 今後もこのような機会があれば、参加してみたいですか。

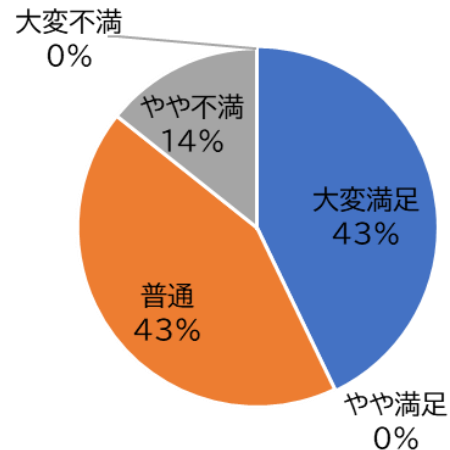


Q5. 今回の出店を通じた次の項目について、ご評価ください。

①出店ブースの配置

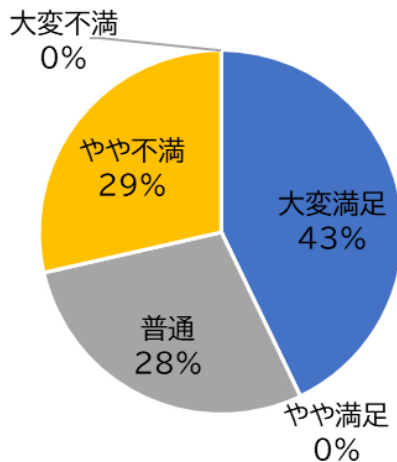


②会場の広さ

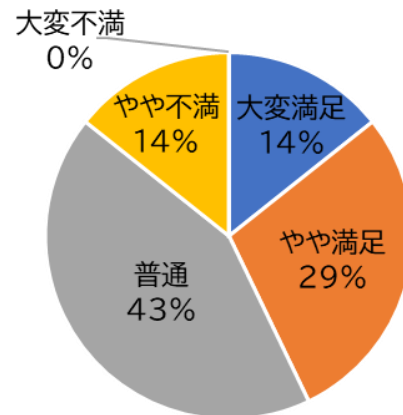


③会場レイアウト

(ステージ、駐車場、会場出入口の位置など)



④会場内の来場者の導線



Q6. 今回の出店を通じて良かった点や改善すべき点があれば教えてください。

自分たちが実施した日の出店数ぐらいがちょうどよかったと思った
主催者側にあらかじめブースの配置を決めてほしかった
開始時は曇り空で大丈夫だったが日が差すと日よけがなくて商品に日が当たり思わしくなかった
駐車場を含めているため、会場の広さはあれ以上広くは求められない
ステージは十分な広さだったと思った。駐車場はやはりプリルや労金、シティパークを使用した人が多いように感じた
もう少し広ければよかった（長机二枚分位）
自分の感想として思ったより来場者があったので良かった
市のHP等でも幅広く周知されて、来場者も多く活気もあり良かったと思います。仮設トイレのチョイスも非常に良かったです！洋式、鏡 Good!!
初めて黒川2町内会として出展させていただき、想像以上に来客もあったし反省点も含めて良い体験をさせていただいた。今後に生かしていきたい
机や椅子は主催者にて準備してほしかった（お客様用）



最初の1時間は来場者が少なかった様なので10-13時の設定で食べ物ブースをもう少し増やして開催してはどうでしょうか
まちなかなので来やすい。駐車場も無料であるので良い。けど無料の駐車があるのを知らない人も多い
もう少し出店位置の事前確保をきちんとしてほしかった
テントの下で出店できてよかったです

**Q7. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。**

子供から高齢者まで楽しめる癒されるような活用をしてほしい
個人的な意見ですが今回のように毎週市民が訪れることができ様々な世代が交流できるような公園としての活用がいいと感じた
そこに行けばなにか楽しいことをやっていると思えるような場所にしてほしい。様々な年代の人が集える場所にしてほしい
資料館は反対です
市民のコミュニティとしての活用を望みます
こういった形で市民の方がイベント等の開催場所披露の場として活用できるといいと思います
このテント、ステージをイベントの時使えととてもいいと思います

## 社会実験5-1：令和7年10月5日（日） 三桜酒造跡地

○日時：令和7年10月5日（日） 11時～15時

○場所：三桜酒造跡地

○内容：BUY 浜田昼市

市内業者による地元農産物や飲食物の販売、ものづくり体験会、ステージイベント（保育園児による BUY 浜田ダンス、県大よさこい、ビンゴ大会など）

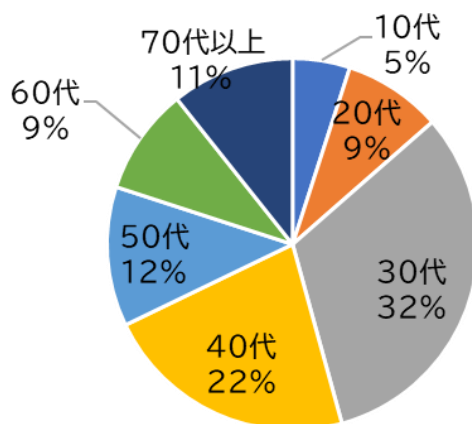
○来場者数：800人



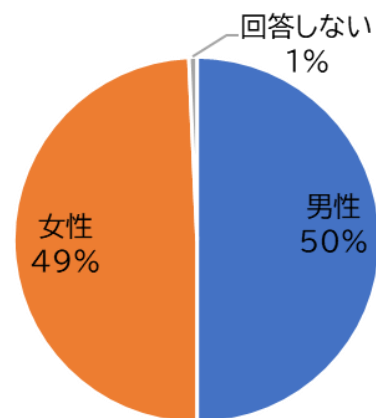
○アンケート結果

### ■ 10/5（日）来場者アンケート（n=140）

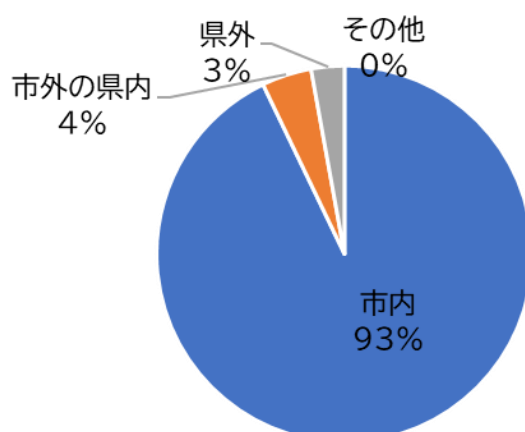
Q1. あなたの年齢をお聞かせください。



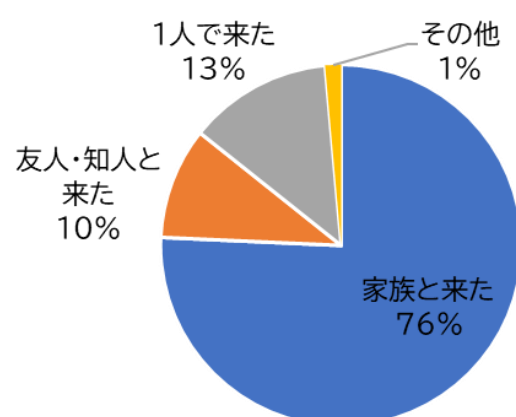
Q2. あなたの性別をお聞かせください。



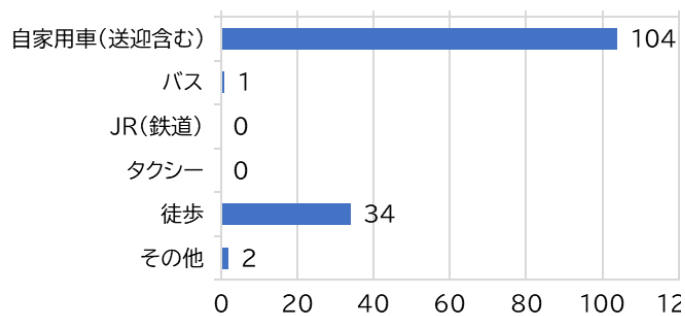
Q3. どちらから来られましたか。



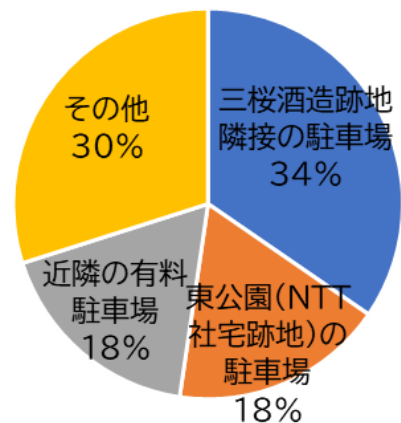
Q4. 誰と来ましたか。



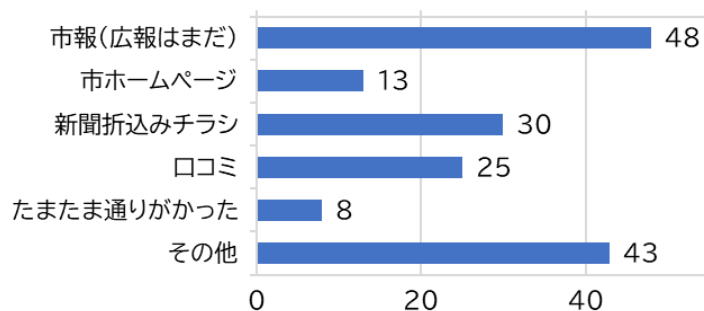
Q5. 本日、利用した交通手段は何ですか。  
(複数選択可)



Q6. (Q5で「自家用車」と答えた方へ)  
どこの駐車場を利用しましたか。

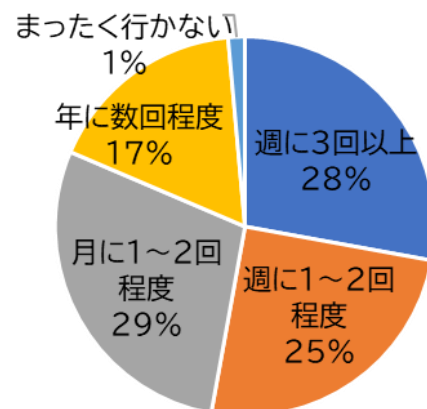


Q7. この社会実験は何で知りましたか。  
(複数選択可)

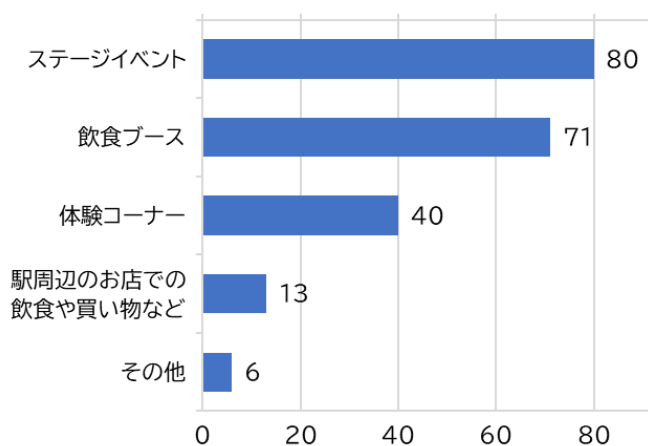


<その他の意見> 保育園からの案内など

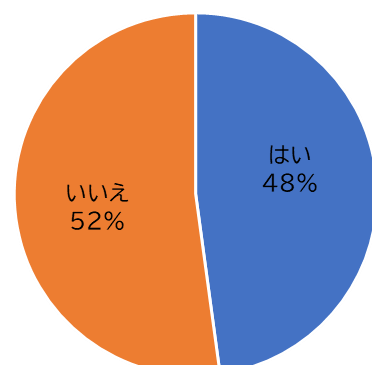
Q8. 浜田駅周辺にはどれくらいの頻度で訪れますか。



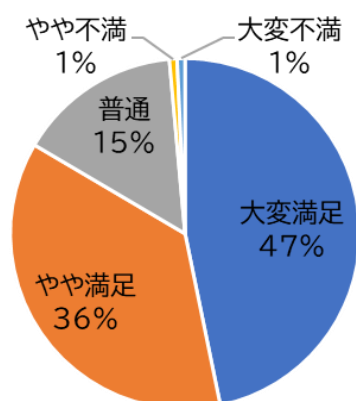
Q9. 何を目的に来ましたか。(複数選択可)



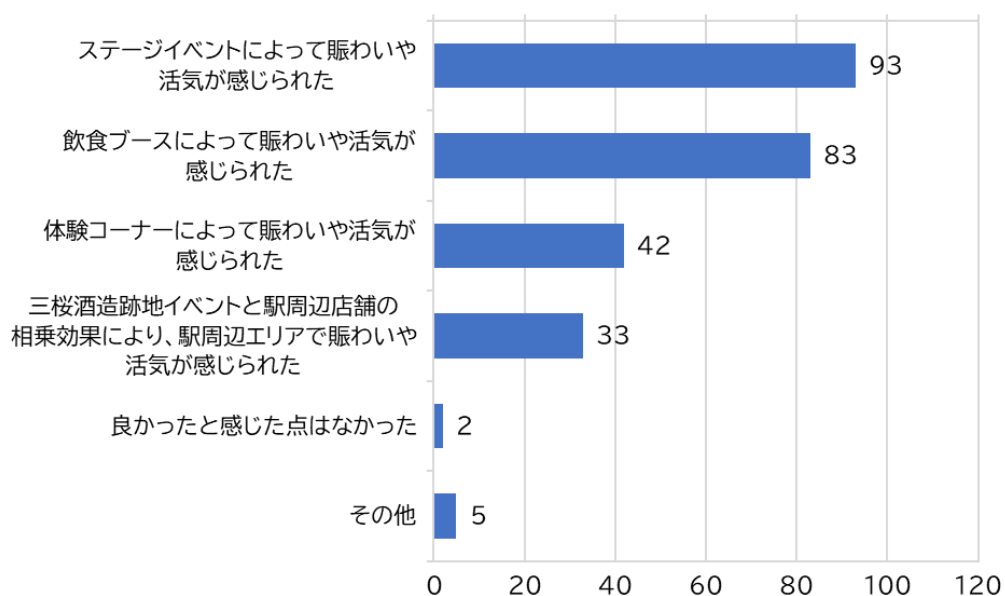
Q10. 駅周辺のお店にも立ち寄りましたか  
又は立ち寄る予定ですか。



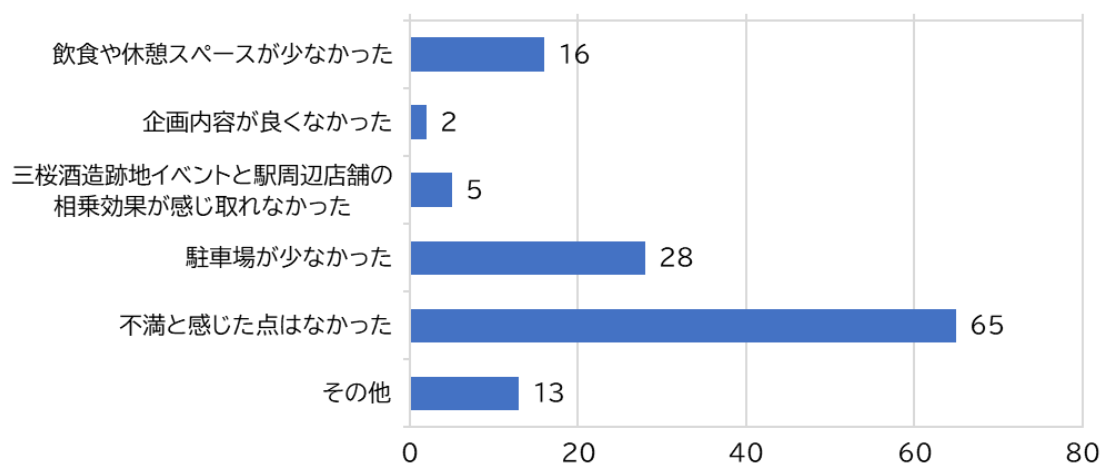
Q11. 今回の企画について、あなたの満足度をお聞かせください。



Q12. 特に「良かった」と感じたことはありますか？  
(複数選択可)

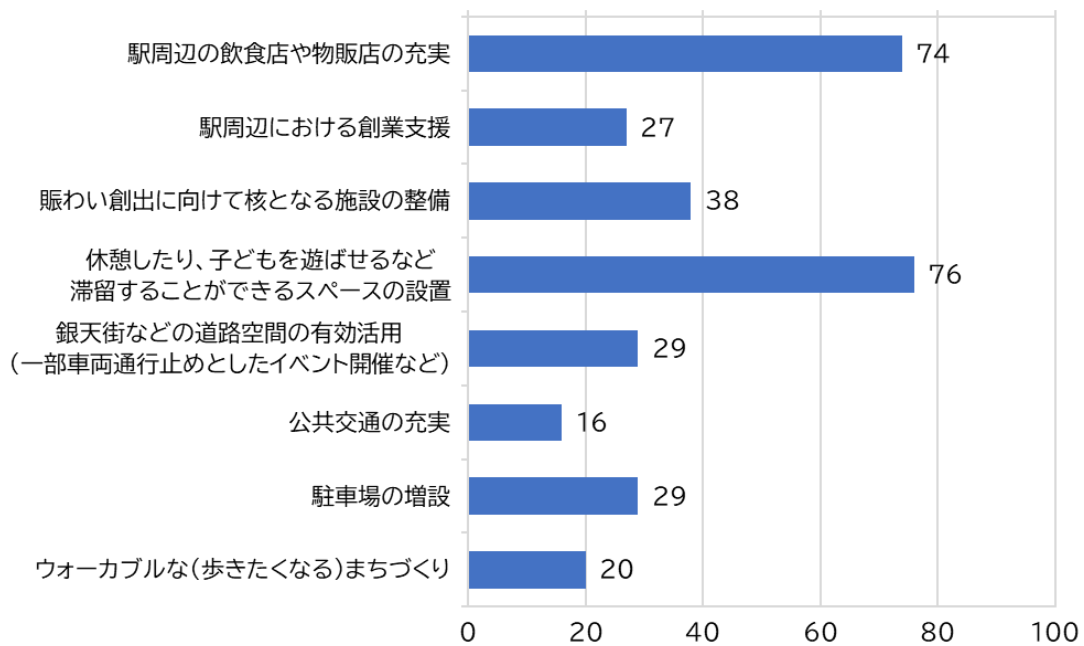


Q13. 特に「不満」だと感じたことはありますか？  
(複数選択可)



Q14. 浜田駅周辺エリアで賑わいをつくるために、今後どのような取組が必要だと思いますか。

(複数選択可、または自由記述)



【Q14. 自由記述】

市民の意識が高まるよう、啓蒙活動が広まるといいと思います (70 歳代以上、市内在住)
交流プラザではない学生による学生のための居場所 (20 歳代、市内在住)
若い人が遊ぶところ (30 歳代、市内在住)
暑いのでもう少しテントをつけてほしいと思いました (40 歳代、市内在住)
民間に売れ (60 歳代、市内在住)
テナント料を下げて、学生運営店を増やす。毎週歩行者天国にしてビアガーデン (40 歳代、市内在住)
学生 (中高生) の居場所が交流プラザとかではなく、あるといいと思う。居酒屋ばかりで学生が来にくいと思う。フードプレイス的な楽しめる場所 (20 歳代、市内在住)
飲食 (コーヒーなど飲める) できる店などほしい (70 歳代以上、市内在住)

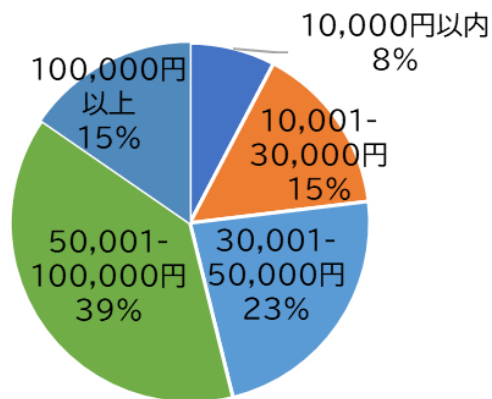
Q15. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。

神楽殿など問題がありますので皆さんの意見を聞いて少しでも浜田市が活性化されるといいと思います (高齢者のためにも) (70 歳代以上、市内在住)
インフラの整備。学生を巻き込んだイベントや居場所。交流プラザでは今のままでは勉強スペースのイメージ (20 歳代、市内在住)
民間活力で (30 歳代、市内在住)
石見神楽の施設 (70 歳代以上、市内在住)
子供が気軽に入れる場所・店 (40 歳代、市内在住)
会場周辺で何をされているかわかりづらい。賑わい、活気が遠くでも感じられていいなと

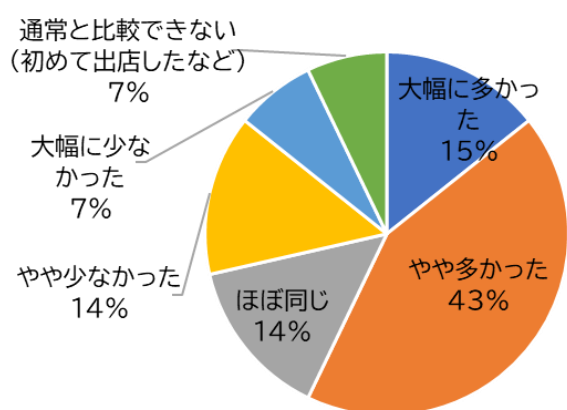
思った（40 歳代、市内在住）
早く三桜跡地にイベント広場や石見神楽の施設を作ってほしい（70 歳代以上、市内在住）
周りの店とコラボ（40 歳代、市内在住）
高齢者が楽しめる催しもあればいいと思いますけど（70 歳代以上、市内在住）
次回も楽しみにしています（70 歳代以上、市内在住）
子供や若者の参加型イベント（50 歳代、市内在住）
普段から行くような仕組みがあるといいなと思う。飲食店ではなく、ちょっと休日に遊べる場所（20 歳代、市内在住）
複数の飲食テナントとイベントスペースの複合施設化を希望（30 歳代、市内在住）
イベントがない日も子供が遊べるスペースであると嬉しいです（30 歳代、市内在住）

## ■ 10/5（日）出店者アンケート（n=14）

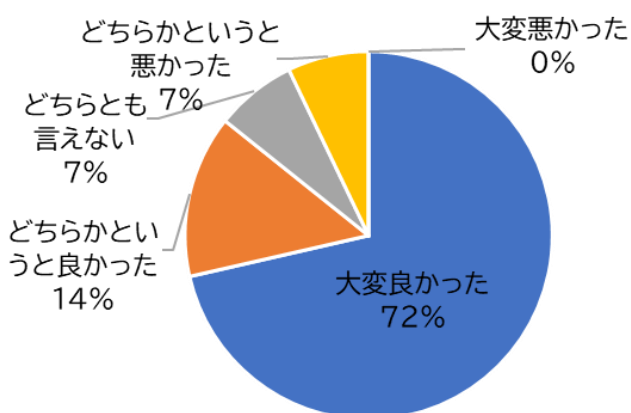
Q1. 今回の売上金額を概算で結構ですので、お聞かせください。



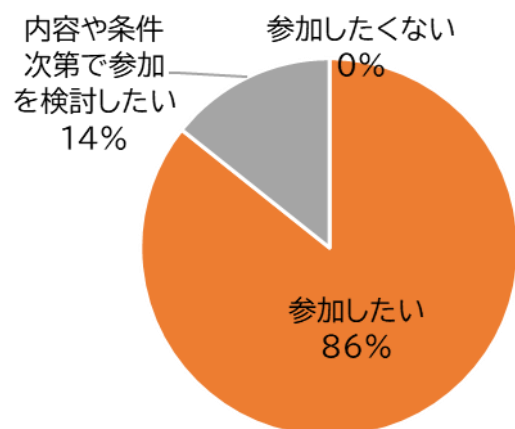
Q2. 今回の売上又は来客数は、通常と比較してどの程度でしたか。



Q3. 今回の出店について、三桜酒造跡地の使い勝手はいかがでしたか。

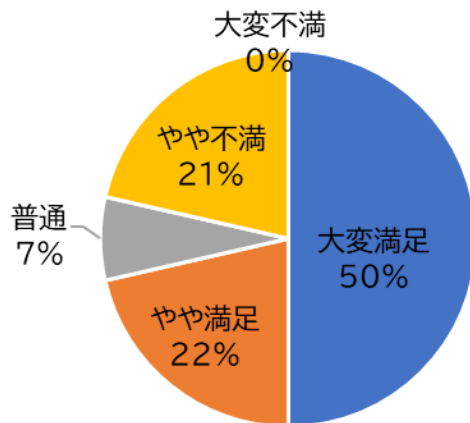


Q4. 今後もこのような機会があれば、参加してみたいですか。

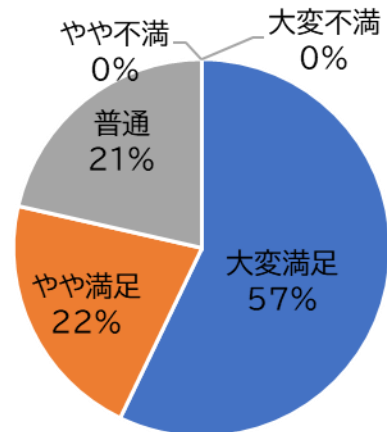


Q5. 今回の出店を通じた次の項目について、ご評価ください。

①出店ブースの配置

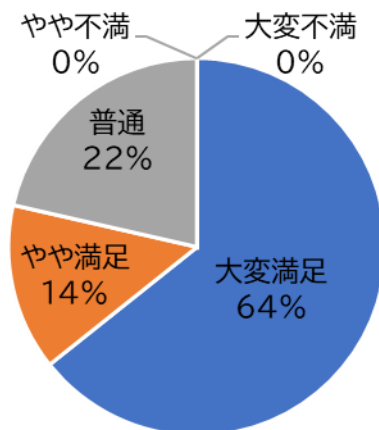


②会場の広さ

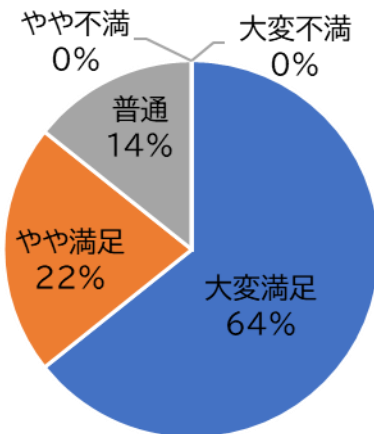


③会場レイアウト

(ステージ、駐車場、会場出入口の位置など)



④会場内の来場者の導線



Q6. 今回の出店を通じて良かった点や改善すべき点があれば教えてください。

キッチンカーは並びに入れないでほしい
ブース（テント）が狭かった。電気、水道が使えればよかった
水たまりがあった
太陽があたって（午前中）商品が温まってしまった
1000 人規模のイベントができると感じる
一般の人の駐車場がもう少しあればよかった
道路が混雑していなかったのも場所はいいと感じた
まんべんなく回れる良い動線だと感じた
ダンスの時の音響が大きすぎてお客様との注文が聞き取りにくかったです
テーブルとイスを借りられたこと テントを借りられたこと
出店する側としたら電気、水道が使えたらよかった
水道が欲しかった
出展料がなかったことによりお客様に安く提供することができた
思った以上にお客様が来られて途中対応しきれない所もあったが、楽しんでもらったので

良かった
食べ物温かくていいものよくないものがあるのでその辺も考慮してもらいたい
無料で遊べるものも多くとても満足した
年間通して過ごしやすい期間が難しくなっているので外のイベント会場は難しいと感じる
最初なのでまだ？ですね

**Q7. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。**

皆が使えるイベント広場として活用できるといいと思います
イベントを行う場所としていい場所だと感じました。今のまま今後も利用していくのがいいと思いました
イベントをもっとやってほしい
市民が集う場所にしていきたいです
クリスマスマーケットのようなものがあると面白いのではないかと感じた
こういう形で今後も活用できたら賑わい創出につながると思う
学生のためのイベントがあるとよい。学生の居場所が欲しい。交流プラザは勉強するスペースになっているため使用しにくい
やはり建物、日陰が欲しい。風も強いとテントが飛んでいくので不安な部分もあった
人が流動するのはとてもいいように感じます



## 社会実験5-2：令和7年10月5日（日） 石央文化ホール

○日時：令和7年10月5日（日） 16時～17時

○場所：石央文化ホール

○内容：お宝さがし！in 石央文化ホール

浜田駅周辺エリアに立地する石央文化ホールが自主事業として、館内を探索し、ヒントを手掛かりに景品を探す「宝さがし」を実施。景品は銀天街の店舗にも提供してもらうなど、駅周辺店舗と連携した取組を実施。

○参加者数：92名（33組）



## 社会実験5-3：令和7年10月5日（日） まちなか交流プラザ

○日時：令和7年10月5日（日） 11時～15時

○場所：まちなか交流プラザ

○内容：モルック体験会

浜田駅周辺エリアに立地するまちなか交流プラザが自主事業として、年齢や性別を問わず楽しめる軽スポーツ「モルック体験会」をはまだ協働学舎ファンタスの学生サポーター主催で開催。モルックの普及とともに、地域交流も行った。

○参加者数：24名



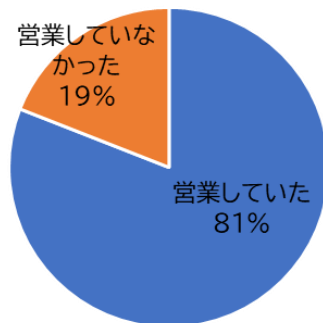
## 浜田駅前銀天街協同組合の取組

社会実験期間中、銀天街に三桜酒造跡地で開催されるイベントのポップ広告を掲示し、PRを行った。

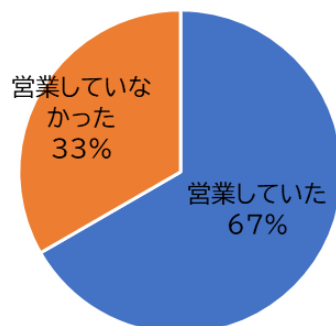


## 周辺店舗アンケート（n=21）

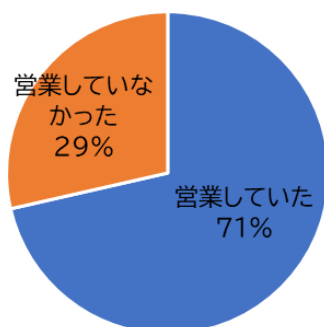
Q1. 9/14（日）の17-22時の間に  
営業していましたか



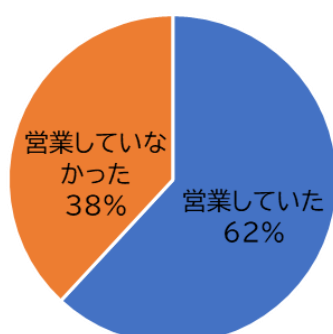
Q3. 9/21（日）の10-17時の間に  
営業していましたか



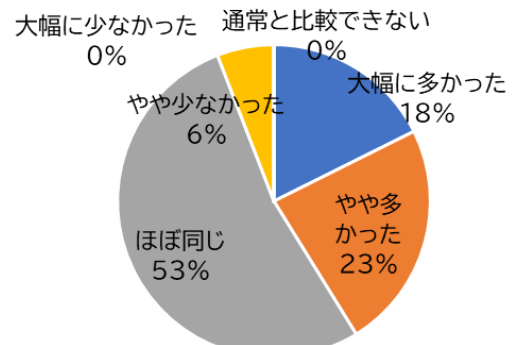
Q5. 9/23（祝）の10-15時の間に  
営業していましたか



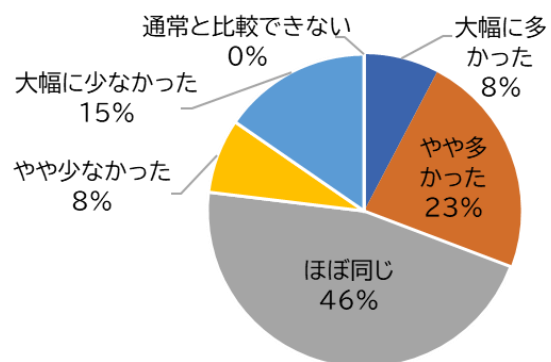
Q7. 9/28（日）の10-14時の間に  
営業していましたか



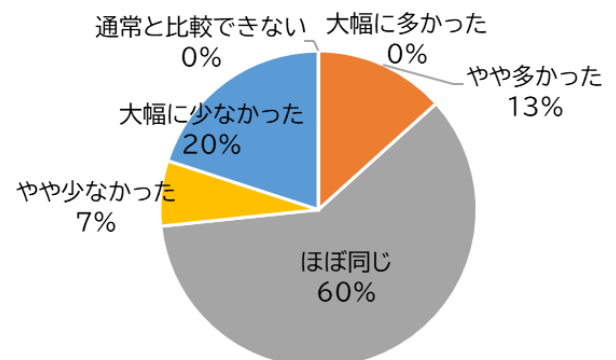
Q2. 9/14（日）の貴店の売上や来客数は通常の  
祝前日又は土曜日と比較してどの程度でしたか



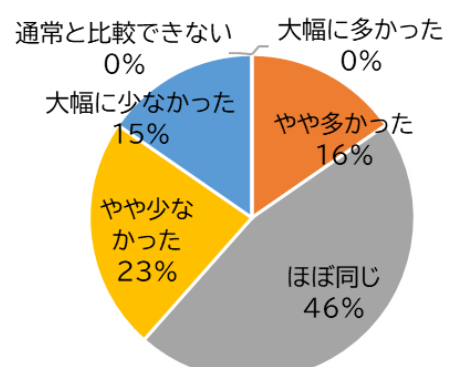
Q4. 9/21（日）の貴店の売上や来客数は通常の  
祝前日又は土曜日と比較してどの程度でしたか



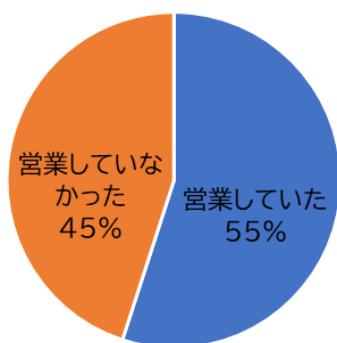
Q6. 9/23（祝）の貴店の売上や来客数は通常の  
祝前日又は土曜日と比較してどの程度でしたか



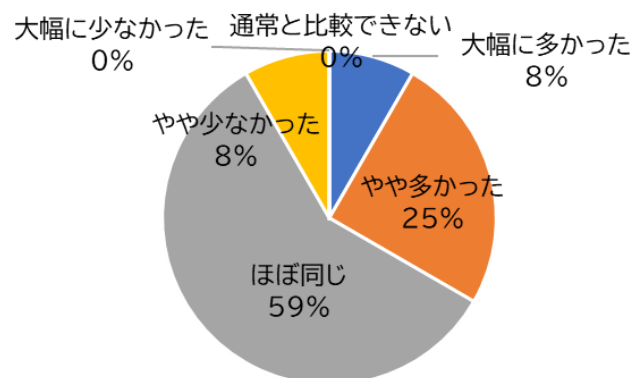
Q8. 9/28（日）の貴店の売上や来客数は通常の  
祝前日又は土曜日と比較してどの程度でしたか



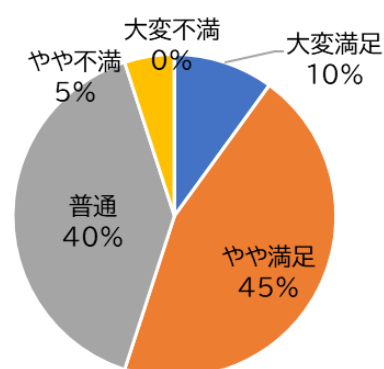
Q9. 10/5（日）の10-17時の間に  
営業していましたか



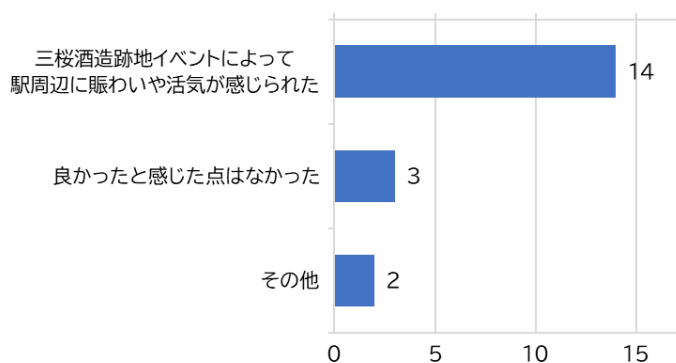
Q10. 10/5（日）の貴店の売上や来客数は通常の  
祝前日又は土曜日と比較してどの程度でしたか



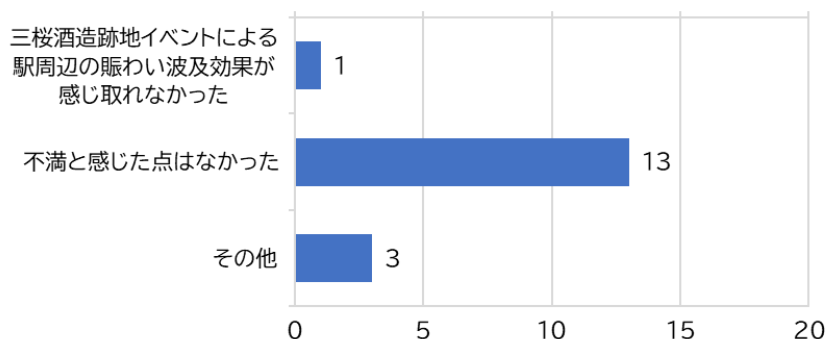
Q11. 今回の社会実験（5日間）の満足度を教えてください



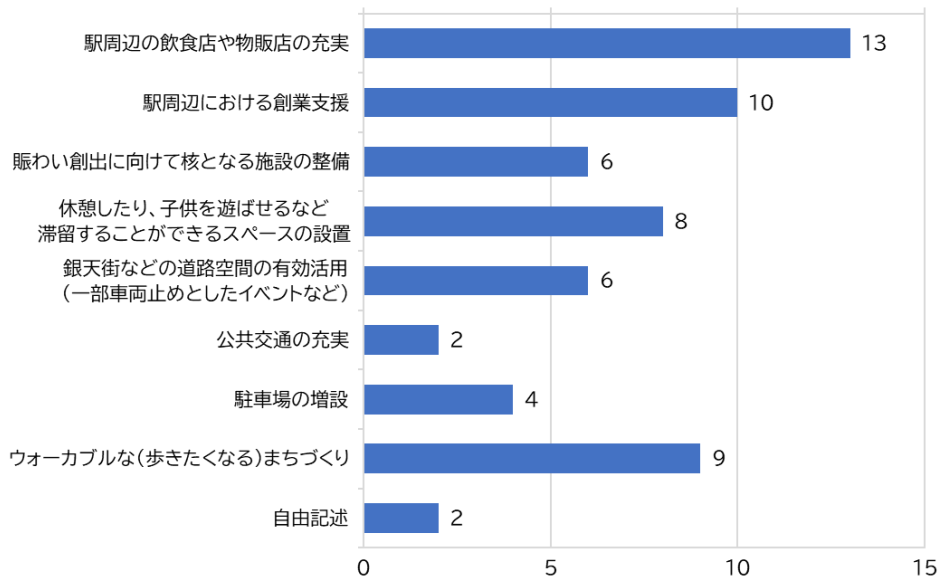
Q12. 特に「良かった」と感じたことはありますか？（複数選択可）



Q13. 特に「不満」だと感じたことはありますか（複数選択可）



Q14. 浜田駅周辺エリアで賑わいを作るために、今後どのような取組が必要だと思いますか（複数選択可）



【Q14. 自由記述】

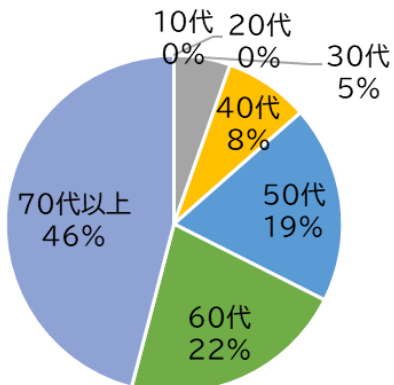
古いと新しいの両方があるきれいな建物があるまちなみづくり、駅降りて活気が見える空気感
若い世代の人口増加の取り組み
銀天街の屋根がボロボロで、見た目の清潔感がないので取るか、新しくするか
既存の駐車場があるのでイベントをすれば歩く人が増える。車はいらないと感じるまでは時間がかかる。駅周辺が賑わえば必ず離れた場所も賑わいが生まれる

**Q15. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。**

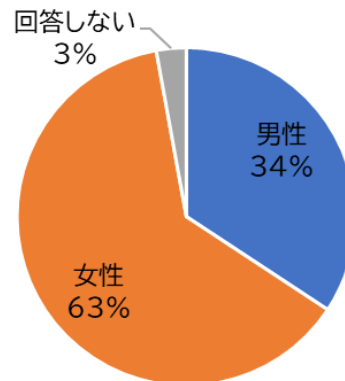
新聞他のニュースで活気良くイベントが実施された・・・等の報道を聞き、良かったという感想を持っています
駅周辺の飲食店は日曜定休が多い、平日に小さなイベントでもよいので開催することが望ましい
県大生の活躍の場、地元の各団体・商店などの出店の場が増えることはいい
酒造跡は駅に通ずる流れを生む最高の立地と実感しているので、複合的な建物を望む
ある程度は致し方ないですが自店の駐車場を使われるお客様が多かったので、イベント専用駐車場への誘導が課題だと思われました
スタンプラリー的なものとかでお店を利用しながら、跡地へ行くなどのグローバルな活動も必要かもしれません
毎日誰かしらが足を運ぶような店、川沿いを散歩できるよう一体感ある駅周辺あわせたまちを作る。単独は必要ない
定期的に今回のようにイベントの開催（キッチンカー、B級グルメ、屋台などの食べ物、神楽など）
イベントには行ってみましたが、にぎわっていて良かったです。
三桜跡地は神楽を主とした施設が必要。神楽ホール、神楽が体験できるもの！
多目的使用できるレイアウトを想像し空き地を半分以上残した建築物にしてほしい。建築物について未定。
今までやったことがないこと、もの、イベントをどんどん取り入れて、とにかく続けていくことが一番大事！
浜田駅前銀天街協同組合が、平成10年・11年にわたって、商店街の愛称を石見神楽をコンセプトに「銀天街どんちっちタウン」として再整備をして、石見神楽を前面に押し出したシンボルアーチ、神楽紹介の電飾看板、神楽モニュメントの設置等、また夏には大蛇16匹による「エキサイティング大蛇」を開催してきました。その後、石見神楽からくり時計が駅前広場に設置されたり「どんちっち」という言葉が浜田のあちらこちらで使用されています。浜田はやはり、多くの市民が石見神楽が好きで楽しんでいて、神楽大会があると多くの市民が集まります。浜田駅から、三桜酒造まで、歩いて楽しい道として再整備が必要だと思います。特にアーケードが設置されていない場所からは、街路灯（防犯灯等）もなく、歩道も昔のままのアスファルトです。また縁石もかなりいたんです。駅から歩いて、石見神楽伝承館（三桜酒造跡地）まで、石見神楽を楽しめる通りに整備してほしいです。銀天街は買い回り中心のお店が多くあり、それなりに、商業核でしたが、今では小売物販店も少なくなり、ホテルや、飲食店、スナックラウンジが中心となっています。「どんちっちストリート」としての再整備を要望いたします。その際、イルミネーションが街路樹に簡単に付けられるよう、電源の整備もお願いいたします。
毎週イベントがあると賑わっていいと思います

## 周辺住民アンケート(n=37)

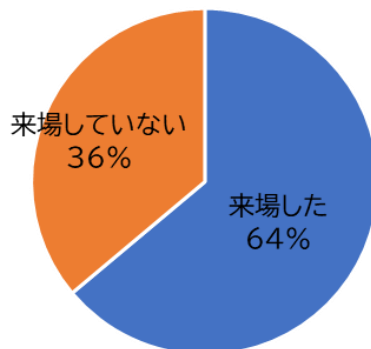
Q1 あなたの年齢をお聞かせください



Q2 あなたの性別をお聞かせください。



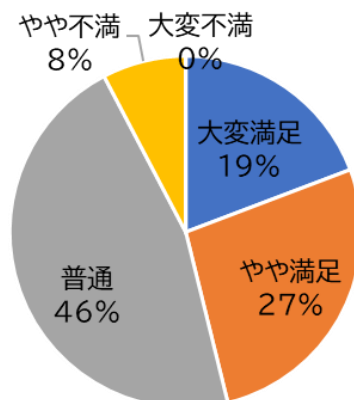
Q3 今回の社会実験期間中、三桜酒造跡地の会場に会場に来場されましたか



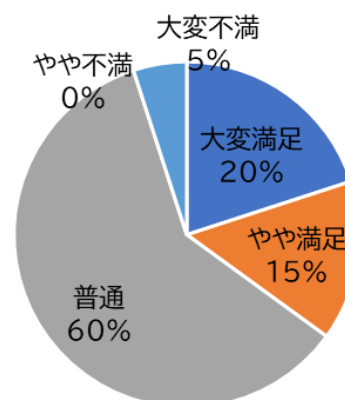
Q4 今回の社会実験について、イベントごとに以下の項目の評価をお願いします。

①9/14（日）18-21時 まちなか夜神楽

イベント内容



時間帯



その他自由記述

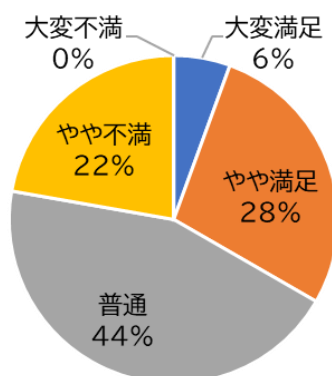
県外、市外に住む家族を誘った。とても喜んでた
そもそも神楽は神社で神に奉納するもので、それが民衆の中で演芸といった部分として発展してきたもの。神楽殿は必要なし
神楽を楽しみに参加したのですが、神楽を見に来る人ではない方々もいられるので、おることができませんでした。神社で見るものだとやっぱり思いました
神楽はやはり夜のほうがいいと思いました



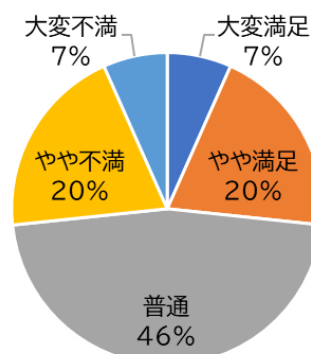
神社、イベント会場で行われているので町中では必要なし。周辺は学校民家です
たくさんの方が来場されていました。観光客はどのくらいおられたのかわかりません。地域の方が多かったのではと思います。屋外ステージでの上演でも音は不快には感じられませんでした
子供は神楽大好きだから、時間帯いちばいい浜田市夜イベントあまりないので夜楽しいことあれば最高です。
浜田の人は神楽は大好きなのでよかったのではないのでしょうか。野外であるのが良かった。神楽シアター（箱物）はいらない
スピーカーの位置を考えられたのか近所でもほとんど音はほとんど聞こえなかったとの声が聞かれました。小中学生も大勢きて、よかったと思いますが、キッチンカーが少なく、すぐに売り切れもあったのは残念でした。
神楽の音が予想外に小さかったので騒音にならなかったと思います
近隣住民ですが（民家多数あり）家にいると音がうるさい！！イベントするとある程度集まるのは当たり前です！！
駐車場が少なく、石見文化ホール等での公演がいいのでは

## ②9/21（日）10-17 時 石州酒祭り、ホビーマルシェ

イベント内容



時間帯

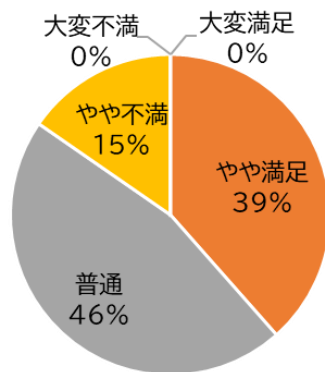


その他自由記述

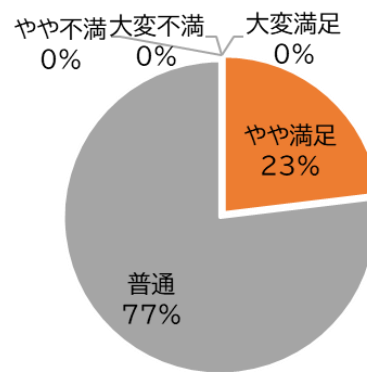
お酒の種類が少ない
午後だけでは足りない気がした。神楽も一緒に見たかった
早くから来た方がずっとテーブル席に居座られ、後からきた方は居場所がなかった
イベントをするとある程度集まるのは当たり前です！！
（行っていないが）お酒を楽しむなら運転ができないので集客ができないのではないかなと思う
お酒のイベント、この地域外の方は、交通手段がなく行きたかったが諦めたという方もおられたようです。自分は通っただけで参加しませんでした。興味ないので。
酒は高い、昼から酒飲めない。現金忘れ人、時間無駄、食べ物も少ない
まったく行っていないのでわからない
参加はしていませんが、3000 円の券が、当日は 4000 円だったので行かなかったとの声あり せめて 3500 円までと思いました
お酒を飲まれる方は楽しめたかもしれませんが、子供連れの方は時間をつぶすのに大変だったろうと思います

③9/23（祝）10-15時 健康促進を楽しむ会 水高生の小物販売

イベント内容



時間帯

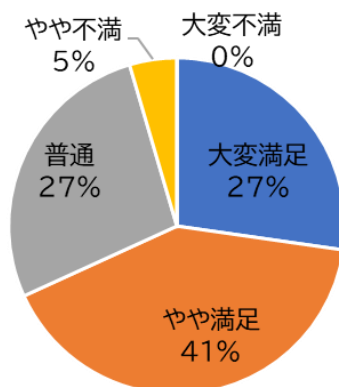


その他自由記述

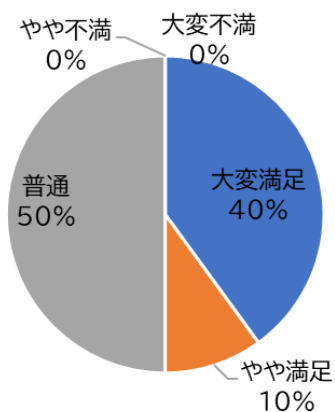
高校生らしく工夫を凝らし、考えてやっていると感じました
イベントをするとある程度集まるのは当たり前です！！
行っていません。他の用と重なった為ですが行ってみたかったです
都合悪く、来場できませんでした
まったく行っていないのでわからない
リーズナブルな値段で売られていたので今の物価高の時代にとってはありがたいと思いました

④9/28（日）10-14時 黒川2町内もりあげ隊の団子無料配布・レモネード

イベント内容



時間帯



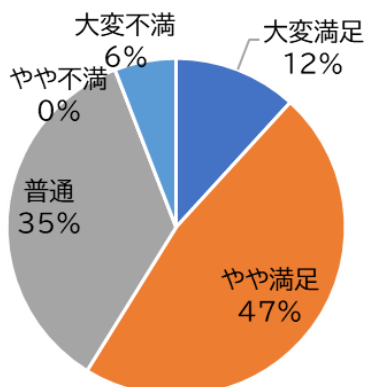
その他自由記述

レモネードは良かった
一つの町内だけでこれだけバラエティーに富んだ企画ができたと感じました
子供たちに楽しんでもらいたい。子供のための募金を行い、お客様から元気をもらった。販売する品物は、周りのお店と相談が必要
ボランティア募金、消防の救命良かった。イベントをするとある程度集まるのは当たり前です！！
もりあげ隊の方々が頑張っておられました。イベントとしてはどこで並んでいいのか。呼び込みの方や、看板等あれば良かったと思います。フリーマーケットがたくさんあったら良かったのでは・・・

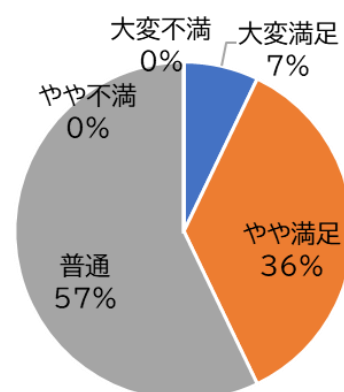
団子無料配布が時間通りに始まらず、どこに並べばよいかわからなかった。誘導や声かけはしっかりしたほうがいいと思う
入口がどこなのか不明で、ウロウロしてしまいました
水道設備が整っていないのと食べ物など提供するのに不便と感じた
周辺の施設を利用された方、お買い物帰りの方も立ち寄って来場したという方がありました。小さな子供からご高齢の方までたくさん来られていて良かったです。レモネード運動など、チャリティの場もよいですし、地域を盛りあげ隊（たい）という住民参加は大切だと思います
団子良かった。町内の人やさしい声かける。レモネード売れた金を医院の子供たち寄付すること。休日の大切な時間町内人汗かいて頑張っていた、素敵。
親子連れ、年配の方も多く、にぎわっていた。
団子無料配布に参加しました（当日のみ）盛り上げ隊の方の準備、当日運営頑張られました。当日は最初は行列ができるほど大忙しでしたが、途中からは、表示がなくてどこでやっていたかわからない人もおられたようです
子供たちにとっては有意義な時間だと思いました。楽しかったという声を聞きました！

#### ⑤10/5（日）BUY 浜田屋市ステージイベントなど

イベント内容



時間帯



その他自由記述

浜田の食材を使ったメニューで購買意欲が増した。ステージも楽しめた。浜高合唱部など来場していないのでわからない
市民が参加できるイベントだったので良いと思います
チケットがなければ急に行っても買わない
行ってみたかったです
いろんな屋台？キッチンカー？が来ていて新鮮でした。また、駐車場スペースが少ないと感じました。（道路の渋滞にもなりますので・・・）

Q5. その他、浜田駅周辺エリアの賑わい創出や三桜酒造跡地の活用に関して、  
ご意見やご要望がございましたらご自由にお聞かせください。

食やイベントを定期開催すればいいのでは
飲食やイベントができる場所にしてほしい。例：月一日曜キッチンカー、月二日曜市民の店などなど・・・



将来的にも継続できる賑わい創出に市民参加のものが今までなかっただけにある程度インパクトはあったと思う。今後も検討をお願いしたい
三桜跡地でのイベント中の賑わいを遠方より察した程度ですが結構なことと感じました
毎週末、キッチンカーや飲食のイベントをしてほしい。必ず食のお店がある事！ファストフードを誘致し、店外にテーブルやイスを設置して誰もが気軽に休める場所を作る
建物を建てずに、市民の発表の場、地元の食材を使った飲食イベントを開催できる場にしてほしい。テント良かった。
市民が出店する側も、お客さんも楽しめる場所にしてほしい。子供が自由に遊べる場所も欲しい賑わいを考えるなら、全国チェーンを集めて集客すれば雇用並びに税収増になると思う！！マンションでもOK（固定資産税）新聞によると三か所予定、神楽伝承館はつくってもいいがこの場所は違うと思う！！雇用につながらない、高校、大学、市民のこと、市の繁栄を考えてほしい、もったいない。賑わいは生まれない365日集客が見込めない（週末だけでは意味がない）！！このままだと出雲、益田、江津に客が流れると思う！（高速が全線開通になれば特に！！）企業に五年ぐらい税金を免除してでも市の力で誘致してほしい。できなければ民間に任せるべきだともう（売却）、税金の垂れ流しになるよ！！（例、丸亀製麺、スターバックス、ケンタッキー、マクドナルド、はま寿司、アパホテル、リンガーハット、ココ壱番屋、ユニクロ、スシロー、スカイラーク、吉野家、ニトリなど）食べる場所は集客が見込めると思う
ゆっくりご検討ください。もう少し社会実験を続けてください
土地を民間に売却して、浜田市民が本当に求めるものが与えられるものに活用して欲しい。益田まで、あるいは大田、出雲まで足を伸ばして、お金を落とすぐらいなら、浜田で買い物や食事をしたい。魅力的な店がすくなくすぎる
夜神楽の時に、駐車場がなかったのだと思いますが、周辺店舗に停めている方がいました。それは別にいいのですが、そこで座り込んで騒いでいる方がいました。イベントもするということは、そのように、若い騒ぐ方々も来場されるということも考えてください。危なくて子供やお年寄りには外に出す事ができません
黒川町内に住んでおり、何か協力できれば良いとは思いますが仕事や家庭の事情でお手伝いしていません。またこんな機会があり、お声がけいただければ、予定を見て協力できるかもしれません。私のような世代は、わざわざ行こうとは今回思いませんでした。どのような方がどこから何を目的に、お出かけになったのか様子がわかるといいです
今回の実験では何を検証しようとしているのかの説明がされていないと思う。周辺の商店の売り上げが相乗効果で上がることを期待したのか、バスや鉄道の利用者が増えたり混雑が生じさせたりすることをどのようにとらえているのか
観光客ではなく市民が（子供から大人までの）集えるような活用を市民参画で丁寧に対話しながら、ご検討ください。神楽殿（ハコモノ）がなくても市民が集える場所となれば、浜田市全体としてのメリットは大きいと思います。建物としては石見まちづくりセンターと郷土資料館を検討するのなら理解できます。フリースペース、レンタルスペースなど市民のやりたいことが実現する空間もあると面白いかと思います
浜田駅周辺何もない状態。子供と親ゆっくり休日時間いられる場所ほしい。三桜酒造跡地広い。川もある公園してほしい。浜田は川多いので、全然利用してない。綺麗にして、川の遊びと、さくらまつりなど考えたらいろいろできると思いました
神楽シアターは絶対不要。樹木と親水池のある公園が欲しい。夜神楽を演じられる屋外ステージや若者が集うスケボーパークがあればいい
このたびのようにイベント広場として時々活用し、水道トイレを整備して公園にしたらと思いますし、そのような意見を多く聞きます。また浜田川沿いを使って図書館と繋がるような活用、カフェやお店など人が集える場としての活用がいいと思います（これも多く聞きます）

<p>少子高齢化が目に見えて進んでいます。なるべく子供たちが楽しめるものを作ってほしいです。たとえば公園など・・・ 難しいとは思いますが一意見として</p>
<p>跡地の方向性は計画で進められているのになぜこのようなアンケートを求めるのか。三桜酒造を購入する時点で市が購入 議会で何度も問題にしていたことですが、今更意見収集？近くに学校があり、公園にしてもらいたい</p>

## 7 社会実験のまとめ

### 1 賑わい創出の可能性

- ◆浜田駅周辺には、教育文化施設、商業施設、宿泊施設などが集積しているため、三桜酒造跡地は訪れやすく、賑わい創出も可能である

(社会実験総来場者数約 3,300 人、来場者の約 8 割が「大変満足」又は「やや満足」と回答)

- ◆賑わい創出に向けて、市民や団体などの民間プレーヤーもおり、イベント企画の際に、三桜酒造跡地のような集まりやすい立地や広さを求めていることが明らかになった

(社会実験総出店者数 55 者、出店者の約 8 割が「今後も参加したい」と回答、出店者の約 7 割が会場の広さについて「大変満足」又は「やや満足」と回答)

- ◆三桜酒造跡地における出店者の総売上額 約 260 万円

- ◆今回の社会実験においては、銀天街などの駅周辺エリアへの十分な経済波及効果は認められなかった

(三桜酒造跡地の来場者約 5 割が「駅周辺店舗にも立ち寄った」又は「立ち寄る予定」と回答したが、一部を除き、周辺店舗の売上増は認められなかった)

- ◆浜田駅周辺エリアで賑わいをつくるために今後必要な取組に関するアンケート結果では、「駅周辺の飲食店や物販店の充実」、「休憩したり、子どもを遊ばせるなど滞留することができるスペースの設置」が多く、市民ニーズが明らかになった

### 2 三桜酒造跡地の活用に関する検証結果

- ◆仮に三桜酒造跡地をイベント広場とする場合には、概ね今回の会場の広さ約 1,800 m<sup>2</sup> (収容想定 1,000 人程度) が適正と考えられる。また、イベントや出店用として、電源、水道が必要

(出店者の約 7 割が会場の広さについて「大変満足」又は「やや満足」と回答)

- ◆三桜酒造跡地については、今回のようなイベント広場としての利活用を望む意見が多かった

(来場者の約 8 割が「大変満足」又は「やや満足」と回答、自由記述でも意見が多かった)

- ◆駐車場について、来場者アンケートで「不満と感じたこと」の 1 位が「駐車場が少なかった」であったが、三桜酒造跡地隣接の駐車場 (約 40 台) が常に満車状態であったのは、9 月 14 日まちなか夜神楽 (来場者数 1,300 人) のみであり、周辺駐車場への案内等も含めると対応可能と考えられる

- ◆屋外トイレについては、今回の社会実験では男性 3 棟、女性 4 棟を設置したが、並ぶようなこともなく、十分であったと考えられる。また、身体障がい者用トイレについては、周辺施設の協力を仰ぎ対応した
- ◆石見神楽やステージイベントで音響を使用した但、実際にイベント広場とする場合には、賑わい創出と周辺の居住環境との両立が必要となる
- ◆三桜酒造跡地の出店者からは、「風が強かった」、「雨が降ったり、水たまりができた」、「近年の気候により屋外出店ができる日数は年間でも限定される」などの意見があった

### 3 駅周辺エリアの活性化に向けて

- ◆今後、駅周辺エリアの活性化を目指す中で、三桜酒造跡地をどう位置づけ、活用していくのかについて、検討していく必要がある（例えば、駅周辺施設との連携や動線の強化など）

## 市内企業の工場増設について

このことについて、市内に事業所を持つ事業者が、以下のとおり浜田市内に工場を増設されます。

なお、島根県及び浜田市の企業立地制度を活用する予定としています。

### 1 会社概要について

- (1) 会 社 名：株式会社大磯
- (2) 所 在 地：浜田市原井町 3050-20
- (3) 代表者名：代表取締役 大地本 和史
- (4) 設立年月：昭和 48 年 3 月
- (5) 資 本 金：13,000 千円
- (6) 従業員数：119 名
- (7) 事業内容：水産加工品(佃煮、乾燥珍味、干物等)製造

### 2 計画の概要について

- (1) 立地場所：浜田市原井町 3050-36（水産加工団地内）
- (2) 敷地面積：10,492 m<sup>2</sup>（うち、増設敷地 1,983 m<sup>2</sup>）
- (3) 建物面積：5,551 m<sup>2</sup>（うち、今回取得 562 m<sup>2</sup>）
- (4) 投下資本額      302,293 千円
  - （内訳）土      地                      0 千円
  - 建      物      222,000 千円
  - 償却資産      80,293 千円
- (5) 操業開始：令和 8 年 4 月
- (6) 新規雇用：操業後 3 年間で 5 名（予定）
- (7) 事業内容：水産加工品(冷凍刺身・冷凍寿司)製造

## リフレパークきんたの里給湯ボイラー熱交換器の修繕について

リフレパークきんたの里において、給湯ボイラー2機あるうちの1号機の故障が発生し、施設運営及び利用者へ支障をきたす事案が発生していることから、緊急修繕を実施しておりますので以下のとおり報告いたします。

### 1 概要

- (1) 日時 令和 7 年 8 月上旬
- (2) 場所 リフレパークきんたの里 機械室
- (3) 項目 給湯ボイラー（1号機）（平成 28 年度更新）
- (4) 状況 温泉水及び上水を沸かすための給湯ボイラー1号機について、ボイラーの熱交換器における真空部分の破損によって動作不良となり、2号機のための稼働となったほか、温泉水及び上水の加温に時間を要し、温度が低い状況であるため、施設運営に支障をきたしていた。

### 2 緊急修繕について

給湯ボイラー1号機について、令和 7 年 8 月上旬に熱交換器の真空部分の破損による動作不良が判明しました。現在は、2号機のための稼働で営業しておりますが、9月上旬以降に2号機においても燃焼不良によるエラーが度々発生しており、また、冬季に入ると2号機のための運転では温度管理が困難で、施設運営に支障をきたすことから、予備費を充用して当該ボイラーの熱交換器の緊急修繕に着手しています。

- (1) 修繕内容 リフレパークきんたの里 給湯ボイラー（1号機）  
熱交換器修繕
- (2) 契約金額 2,365,000 円（税込）
- (3) 完了予定 令和 7 年 12 月 22 日（月）

## 美又温泉美肌観光拠点施設の指定管理者公募について

令和 7 年 10 月から実施した美又温泉美肌観光拠点施設の指定管理者の公募について以下のとおり報告します。

### 記

#### 1 対象施設 美又温泉美肌観光拠点施設

#### 2 指定管理者の公募期間及び応募状況

- (1) 指定期間 条例施行日（令和 8 年 12 月 1 日を想定）から  
令和 13 年 3 月 31 日まで
- (2) 公募期間 令和 7 年 10 月 1 日から令和 7 年 11 月 10 日まで
- (3) 応募者 応募者なし

#### 3 今後の対応

公募条件（指定期間、収支想定等）の再検討を行い、令和 7 年 12 月下旬から再度公募を開始する予定としております。



〈令和7年11月〉

# 漁業別水揚げについて（報告）

令和7年12月11日  
産業建設委員会資料No.1  
産業経済部水産振興課

◆全体状況◆ 水揚量：703トン（前年比：86%、▲110トン） 水揚金額：3億215万円（前年比：101%、323万円）

【地元沖合底びき網漁業】水揚量：240トン（前年比96%、▲10トン）  
水揚金額：1億5,741万円（前年比90%、▲1,736万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
エテカレイ	R6.11	31.0	21,058	680円
	R7.11	25.1	9,655	385円
アンコウ	R6.11	17.5	11,840	677円
	R7.11	27.4	25,061	914円
アナゴ	R6.11	29.0	19,621	676円
	R7.11	26.5	10,437	394円
ノドグロ (メッキン除く)	R6.11	3.0	16,035	5,340円
	R7.11	1.8	9,180	5,160円

◆アンコウの水揚量及び水揚金額は増加したものの、カレイ等の主力魚種の水揚量が減少。全体の水揚量、金額ともに昨年を下回る結果となった。

【地元中型まき網漁業】水揚量：141トン（前年比292%、+93トン）  
水揚金額：3,509万円（前年比219%、+1,905万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R6.11	27.1	14,034	517円
	R7.11	100.3	28,556	285円
イカ類	R6.11	0.03	36	1,375円
	R7.11	1.2	1,357	1,126円
サワラ	R6.11	0.3	153	604円
	R7.11	4.0	1,023	257円

◆操業回数が増えた(4回→8回)影響により、水揚量、金額ともに昨年を上回った。

【地元外中型まき網漁業】水揚量：17トン（前年比7.6%、▲221トン）  
水揚金額：251万円（前年比5.2%、▲4,536万円）

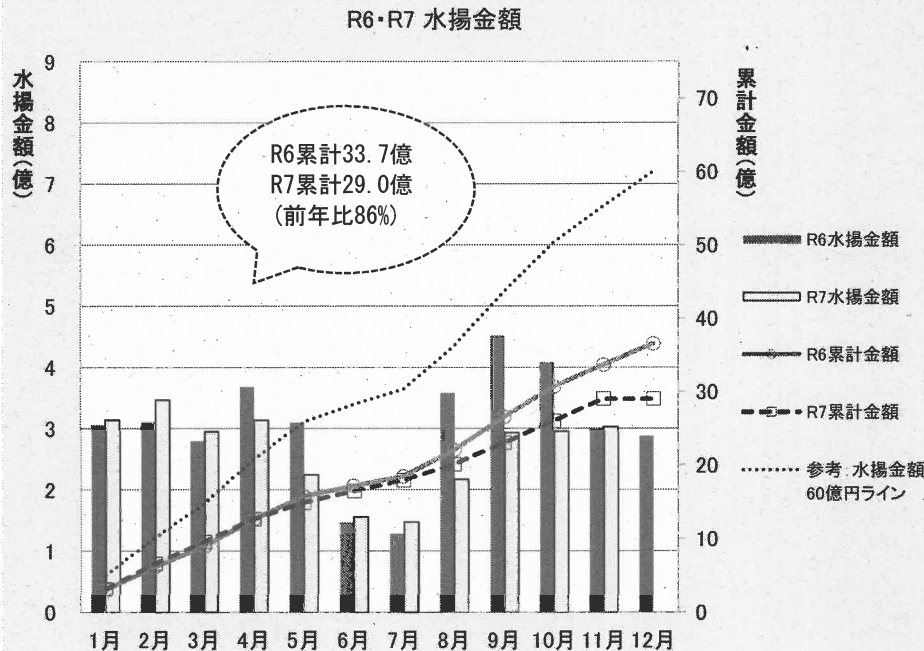
魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R6.11	161.5	40,152	249円
	R7.11	14.0	2,239	160円
マサバ	R6.11	63.2	6,537	103円
	R7.11	3.1	254	81円
サワラ	R6.11	1.7	516	295円
	R7.11	-	-	-

◆入港回数が大きく減少(5回→1回)した影響により、水揚量、金額ともに昨年を下回った。

【大中型まき網漁業】水揚量：223トン（前年比98%、▲4トン）  
水揚金額：6,735万円（前年比177%、+2,931万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
ブリ	R6.11	15.5	2,659	172円
	R7.11	47.4	21,871	461円
マアジ	R6.11	61.9	11,751	190円
	R7.11	89.4	27,249	305円
マサバ	R6.11	111.7	12,900	116円
	R7.11	57.2	10,012	175円

◆水揚量は前年並であったが、単価の良い魚種が多く水揚げされたため、水揚金額は昨年を上回った。



令和6年 令和7年 漁業別水揚げ比較表

11月

漁業種類	年	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
01 沖合底曳網(地元船)	6	250,336.5	96.0	173,332,105	90.1	174,767,360
	7	240,302.1		145,752,227		157,412,406
02 沖合底曳網(地元外)	6	0.0	-	0	-	0
	7	0.0		0		0
03 小型底曳網	6	0.0	-	0	-	0
	7	0.0		0		0
04 大中型旋網	6	226,853.0	98.3	35,218,106	177.1	38,035,554
	7	223,013.0		62,360,615		67,349,464
05 中型旋網(地元船)	6	48,238.8	292.3	14,850,226	218.8	16,038,244
	7	141,019.6		32,492,810		35,092,236
06 中型旋網(地元外)	6	228,593.0	7.6	44,320,887	5.2	47,866,558
	7	17,336.0		2,321,575		2,507,301
07 小型いか釣(5t以上)	6	178.0	2,009.0	439,700	2,214.0	474,876
	7	3,576.0		9,734,810		10,513,595
08 いか釣(5t未満)	6	40.0	-	138,700	-	149,796
	7	0.0		0		0
09 大型定置網	6	46,778.4	131.0	6,878,880	164.0	7,429,193
	7	61,286.4		11,282,021		12,184,581
10 小型定置網	6	0.0	-	0	-	0
	7	0.0		0		0
11 しいら網	6	0.0	-	0.0	-	0.0
	7	0.0		0.0		0.0
12 一本釣(浜田)	6	1,410.7	41.8	2,989,535	53.8	3,228,699
	7	590.0		1,608,970		1,737,689
13 一本釣(国府)	6	339.4	247.5	340,209	378.5	367,425
	7	840.0		1,287,540		1,390,542
14 一本釣(長浜)	6	1,293.0	143.1	852,890	140.4	921,124
	7	1,850.0		1,197,269		1,293,053
15 一本釣(津摩)	6	385.9	29.5	660,395	40.8	713,228
	7	113.8		269,300		290,845
16 一本釣(三隅)	6	222.4	46.3	128,850	87.5	139,158
	7	103.0		112,770		121,792
17 一本釣(江津)	6	2,062.2	125.2	1,770,582	181.8	1,912,230
	7	2,582.8		3,218,584		3,476,078
18 近隣支所	6	300.0	29.7	177,080	55.0	191,246
	7	89.0		97,430		105,224
19 その他	6	103.0	124.9	117,360	142.9	126,749
	7	128.6		167,760		181,181
20 陸送	6	6,066.9	163.6	6,075,475	129.5	6,561,514
	7	9,924.0		7,867,690		8,497,105
合計	6	813,201.2	86.4	288,290,980	101.1	298,922,954
	7	702,754.3		279,771,371		302,153,092
前年との増減		-110,446.9		-8,519,609		3,230,138

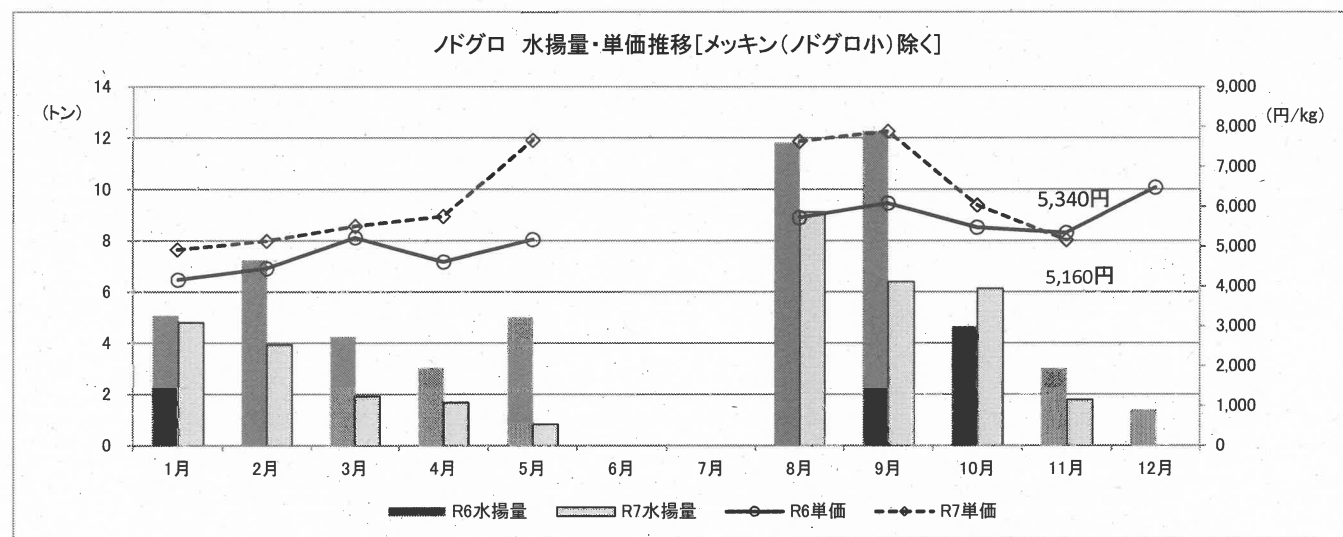
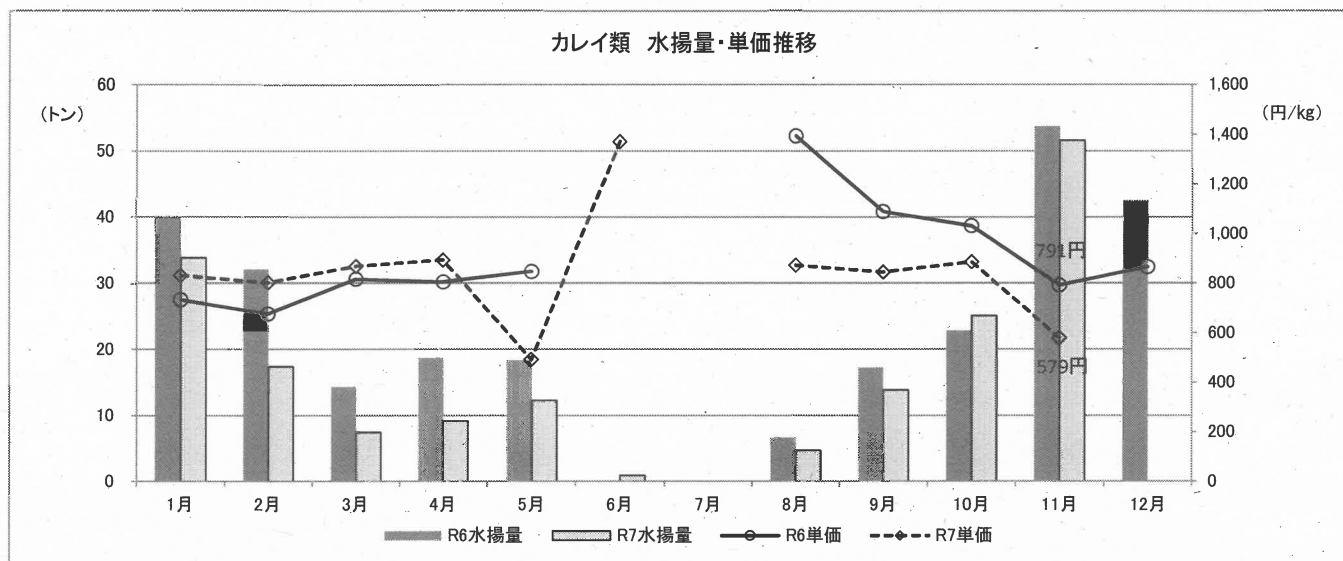
1月～11月累計

数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
1,777,391.5	114.7	1,458,112,314	104.8	1,562,329,990
2,037,825.8		1,515,697,091		1,636,952,877
0.0	-	0	-	0
0.0		0		0
0.0	-	0	-	0
805.0		993,350		1,072,817
4,207,729.0	70.0	561,591,929	61.0	606,519,283
2,946,514.5		342,805,377		370,229,807
1,440,763.5	108.4	254,620,558	91.4	274,990,202
1,562,154.1		232,719,069		251,336,599
1,823,416.0	30.7	427,215,425	20.3	461,392,658
559,994.0		86,902,452		93,789,841
77,155.5	99.3	89,618,930	119.9	96,788,441
76,628.0		107,456,330		116,052,832
2,960.0	45.1	3,593,790	34.2	3,881,295
1,336.0		1,230,740		1,329,199
356,544.9	251.8	79,369,714	194.8	85,719,296
897,722.6		154,601,326		166,969,432
5,073.2	531.6	1,898,460	111.8	2,050,335
26,970.0		2,122,830		2,292,655
0.0	-	0	-	0
0.0		0		0
59,661.3	63.5	49,171,283	67.5	53,105,000
37,889.5		33,175,572		35,829,628
24,476.6	73.4	14,475,695	106.1	15,633,749
17,970.4		15,363,004		16,592,052
16,847.9	141.4	18,763,254	128.7	20,264,321
23,817.8		24,155,613		26,088,074
8,114.8	73.7	10,777,955	79.7	11,640,189
5,984.0		8,594,162		9,281,703
6,898.4	100.3	8,370,970	101.1	9,040,649
6,921.7		8,460,590		9,137,440
40,482.3	73.1	31,933,379	98.0	34,488,054
29,611.7		31,307,025		33,811,601
50,480.8	11.2	17,133,467	35.4	18,504,145
5,661.7		6,064,811		6,549,994
1,114.6	314.2	1,373,170	216.2	1,483,024
3,502.3		2,968,265		3,205,727
144,714.3	54.6	100,120,939	112.5	108,130,620
78,945.5		112,621,216		121,630,915
10,043,824.6	82.8	3,128,141,232	86.2	3,365,961,251
8,320,254.6		2,687,238,823		2,902,153,193
-1,723,570.0		-440,902,409		-463,808,058

令和7年12月11日  
産業建設委員会資料No.2  
産業経済部水産振興課

地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

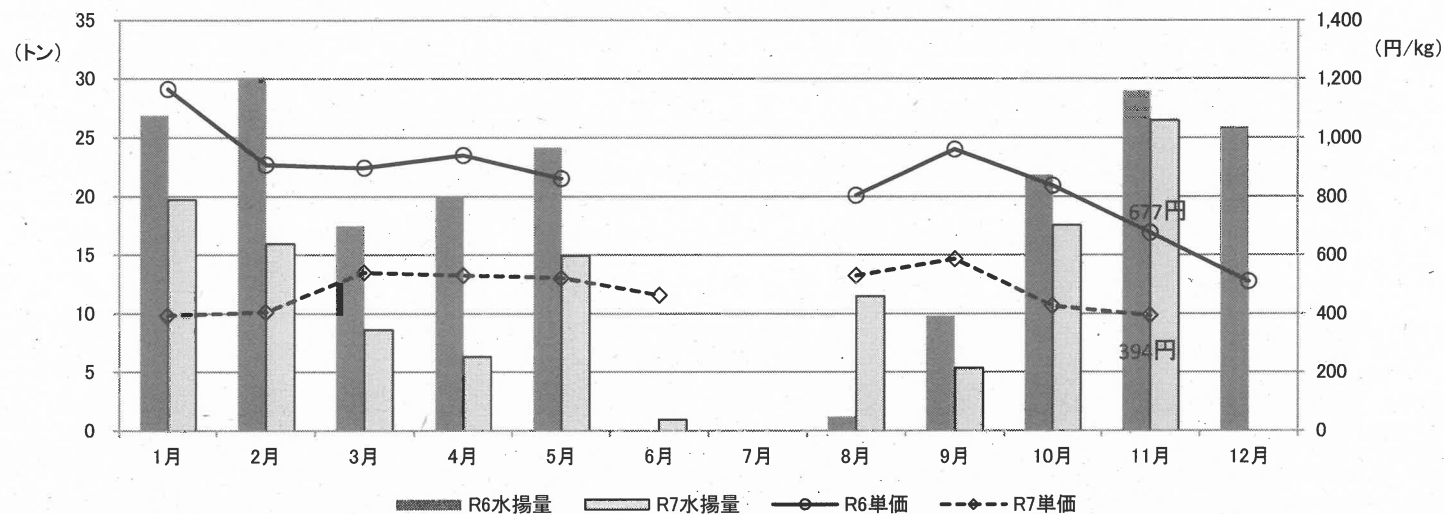
令和7年12月11日  
産業建設委員会資料No.3  
産業経済部水産振興課



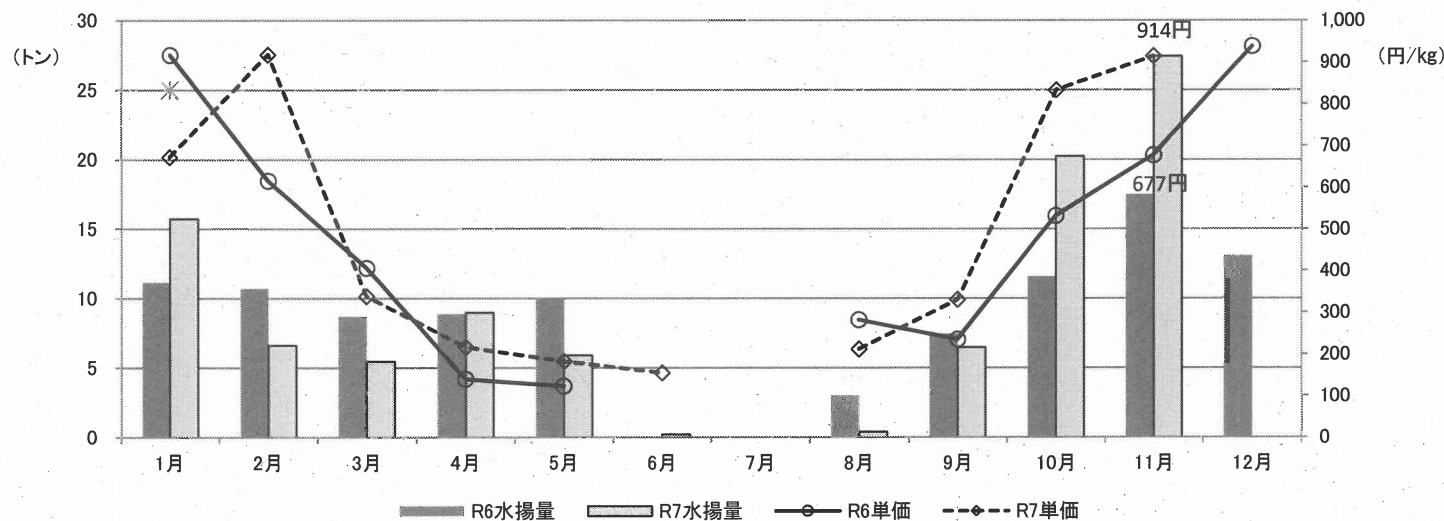
# 地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和7年12月11日  
産業建設委員会資料No.4  
産業経済部水産振興課

## アナゴ 水揚量・単価推移



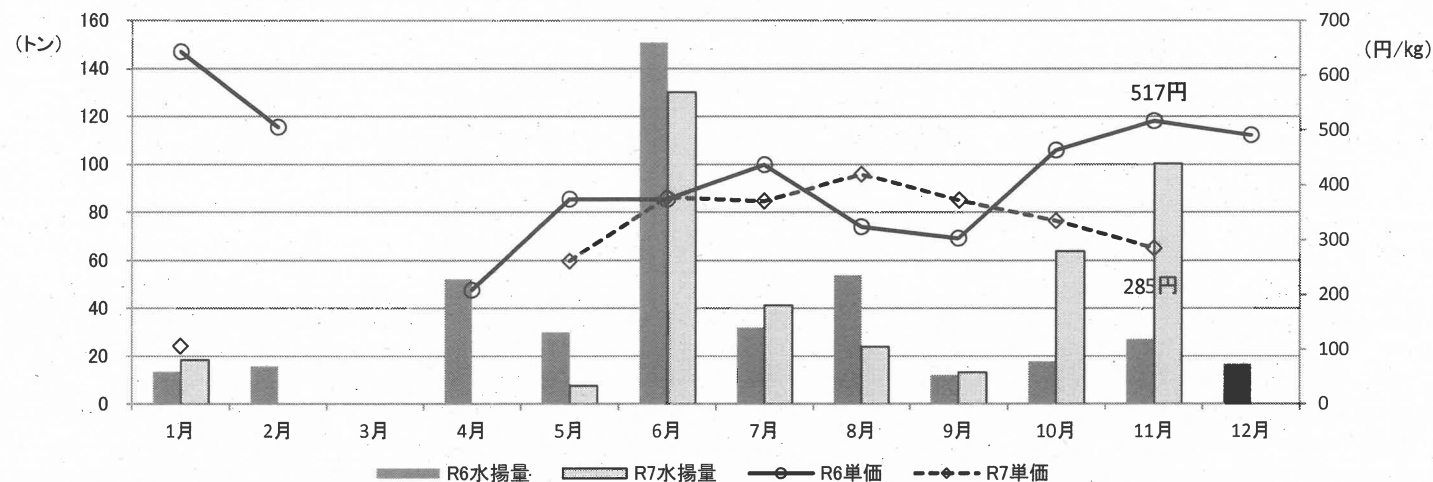
## アンコウ 水揚量・単価推移



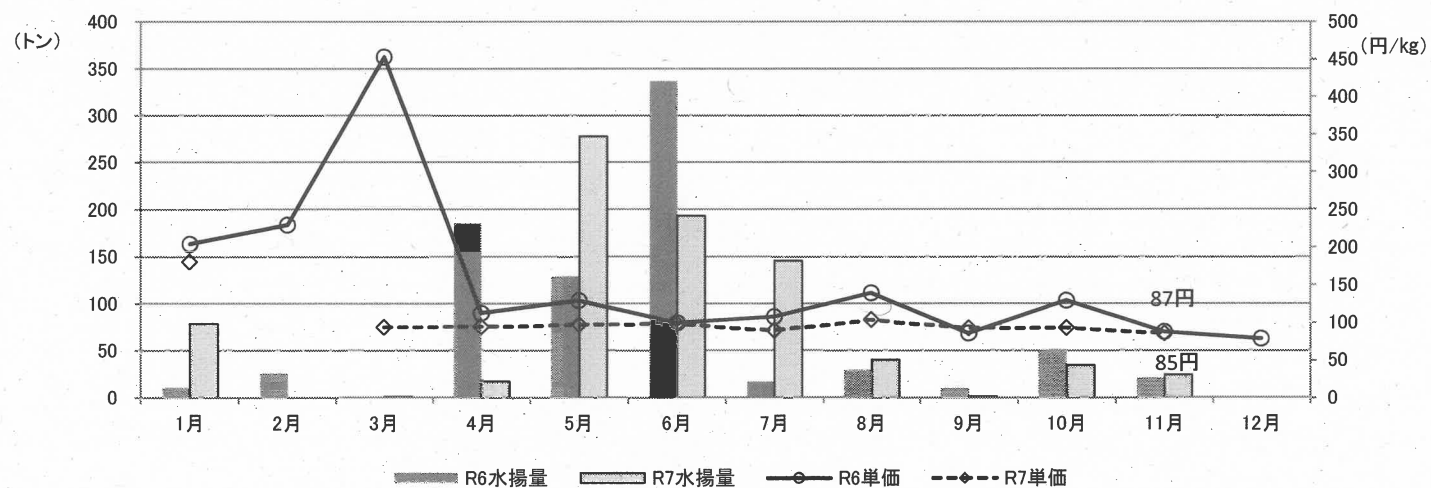
# 地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和7年12月11日  
産業建設委員会資料No.5  
産業経済部水産振興課

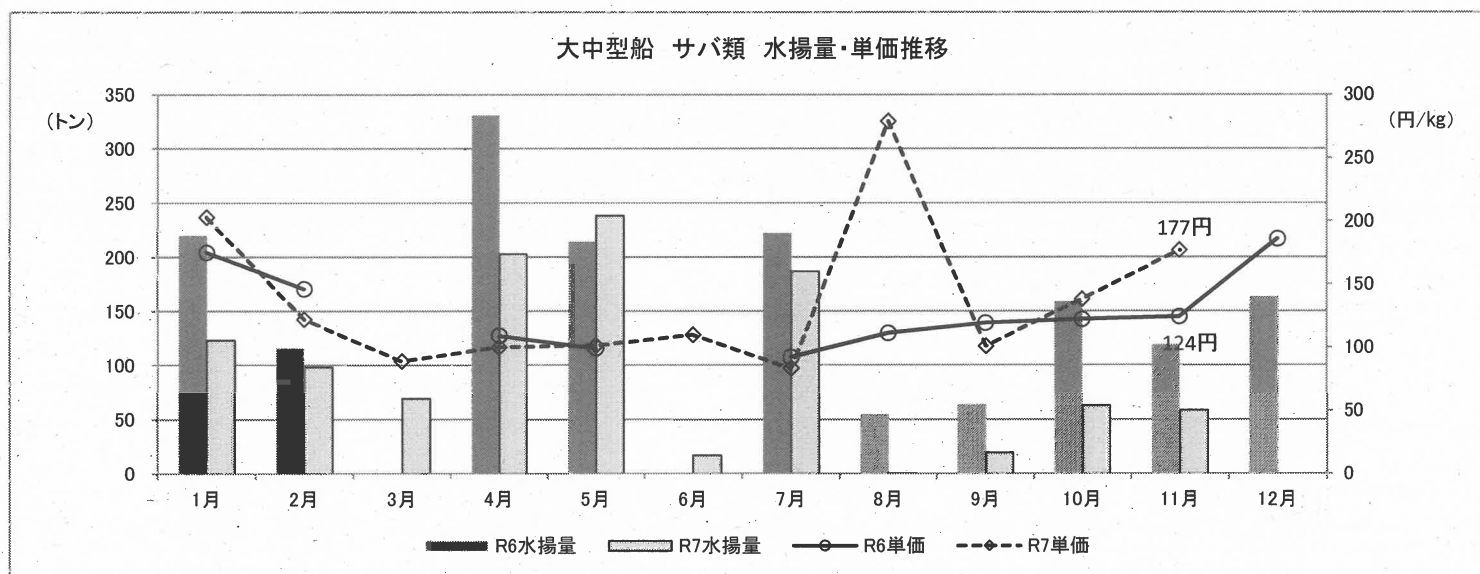
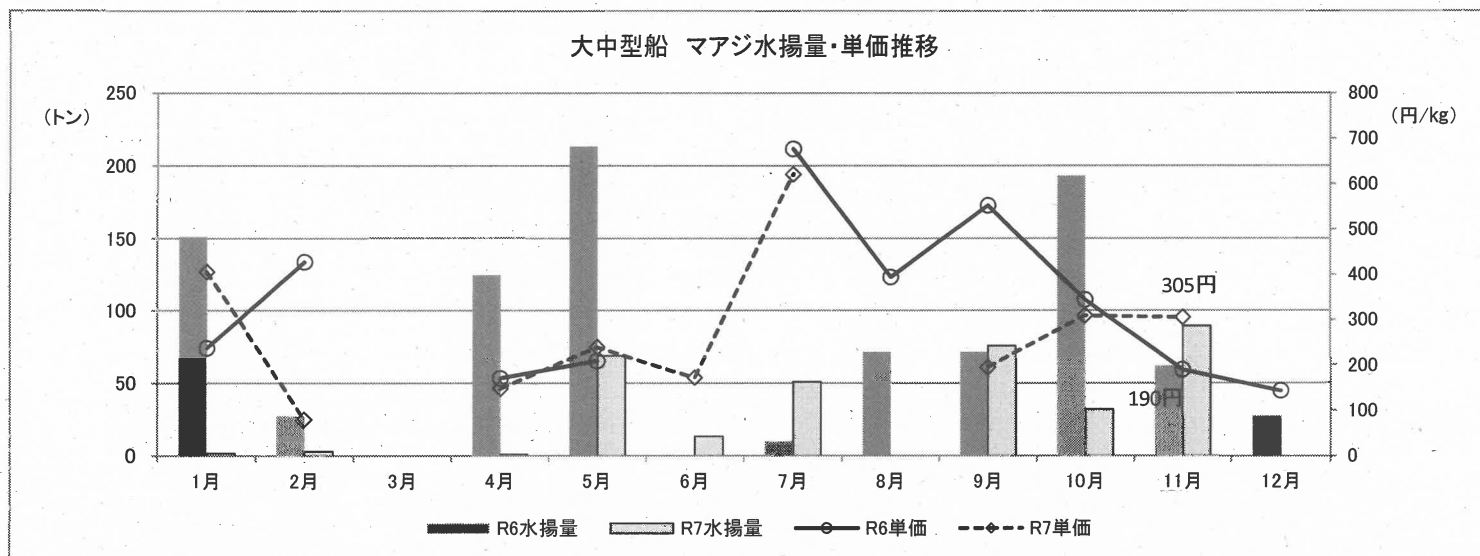
地元中型船 マアジ水揚量・単価推移



地元中型船 サバ類 水揚量・単価推移

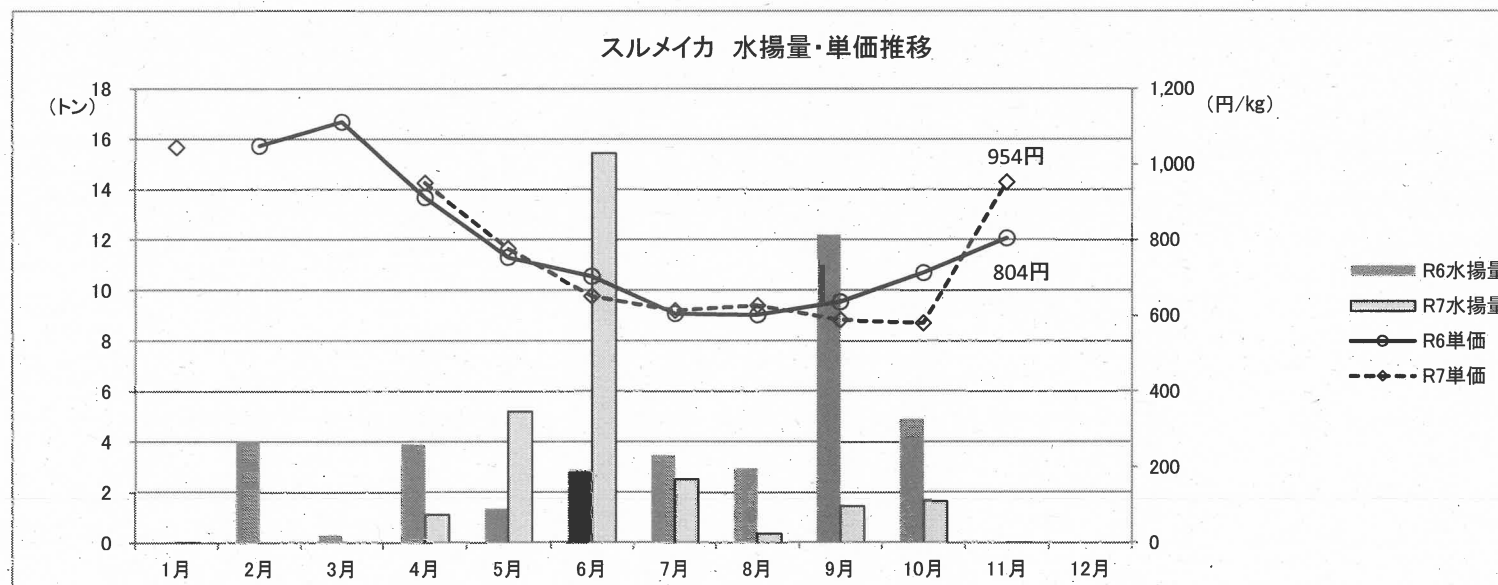
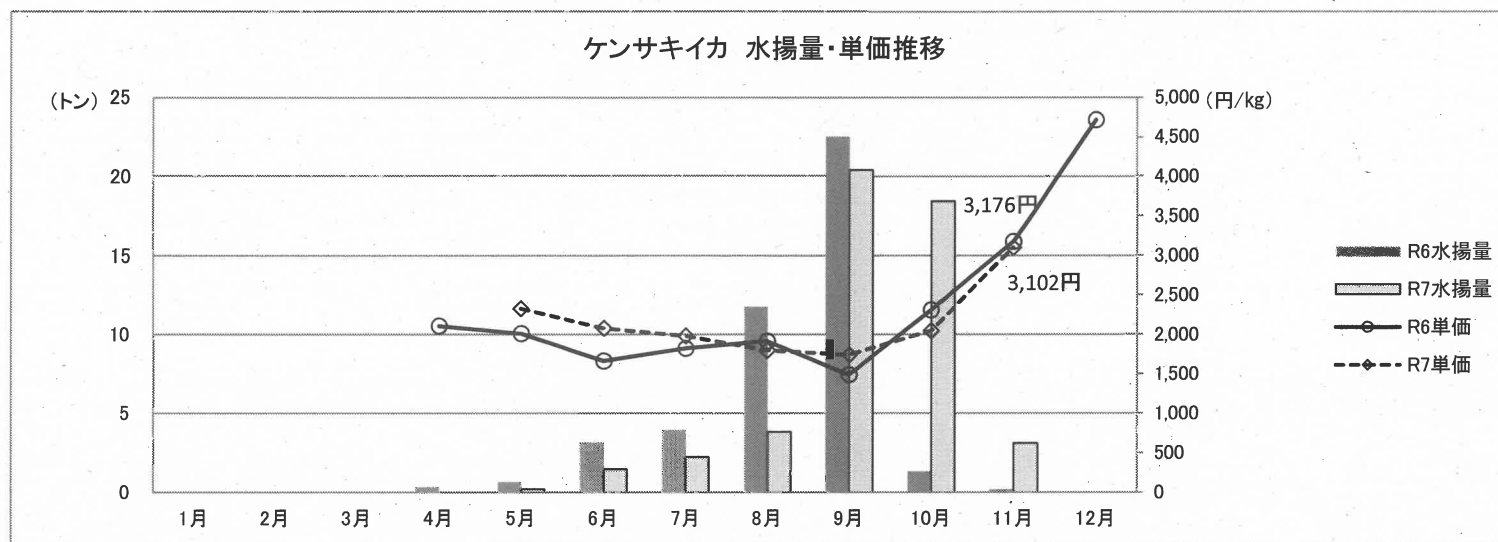


# 大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移





いか釣漁業（5t以上・5t未満） 主要魚種水揚量・単価の推移



## 浜田駅前銀天街協同組合のアーケード設置の経緯と今後の方針について

※ 歴史も古く、当時の記録等が確認できなかったことから、浜田駅前銀天街協同組合の関係者の方から聞き取りをした内容となります。

### 1. 設置の経緯

昭和 50 年 5 月に浜田駅前銀天街協同組合が設立されて以降、気候等に関係なく快適に歩ける空間を提供することを目的に設置された。

### 2. 概 要

#### ① 施 設

昭和 53 年 6 月 18 日（竣工式の日）

高さ約 3.5 メートル、延長約 750 メートル

#### ② 事業費

約 1 億 5,000 万円

県の高度化資金を活用

#### ③ 現 状

2 年に 1 回程度、排水処理やサビ対策のため、アーケードの清掃を行っている。

費用については、組合員からの負担金で対応している。

#### ④ 今後の方針

現状は、組合員からの負担金で必要な修繕等を行いながら維持している。

大規模改修をするための財源が無いため、当面予定はなし。

※ 一般県道浜田停車場線（駅前歩道の様子）



（ 現 在 ）



（ 岩多屋解体前 ）



## 農林水産業産出額と従事者数について

### 1 農業従事者数と産出額について

- (1) 農業従事者数            3,413 人（令和 7 年：水稻細目書）
- (2) 産出額                    5,888,017 千円（令和 6 年：浜田市産地強化協議会）  
※    うち畜産業産出額    3,404,663 千円

### 2 林業従事者数と産出額について

- (1) 林業従事者数            49 人（島根県西部農林水産振興センター調べ）
- (2) 産出額（県全体）        4,530,000 千円（令和 5 年：林野庁資料）  
※    浜田市単独の産出額はデータ無し

### 3 水産業従事者数と産出額について

- (1) 漁業従事者数            224 人（JF しまね聞き取り）
- (2) 産出額（水揚額）        3,653,816 千円（令和 6 年実績）

取組課題テーマ提案まとめ

	村木委員長	西田一平副委員長		今田委員
テーマ案	農村再生の政策を提言 ～耕作放棄地・空家の再生と就農支援～	人口減少社会における都市公園の管理及び利活用	人口減少社会における持続可能な観光振興と地域経済の活性化について	空き家・空き店舗の現状及び今後の活用
課題 問題点	浜田市では、少子高齢化・人口減少の進行により、地域の農業やコミュニティの維持が危ぶまれている(地域計画書からも如実である)。 耕作放棄地や空き家の増加は、景観や防災上の課題だけでなく、地域の魅力低下を招いている。一方で、移住希望者や子育て世代の中には、自然豊かな環境で農業に関わりながら安心して暮らしたいというニーズが高まっている。	浜田市における都市公園の利用者実態と管理実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う観光産業の担い手不足とマンパワーの減少</li> <li>・団体旅行から個人・小グループ旅行への移行による観光客ニーズの多様化への対応</li> <li>・市内に点在する観光施設間の周遊促進と公共交通網の充実</li> <li>・観光入込客数・宿泊客数の伸び悩みと滞在時間の短さ</li> <li>・若年層の市外流出による観光関連産業の後継者不足</li> <li>・限られた予算と人的資源の中での効果的な観光PRと誘客活動の実施</li> </ul>	老朽化による危険性、雑草やゴミの放置による景観悪化、所有者の不明化や管理不全、利活用のハードルの高さ、補助制度の周知
提案理由	耕作放棄地・空家の再生と、就農支援(兼業農家含む)を調査研究し、農村再生策を政策会議に諮るため。	公園の管理を近隣住民が行っているケースがある。 防災の拠点にする、シェア菜園にする、など利活用の道を模索したい。	浜田市は豊かな自然環境(海・山)、石見神楽などの伝統文化、浜田漁港の新鮮な海産物など魅力的な観光資源を有しているにもかかわらず、それらが十分に活用されていない現状がある。 想定を上回るペースで人口減少が進む中、観光振興は以下の点で重要である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化</li> <li>・若者の雇用創出と移住・定住促進の契機</li> <li>・地域資源の再評価と郷土への誇りと愛着の醸成</li> <li>・持続可能な地域経営の実現</li> </ul> 先進地域の成功事例に学びながら、浜田市独自の観光資源を最大限に活用し、観光客の周遊促進や滞在時間の延長、さらには地域経済への波及効果を高める仕組みづくりが急務である。	空き家・空き店舗の課題は、地方自治体にとって「地域の衰退の象徴」であると同時に、「活用できれば地域再生の資源」ともいえる重要テーマであるため。
先進事例	【調査の流れ】 ①耕作放棄地・遊休農地及び空家の実態把握と有効活用案の検討 ②農村RMOの実態と課題の調査 ③若者・移住者・子育て世代の就農・定住を支える仕組みを提言 ④国、県における農村再生政策の調査ほか		<p>【広島県尾道市】空き家再生プロジェクトによる移住・定住・起業支援、尾道帆布など地域資源のブランディングと体験型観光の推進、しまなみ海道を活かした広域観光連携とDMO機能の構築</p> <p>【兵庫県豊岡市(城崎温泉)】情緒ある温泉街の景観保全と外国人観光客誘致の成功、地域一体となったおもてなしと多言語対応の充実</p> <p>【長崎県小値賀町】日本版DMO「おぢかアイランドツーリズム」による「食」「泊」「過ごす」のワンストップサービス、古民家を活用した滞在型観光の推進、地域資源を活かした体験型プログラムの開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県雲南市「空き家バンク×地域組織の伴走支援」</li> <li>・岡山県真庭市「空き家対策の総合的モデルとして全国評価」</li> <li>・滋賀県近江八幡市「空き店舗を使った企業支援・チャレンジショップの先進地」</li> </ul>
その他	参考書籍 「にぎやかな過疎をつくる」 著者 小田切徳美		<p>【調査・検討すべき事項】 浜田漁港周辺エリアの観光拠点としての整備・活用方策、石見神楽など伝統文化の観光コンテンツ化と通年での提供体制、デジタル技術(観光DX)を活用した情報発信と周遊促進、DMO(観光地域づくり法人)設立の可能性と推進体制の構築、近隣自治体(江津市、益田市等)との広域連携による相乗効果、宿泊施設の充実と滞在型観光への転換策、観光人材の育成と地域住民の観光マインド醸成</p> <p>【期待される効果】 観光消費額の増大による地域経済の活性化、雇用創出と若年層の定着促進、市民の地域への誇りと愛着の向上、持続可能な地域づくりの実現</p>	

	大谷委員	川上委員	小川委員	笹田委員
テーマ案	通行支障道路の早期改良	1. 道の駅ゆうひパーク 執行部からの報告がいまだ届いておらず検討の舞台にはないが、いずれ出てくる際、委員会として「道の駅」機能の再確認、「施設が浜田市民のため」に關しての市民意見を集積するなど、事前に行うべき事項がある。 このような理由により、今委員会でも取組課題として扱うべき。 2. 地域小売店の問題 少子高齢化のキーになる。「暮らしやすい環境」に当てはまるものとする。生活利便性の確保、地域経済の循環、地域コミュニティの維持、環境面での効果、政策的な支援の方向性などを調査検討して、問題対処が可能な提言を行うことも必要で、今委員会でも取組課題として扱うべき。 3. ゼロゼロ融資の問題 前委員会の申し送りのとおりしばし傍観をすべき。 4. 小規模農家への支援 特別委員会で扱わない場合、検討内容を縮小してでも今委員会でも取り組むべき。 5. 建設業の問題点と課題 特別委員会で扱わない場合、検討内容を縮小してでも今委員会でも取り組むべき。	障がい者就労への企業支援	浜田漁港・商港活性化による海洋産業・観光・物流の一体的振興と持続可能な港まちづくり
課題 問題点	幅員1車線分しかない県道303号や県道34号などは普通車の離合が困難である。また市道においても離合が困難な道路があり住民は不安を感じ、生活や経済活動および救急活動等に支障をきたしている。		人手不足の一方で障がい者雇用が進まない現状がある	浜田漁港は年間水揚げ金額が減少し、漁獲量の減少や漁法転換の遅れが課題。漁業者の高齢化と後継者不足、新規就業者向けの研修環境不足も深刻で、デジタル化の遅れや効率的漁業経営への転換が求められる。市場の整備や地域資源活用も課題。インフラの老朽化や船会社の減少、労働力不足が問題で、岸壁延伸や道路整備、労働力確保が必要とされている。
提案理由	長年、住民からの陳情や意見書が提出されている道路箇所について現状や経緯及びその後の対応を検証することによって改良への促進を図るため。		障がい者就労の課題解決に取組み持続可能な地域社会を目指す	・特定第三種漁港で、浜田商港は全国43重点港湾の一つ。山陰西部の海洋産業・物流・防災の戦略拠点。 ・地元実情に即した再整備は地域経済再生と国土強靱化に大きな意義。 ・水揚げ減少の打開には、地元加工・ブランド化・6次産業化が不可欠。 ・漁港と商港の連携による港湾経済圏形成が必要。 ・三陽・プロキシーとの協力体制により、養殖・加工・流通で港湾経済や瀬戸ヶ島埋立地活用の活性化。 ・はまだお魚市場の集約・ゾーン整備で市民が集う交流拠点としての活性化を図る。
先進事例			岡山県総社市「障がい者千五百人雇用事業」など	・北海道釧路市「フィッシャーマンズワーフMOO」 ・宮城県石巻市「水産業再生プロジェクト」 ・富山県氷見市「ひみ番屋街」 ・福井県敦賀市「国際物流港湾整備」 ・長崎県松浦市（三陽）：「加工・冷蔵・流通の一体型民間モデル」 ・長崎県南島原市深江地区（車エビ養殖）：「循環型陸上養殖で旧貯木場を活用」
その他				・全議員対象で中間報告・政策討論会を開催し、「浜田市議会提言書」を策定。 ・提言を市長・県知事・関係省庁に提出。